

第三十六回 帝國議會 貴族院議事速記録第十號

政、經濟及社會上ノ現狀調査ニ關スル建議案ヲ發議セリ
同日衆議院ヨリ本院ノ送付ニ係ル左ノ政府提出案ハ本院ノ議決ニ同意シ奏
上セル旨ノ通牒ヲ受領セリ

大正四年六月八日(火曜日)

午前十時五分開會

議事日程 第十號 大正四年六月八日

午前十時開議

大正三年臨時事件ニ關スル一時賜金ト

第一 シテ交付スル公債發行ニ關スル法律案 第一讀會ノ續(報告)

(政府提出、
衆議院送付)

帝國鐵道會計法中改正法律案(政府提出、
衆議院送付)

第一讀會ノ續(委員長)
(報告)

國債整理基金特別會計法中改正法律案
(政府提出、
衆議院送付)

第一讀會ノ續(委員長)
(報告)

作業會計法中改正法律案(政府提出、
衆議院送付)

第一讀會ノ續(委員長)
(報告)

第五 造幣局特別會計法案(政府提出、
衆議院送付)

第一讀會ノ續(委員長)
(報告)

第六 貨幣整理資金特別會計法廢止法律案
(政府提出、
衆議院送付)

第一讀會ノ續(委員長)
(報告)

第七 帝國學士院學術獎勵金特別會計法廢止
法律案(政府提出、
衆議院送付)

第一讀會ノ續(委員長)
(報告)

第八 帝國學士院學術研究獎勵金委任經理ニ
關スル法律案(政府提出、
衆議院送付)

第一讀會ノ續(委員長)
(報告)

第九 染料醫藥品製造獎勵法案(政府提出、
衆議院送付)

第一讀會ノ續(委員長)
(報告)

第十 軍人恩給法中改正法律案(衆議院提出)

第一讀會
會議

(君外一名發議)

第十一 スル建議案(伯爵柳澤保惠)

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ諸般ノ報告ヲ致サセマス

(成瀬書記官朗讀)

昨七日議員伯爵柳澤保惠君外一名ヨリ三十四名ノ賛成ヲ以テ歐洲列國ノ財

要塞地帶法中改正法律案
同日委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ
軍人恩給法中改正法律案
要塞地帶法中改正法律案

大正四年度歲入歲出總豫算追加案(第一號)可決報告書
大正四年度各特別會計歲入歲出豫算追加案(特第一號)可決報告書
豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第一號)可決報告書

臨時軍事費豫算追加案可決報告書

大正四年度歲入歲出總豫算追加案(第二號)可決報告書
大正四年度歲入歲出總豫算追加案(第三號)可決報告書

大正四年度歲入歲出總豫算追加案(第四號)可決報告書
豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第二號)可決報告書

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第一號)可決報告書

請願委員會特別報告第二號

同日議員松岡康毅君外三名ヨリ七十名ノ賛成ヲ以テ理化學研究所設立ニ關
スル建議案ヲ發議セリ

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ本日ノ會議ヲ開キマス。議事日程第一、大

正三年臨時事件ニ關スル一時賜金トシテ交付スル公債發行ニ關スル法律案、
政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告

〔左ノ報告書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載錄ス以下之ニ倣フ〕

大正三年臨時事件ニ關スル一時賜金トシテ交付スル公債發行ニ關スル法
律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正四年六月六日

右特別委員長

伯爵寺島誠一郎

貴族院議長公爵德川家達殿

〔伯爵寺島誠一郎君演壇ニ登ル〕

○伯爵寺島誠一郎君 議事日程第一ニ上リマシタ法律案、即チ大正三年臨時事件ニ關スル一時賜金トシテ交付スル公債發行ニ關スル法律案デゴザイマス、政府ノ説明イタシマス所ニ依リマスレバ、此案ハ今回日獨事件ニ關シテ、陸海軍其他ノ從軍者、並ニ此事件ニ關聯シテ其他ノ事務ニ從事シタ者ニ對シテ、此際其功勞ヲ表彰スルノ必要ガアルト云フノデゴザイマス、而シテ其功績ニ對シテ賜金ヲ給與サルルコトニナリマスノデ、一時賜金トスベキモノヲ公債ヲ發行シテ之ヲ其者ニ與ヘヤウト云フノデアリマス、付テハ議會ノ協贊ヲ經ル必要ガアルカラ此法律案ヲ出シタノデアルト申シマスノデゴザイマス、委員會デハ即決ノ動議ガ出マシテ、全會一致ヲ以テ可決ニナッタ次第デゴザイマス、本議場ニ於テモ、斯ノ如キ簡単ナ明瞭ノ案デアリマス故ニ、讀會ヲ省略セラレテ、直ニ可決確定セラレムコトヲ、此報告ト共ニ動議トシテ提出イタシマス

○澤柳政太郎君 私ハ本案ニ對シ二三質問ヲ致シタイト思ヒマスガ、政府委員ハ一人モ出席ガアリマセヌガ、速ニ出席アルヤウニ御取計ヲ願ヒマス
○議長(公爵徳川家達君) 直チニ政府委員ノ出席ヲ要求イタシマス、暫ク御待チヲ願ヒマス

○澤柳政太郎君 委員長デモ或ハ御答ガ出來ヤウト思ヒマスカラ、一應承リタイト思ヒマスガ、一時賜金ニ關シテ公債ノ額ガ二千四百万圓ト云フコトニナツテ居リマスガ、其金額ノ基ク所ハ如何ナル點ニアルノデアリマスカ、ソレ等ノ點ニ付テ御審査ガアリマシタナラバ、其模様ヲ拜聽イタシタイト思ヒマス、今回ノ経費ハ總計ニ於テ一億万圓ヲ超エテ居ルト思ヒマスガ、事件ノ割合ニ其費用ガ多額ニ上ツテ居ルト本員ハ考ヘマスガ、ソレハ兎ニ角一億万圓ヲ費シタル所ノ事件ニ對シ、殆ド三割ノ行賞費ヲ支出シナケレバナラナイト云フコトハ、ドウモ少シク合點ガ行カヌヤウニ思フノデアリマス、加フルニ之ヲ日露戰爭ニ比ベテ見マスルト云フト、餘程公平ヲ失シテ居ルノデハナイカト素人ニハ考ヘラレマスガ、サウ云フコトモナイカトモ思ヒマスガ、日露戰役ノ際ト今回ノ行賞ト如何ナル釣合ニナツテ居ルカト云フコトヲ併セテ承リタイト思フノデアリマス、第二ニハ今回ノ戰役ニ關シテハ、此戰爭ニ參加シタ所ノ忠勇ノ軍人其他ニ對シテ優ニ之ヲ賞與スル、其ノアツタコトト思ヒマスガ、速記録モ參テ居ラヌコトデアリマスカラ、委員長ニ伺ヒマス

○伯爵寺島誠一郎君 委員長トシテ御答ヲ致シマスルガ、澤柳君ノ御質問ニ

御舉ゲニナツタヤウナ詳細ナ點ニ付テハ、委員會ニ於テハ別ニ説明ヲ聽カナカツタノデアリマス、唯今申上グマシタ通り即決ト云フ動議ガゴザイマシテ、其點ハ承知ヲ致シテ居リマスケレドモ、貴族院ノ委員會トシテハ其點ハ聽カナカツタト云フコトヲ申上グマス外ハナイト思ヒマス、而シテ一千萬圓ノ中二千四百万圓掛カツタト仰セニナリマスケレドモ、是ハ御問ヒナサル御方ノ御間違ヒデハナカラウカト思ヒマス、一億万圓ヲ費シテ居ルノデハナイカト思ヒマス、ソレニ對シテ二千四百万圓ト云フノデアリマスカラ、稍、相當デアラウカトモ考ヘラレルノデアリマス、尙ホ委員會ニ於テハ即決ト云フノデハアリマシタケレドモ、日清事件、北清事件、並ニ日露事件ニ對シテ、ドノ位ナ一時賜金トシテ公債ガ出タカト云フ、其數字ハ聽イテ持ツテ居ルノデゴザイマス、其他詳細ナコトハ當局大藏大臣モ御出席ニナツテ居ルコトデアリマスカラ、大藏大臣カラ御答辯ヲ得タラ御満足ニナルコトダラウト存ジマス
○澤柳政太郎君 委員會デハ格別此點ニ付テ御審議ガナカツタヤウデアリマスルカラ、改メテ當局者ニ御尋イタシタインデアリマス、一時賜金トシテ交付サレル所ノ公債ガ二千四百万圓デアルト云フコトデアル、其外ニ現金ヲ以テ死傷者ニ支給スベキ額ガ現ニ數百万圓ニ上ツテ居ルト云フコトモ聞イテ居ルノデアリマス、且ツ豫算ニ於テ金鷗勳章年金モ數十万圓計上シテアルヤウニ承知イタシテ居リマスガ、此賜金ノ規模、大小ニ關シマシテハ、聊カ其比較ヲ得テ居ラヌヤウニ考ヘルノデアリマスガ、此計算ノ基ク基礎ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス、加フルニ尙ホ日露戰爭當時ニ於ケル行賞ト餘程釣合ヲ失シテ居ルノデハナイカト素人ニハ考ヘラレマスガ、サウ云フコトモナイカトモ思ヒマスガ、日露戰役ノ際ト今回ノ行賞ト如何ナル釣合ニナツテ居ルカト云フコトヲ併セテ承リタイト思フノデアリマス、第二ニハ今回ノ戰役ニ關シテハ、此戰爭ニ參加シタ所ノ忠勇ノ軍人其他ニ對シテ優ニ之ヲ賞與スル、其功勞ヲ認メルト云フコトデアリマシタガ、是モ甚タ結構ノコトデアリマスルガ、僅ニ十年前ニ於テ日露戰役ニ參加シタル者、其者ニ對シテ餘程公平ヲ失スルト云フ嫌ヒハナイデアリマセウカ、現ニ四十四年ニ軍人ノ恩給法ガ改正アルガ爲ニ、年々暮ノ議會ニ於テ數十通ノ請願ガ此議院ニ參テ居ル、而シテ

貴族院ノ如キモ其大體ノ趣旨ハ之ヲ採擇スベキモノトシテ毎度政府ニ送ツテ居ルノデアリマス、法律ハ既往ニ溯ラヌト云フ原則ノアルノニ拘ラズ、尙ホサウ云フ議論スラ起ス、現ニ恩給改正法ハ既ニ衆議院ヨリ提出サレテ、政府ハ餘リ同意ヲ表セラレヌヤウデアリマスガ、本院ニ配付ニナツテ居ルヤウナ際デアリマスルガ、サウ云フコトモアルノデアリマスケレドモ、マサカ溯ラテ日露戰役ノ功勞者ニ追賞スルト云フコトモ出來ナイデアラウト思ヒマスガ、其邊ニ付テ政府ハ餘リ公平ヲ害セヌト云フ考デアリマスルカ、尤モ此點ハ若シ今回ノ行賞ノ釣合ガ以前ト少シモ變ラナイト云フコトデアリマスルナラバ、今ノ質問ハ既ニ消滅イタシマスルカラ、御答ニ及バヌノデアリマス、次ニハ軍事當局ノ御方ニ御伺ヒ致シタイト思フコトガアルノデアリマスガ、戰死者ト、戰争ニハ參加シタケレドモ無事息災ニ凱旋ラシタト云フ其軍人ニ對スル所ノ賞與ノ工合ハ、是マデトテモソコニ多少手心ヲ用ヒラレタコト思ヒマス、例ヘバ公債ヲ支給スルニシテモ、戰死者ニ對シテハ時價ニ換算シテ公債ヲ交付スル、生キテ居ル者ニ對シテハ額面ヲ以テ公債ヲ交付スルト云フヤウナ手心モ用ヒラレタノデアリマスガ、モットシ此兩者ノ間ニ手心ガ用ヒラレテ然ルベキモノデハナイカト考ヘルノデアリマスガ、今回ハ此點ニ付テ如何デアリマセウ、現ニ本院カラモ建議ヲ致シマシテ、戰病死者遺族扶助救護ニ付テハ大ニ其方法ヲ講ジテ貰ヒタイト云フ建議モ出テ居ルノデアリマス、ノミナラズ民間ノ或實業家ノ如キハ此遺族ニ對シテハ非常ニ同情ヲ持チ、又遺族ニ對スル同情バカリデナク、此戰死者ノ遺族ヲ今日ノ如ク窮迫ノ境遇ニ放棄シテ置クト云フコトハ士氣ヲ振興スル上ニモ餘程關係スルデアラウト云フコトデ、特ニ事務所マデ設ケ、多額ノ費用ヲ投ジテ是ガ調査研究ヲシテ居ルト云フヤウナコトモアル位デアリマス、政府當局者トシテハ必ズ此邊ニ付テ御講究ノ所ガアラウト思ヒマスガ、今回ノ行賞ハ戰死者或ハ病者等ニ對シリマス、モウ一ツ極メテ根本的ノコトデ、是ハ私一己ノ考デアルカモ知レマセヌガ、同シク軍人ト云フ上ニ於テ大ナル區別ガニアルト思フノデアリマス、將校ナル者ハ職務トシテ軍事ニ從事シテ居ルノデアリマス、兵士ハ職務デハナイ全ク義務ノ爲ニ此軍事ニ從事イタシテ居ルノデアリマス、稍俗ナ言葉デアリマスルガ、其言葉ヲ使フコトヲ許サルルモノナラバ、將校ハ即チ戰爭ヲスル、軍事ニ從事スルト云フコトガ商賣デアルノデアリマス、兵卒ハド

ウデアルカト云フト、自分ノ商賣、本業ヲ一時中止シテ、全ク國家ノ爲ニ努力スルト云フ次第デアリマスルカラシテ、此二者ニ對スル所ノ行賞ノ振合程度ハ餘程其趣ヲ異ニスルノガ本員ハ當然デハナイカト思フノデアリマスルガ、從來日清、日露ノ戰後ニ鑑ミマシテモ、矢張リ兵士ニハ薄クシテ而シテ將校ニ厚イト云フヤウナ、所謂昔ノ一將功成ツテ萬骨枯ルト云フヤウナ主義ガ今日ニ於テ尙ホ行ハレテ居ル、昔ハサウ云フコトノアツタノハ、是ハ少シモ不思議ノナイコトデアリマスガ、今日ハ國民ニ重大ナル兵役ノ義務ヲ負ハセ、萬一事ルノハ無論デアリマスガ、ソレハ恰モ百姓ガ農事ニ務メテ國家ノ爲ニ盡スノト同ジク職務デアル、業務デアル、俗ナ言葉デ申セバ即チ商賣デアル、然ルノモ拘ラズ、商賣トシテ居ル者ニ厚ク、義務トシテ從事シタル者ニ薄キ感ガアルノハ聊カ其當ヲ失シテ居ルノデハナイカト本員ハ考ヘルノデアリマスガ、其點ニ付テ一ツ當局者ノ御所見ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス、第三ニハ更ニ軍人殊ニ此將校ニ向テ功勞ヲ賞スルニハ出來ルダケ品ノ良イ、而シテ其名譽ヲ保ツ所ノ方法ヲ以テセラレタナラバ、ソレガ最モ適當ナコトデアラウト思フノデアリマス、其爲ニハ爵位ノ制或ハ勳章ノ制ト云フモノモアルノデアリマスガ、ソレヲ以テ足レリトセズシテ尙ホ金錢ヲ以テ其功勞ヲ賞サヌケレバナラヌト云フ理由ハドコニ有ルノデアリマセウカ、金錢ヲ以テ其功勞ヲ賞スルト云フ結果ハ、私ハ或ハ軍人ノ品位ヲ落スト云フコトニナリハセヌダラウカト憂フルノデアリマス、是ハ獨リ武官ノミニ限ラズ、文官ト雖モ相當ノ給料ヲ貰ツテ職務ニ從事シテ居ル者ニ金錢ヲ以テ其功ヲ賞スルト云フコトニナルト、ソレガ爲ニ文臣錢ヲ愛スルト云フ弊ニ陷テハ誠ニ遺憾ト思ヒマス、申スマデモナク軍人ハ軍人ニ賜フタ所ノ勅語ノ御趣意ヲ守ラテ、質素ヲ貴ブベキハ申スマデモナク軍人ハ軍人ニ賜フタ所ノ勅語ノ御趣意ヲ守ラテ、質素見マスルト、日清、日露ノ戰役ヲ經テ俸給以外ニ幾多ノ勳章年金等ノアルガ爲デアリマセウカ、甚ダ華美ノ風ガ蔓テ居ル傾ガナキニシモ非ズデ、當局者モ常ニ其點ニ付テハ警戒ヲ加ヘテ居ラルルデアラウト思ヒマスガ、近來軍人並ニ其家族ニ付テシテハ最モ名譽トスル所ノ位階ナリ爵位ナリ、或ハ勳章ト云フモノヲ以テセラルルガ、寧ロ士氣ヲ鼓舞シ高尙ノ風ヲ維持セラルルコトニ於テ利益デアラ

ウカト思フノデアリマスガ、是モ此際ニ併セテ伺ッテ置キタイト思フノデアリマス

〔國務大臣若槻禮次郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣（若槻禮次郎君） 澤柳君ノ御質問ノ第二、第三ハ、軍事當局ノ大臣カラ答辯ニナラウト思ヒマスガ、第一ノ御質問ダケニ御答ヘ申シマス、今回ノ行賞ハ、日露事件ノ時ノ行賞ヨリモ特ニ賞ヲ厚クスルト云フ考ハナイノデアリマス、矢張リ日露事件ノ時ノ行賞ト其大體ノ標準ヲ同ジクシテ行賞ニ相成ル譯合デアラウト存ジマス、金額ハ大藏省ガ陸海軍カラ受ケテ居リマス所ノ通知ニ依リマスレバ、凡ソ十四万人位ニ向ツテ、平均百六十圓グラキナ賞與金ニ當ルヤウナ金額ニ相成ツテ居ルノデアリマス、其金額ノ總計ガ二千五百万圓バカリニナリマシテ、其中五百万圓バカリノ金額ハ端金デ、即チ現金ヲ以テ交付スル五十圓以下ノ賞與或ハ其上ノ所ノ端金ニ係ルノデアリマスカラ、是ハ現金ヲ以テ交付シテ、アトノ二千万圓バカリノモノヲ公債デ之ヲ交付シヤウト、但シ公債ノ價格ハ百圓ノ額面ノモノガ九十圓ノ割合ニナルモノトシテ交付シヤウト云フ計算ニ依ツテ此金高ハ出テ居ルノデアリマス、勿論是ハ大體ノ計算デアリマスカラ、此範圍内ニ於テ交付スルニ及バヌモノハ無論不用額トスルノデアリマスガ、大藏省ノ得テ居リマス材料ハ唯今申上ゲル通りデアリマシテ、其計算ノ基礎ニ於テ、此金額ハ定ツテ居ルノデゴザイマス、而シテ行賞ノ標準ハ日露戰爭ノ時ヨリ特ニ良クスルト云フコトニハナッテ居ラナイノデアリマス

〔國務大臣岡市之助君演壇ニ登ル〕

○國務大臣（岡市之助君） 唯今ノ御質問ハ海軍ニモ關聯ヲ致シテ居リマスルガ、陸軍ニ於テ定メマシタ方針ニ付テ御答ヲ致シマス、行賞ノ賜金ハ無論日露戰役ニ比ベマスレバ低クナッテ居リマスルガ、尙ホソレヲ細分シテ申シマスルト、今回ハ上ノ方ハ若干減額ヲ致シマシテ、下方ヲ若干增加ヲ致シマシタ、是ハ澤柳君ノ御質問ノ要點ニ若干近ヅイテ居ルト存ジマス、ソレカラ將校モ下士卒モ同一デ宜イデハナイカト云フ御質問ノ要點ノヤウデアリマスガ、是ハ各職務ニ從ツテ責任ノ輕重ガゴザイマスノデ、其責任ノ輕重ニ從ツテ行賞スルノガ至當チヤト存ジマス、將校モ下士モ兵卒モ同一ト云フコトニハ參ラヌト存ジマス、ソレカラアトノ御質問ハ、勳章サヘヤレバ何モヤラズトモ宜シイデハナイカト云フ御議論ノヤウデゴザイマス

ス、是ハ從來ノ慣例ニ依リマシテ今回モヤリマスルコトデゴザイマス、私ハ不都合ナイト思ツテ居リマス、澤柳君ノ唯今ノハ御意見ノヤウデアリマス、御意見トシテハ承ツテ置キマス、尙ホソレガ爲ニ將校等ノ一體ノ狀態ガ華美ニ流逝テ來タヤウデアルト云フ御說デゴザイマスガ、是ハ誠ニ御同感デ、私モサウ考ヘマス、併シ是ハ獨リ將校ノミデナイ、世ノ中ガ華美ニナツタ、唯ソレニカブレタト云フコトニ私ハ認メテ居ル、此事ニ付テハ深ク注意シテ且ツ之ヲ戒メルト云フコトニ付テハ極力努メテ居リマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○澤柳政太郎君 日露戰爭當時ト一向行賞ノ振合ハ異ナラヌト云フコトデアリマスルガ、今回ノ臨時事件費ハ多クシテ一億圓ヲ超エルコトハナカラウト思フノデアリマスガ、ソレニ對シテ行賞ノ費用ヲ計算セラレタモノハ二千四百萬圓……端數ノ現金ヲ以テ支給セラルモノ等ヲ合セマスルト、殆ド三割ニ上ツテ居ルノデアリマスルガ、ソレデモ日露戰役當時ト違ヒナイト云フコトデアリマスカ、又若槻大藏大臣ノ御話デハ十四万人ニ對シテ賞與ヲスルト云フ御話デアリマシタカ、アノ青島ニ立籠ツテ居ツタモノハ四五千人、サウシテ軍艦ト申シテモ甚ダ優勢ナラザル軍艦、ソレニ對抗スル所ノ今回ノ戰爭ニ於キマシテ、左程多人數ノモノガ之ニ參加イタシタノデアリマセウカ、確カ委員會デアリマシタカ、陸軍大臣カラシテ、陸軍ハ三万幾ラ之ニ參加シテ居ルト云フヤウナ御話デアリマシタガ、餘リニ僅ナルモノニ對シテ餘計ナ人數ヲ掛ケタヤウナ嫌ガアリハシナイカ、先刻大藏大臣ノ御出デノナイ前ニ委員長ニ御尋ネシタコトノ中ニ、今回ノ臨時事件費一億万圓ヲ出ナイト云フモノニ、是ハ私ハ既ニ其事自身ガ若シ屢、此議場ニ現ハレタ言葉ヲ用ヒマスナラバ、餘リ放漫ナル支出デハナイカト思ハルル所ノ嫌ガアリマス、僅ニ二箇月カ三箇月シカ掛ラズ、其區域モ猫ノ額ノヤウナ所ニ限ラレテ……戰局ハ多少擴ツテハ居リマスガ、ソレニ對シテ是ダケノ軍事費ヲ使用セラレタナルト、他日二十一個師團悉クヲ使用シ、日本海軍ノ精銳ヲ擧ゲテ戰鬪ニ從事スルガ如キコトガアリマシタナラバ、何十億、何百億ノ戰費ヲ要スルコトデアリマセウカ、實ニ思ヒヤラレルノデアリマス、ソレハ免ニ角ト致シマシテ臨時事件費ニ對シテ三割餘ノ……尠クトモ二割五分餘ノ行賞費ト云フモノハ、ドウモ釣合ヲ得テ居ラヌノデハナイデアラウカ、日露戰爭ノ時ノ費用ハ二十億足らずデアリマシタガ、其行賞費ハ決シテ三億ノ四億ノト云フ多額ニ上ツタノデハナカラウト思ヒマスガ、其點ヲ一應伺ヒタイト思ヒマス、陸軍大臣ノ御答

ハ私ハ十分ニ要領ヲ得マセヌガ、是ハ根本的ノ問題ニナリマスカラ更ニ御尋ネヲ致スコトト致シマス

〔國務大臣若槻禮次郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(若槻禮次郎君) 青島ニ出征イタシマシタ兵士ノ數ハ十何万アツタ譯デハアリマセズ致シマスケレドモ、青島ノ出征軍並ニ此出征軍ヲ出シテ居ル部隊ノ中デ勵キマシタモノ、全部デモアリマスマイガ、或ハ職工等、海軍ニ付テハ海軍ノ軍艦ヲ動カシテ居ル、又是ニ色々要スル所ノ兵器等ヲ造ッテ居ル職工等、是等ヲ集メマスト唯今申上ダマシタ十四萬人程ニナルサウデアリマス、是ハ陸軍海軍カラ大藏省ニ是ダケノモノニ行賞ヲ要スル、其金額ガ是ダケノ高ニ上ルト云フコトデアリマスカラ、之ニ基イテ唯今御協賛ヲ仰イデ居ル法律ヲ編成イタシタ次第、ニアリマス、行賞ヲシマスコトハ日露事件ノ時ノ標準ヨリモ宜クスルト云フコトヲ申上ゲタノデ、標準ハ日露事件ノ時ヨリ宜クハ致シマセヌガ、人數ガソレダケアルト致シマスト、單位カラ是ダケノ人數ヲ推シテ致スコトニナリマスレバ、金高ハ唯今ノ金額ニ上ルト云フコトハ已ムヲ得ナイト考ヘテ居リマス

〔澤柳政太郎君「軍事費トノ比較ハ如何ニナリマスカ」ト呼フ〕

○國務大臣(若槻禮次郎君) 軍事費ノ總額トノ比較ハ今回ハ金高ハ割合ハ上ツテ居リマス、ソレハ如何ニモ日清戰爭頃ヨリモ割合ハ上ツテ居ルヤウデアリマス、是ダケノモノハ先キニ申上ゲマシタ通リ、平均百六十圓トシテ是ダケノ行賞ヲ要スルト云フコトニナリマスル以上ハ、ソレダケ行賞スル人ガアルト云フコトニナリマスト、大藏省トシテハ已ムヲ得ナイト認メタノデアリマス

○議長(公爵徳川家達君) 八代海軍大臣

○國務大臣(八代六郎君) 陸軍大臣ガ先キヘ……

○議長(公爵徳川家達君) 岡陸軍大臣

〔國務大臣岡市之助君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(岡市之助君) 柳澤君ノ御質問ニ對シテ御答ヲ落シタコトガアリマス、戰死者ニ對シテハ皆現金ヲヤツテ居リマス、即時ニヤルコトニ致シテ居リマス、ソレカラ私ガ青島攻圍軍ニ從事シタ人員ニ付テ衆議院ノ委員會デ述べタコトヲ御例證ニナリマシタ、私ハ三万五千人ト述べテ居リマス、是ハ其青島攻圍軍ニ從事シタ戰鬪員ニ付テ答ヘマシタ、其背後ニ居リマスル後方勤務

ニ從事シタモノヲ入レマスルト凡ソ五万程ニナリマス、ソレカラ私ガ先刻日露戰爭當時ヨリ寧ロ今回ノ方ガ低イト申上ゲタト記憶シテ居リマス、左様御承知ヲ願ヒタイ、ソレカラ尙ホ念ノ爲ニ申上ゲテ置キマスルガ、今回金鷗動章ヲ受ケルモノハ人數ガ餘程低ウゴザイマス、即チ尠イノデゴザイマス、從ツテ一時金ヲ貰フモノノ方ガ多イト云フ割合ニナリマスガ、總體ニ於キマシテハ日露戰爭當時ヨリモ餘程平均額ハ低ウナッテ居リマス、左様御承知ヲ願ヒマス

〔國務大臣八代六郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(八代六郎君) 澤柳君ノ御質問ニ對シテ御答イタシマス、大體ハ陸軍大臣ノ答辯ト同様デアリマスガ、異ッタ點ヲ述べマス、海軍ガ兵力ヲ使用スルニ於テ用ヒマシタ人員ハ總テデ七万八千八百三十九人ニアリマス、尤モ其中ニハ職工ガ二万五千程居リマス、斯ノ如キ人員ヲ何ノ爲ニ用ヒタカト云フ御疑ガアルカ存ジマセヌガ、是ハ豫算委員會ニ於テ……

〔澤柳政太郎君「サウ云フコトハ御尋ネ致シマセヌ」ト述フ〕

ソレデハ、ソレハ申シマセヌ、斯ウ云フ御尋ネモアリマシタ、金錢ヲ以テ軍人ヲ賞スルガ故ニ軍人ノ家族等ガ奢侈ニ流レル虞ハナキカ、是ハ私モサウ云フ傾ガアルヤウニ世評ヲ承リマシタガ、嘗テ舞鶴長官タリシ時ニ十分ニ證索イタシマシタ、格別奢侈ニ流レルト云フ程ノコトハアリマセヌ、如何ニモ時ノ風ニ從ツテ綺羅美ヤカナ著物ヲ小供婦人等ガ著ルト云フコトガアリマスガ、質ニ於テハ左程ナモノデハナイト云フコトヲ調べ得マシタ、勿論中ニハ心得違ヒノ人ガアツテ、非常ニ華美ナ服裝ヲシテ居ル人ガナイデモアリマセヌ、ソレ等ニ對シテハドノ長官モ非常ニ苦慮シマシテ、十分ニ之ヲ戒飭スルコトヲ努メテ居リマス、今日ニ於テ海軍ニ特別ニ奢侈ノ風ガ横溢シテ居ルヤウナコトハアリマセヌ、又斯ウ云フ御説ガアリマシタ、士官……將校ト仰セラレマシタガ、私ハ士官ト御答イタシタガ宜カラウト思ヒマス、將校ト將校相當官トアリマスカラ士官ト申シマス、士官ハ職業トシテ居ル、兵士ハ義務トシテ居ル、是ハ澤柳君御一己ノ御考ヘダト仰セラレマシタガ、非常ナ根本ノ問題デアルト思ヒマス、私ハ之ニ對シテ違ツタ見解ヲ有ツテ居リマス、士官ガ職業、商賣ト云フコトヲ仰セラレマシタ、是ハ私ハ大ナル違ツタ意見ヲ有ツテ居リマス、士官トナルベキ者ハ何レモ日本國民デアフテ、當然護國ノ任務ニ當ルベキ義務ヲ有ツテ居リマス、其義務ヲ果スガ爲ニ士官トナツテ義務ヲ果シ

タイ、是ガ故ニ此士官トナッテ居リマス、當然護國ノ任務ニ當ル義務ヲ以テ士官トナッテ其義務ヲ果シタイカラ、ソレ相當ノ教育ヲ受ケ嚴密ノ試験ヲ經タ後ニ士官ニ採用セラルルモノデ護國ノ任務……義務ハ一モ違ヒハアリマセヌ、然ルニ又士官ハ商賣デアル、下士卒ハ義務デアル、然ラバ賞與モ同一ニスル方ガ公平デハナイカト言ハレマシタガ、是ハ私ハ公平ト云フコトハ左様ナモノデナイト思ヒマス、各其任務ニ輕重ガアル、任務ノ重イ者ニハ賞ガ重シ、任務ノ輕キ者ハ賞ガ輕イト云フコトハ、是ハ古來カラチャント決マッタコトデアリマス、都テ其任務ノ輕重ニ依ツテ賞ガ異ナルト云フコトガ本當ノ公平デ、秤ニ掛ケテ丁度衡平ニスルト云フ衡平デハナイ、誠ニ公ニ平ラカナルト云フ公平デアラウト思ヒマス、是デ御答ハ了ッタト思ヒマス

○伯爵柳澤保惠君 議長

○議長（公爵德川家達君） 柳澤伯爵ハ……

○伯爵柳澤保惠君 質問ガアリマス

○議長（公爵德川家達君） 宜シウゴザイマス

○伯爵柳澤保惠君 大藏大臣ニ伺ヒタイ、二千四百万圓ノ公債ノ發行ハ私共ハ公債ノ募集ト變ハラヌカト考ヘテ居リマス、此點ガ伺ヒタイ、此度此公債ガ御發行ニナリマシテ、之ヲ相當ノ人ニ政府ガ交付セラレ、而シテソレハ無記名公債デアリマスカラ市場ニ融通ガ出來ル譯デアリマス、大藏大臣ハ此場合ニ於キマシテ銘々ノ手ニ公債ハ這入ルケレドモ、ソレハ大部分其者ノ手ニ残ツテ市場ニ出ルモノハ少イ、是ハ二三度委員會其他デ伺ツタコトガアリマスガ、日清戰役、日露戰役後ニ於キマシテ、矢張リサウ云フヤウナ狀態デアッタカト申シマスルト、私共ハ少カラザル所ノ公債ガ矢張リ市場ニ出タヤウニ考ヘマス、然ルニ今回ノ場合ニ限ツテ此公債ハ大部分其人ノ手ニアツテ市場ニ澤山出ナイト云フコトハ、ドウ云フ根柢ニ依ツテ言ハレルノデアリマスカ、單ニ大藏大臣若槻君一己トシテノ御考デアリマスカ、或ハ大臣トシテノ御考デアリマスカ、之ヲ私ハ伺ヒタウゴザイマス

〔國務大臣若槻禮次郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣（若槻禮次郎君） 功勞ノアル陸海軍人ニ此公債ガ移ルノデアリマスカラ、直接ニ其人ノ手ニ渡ツテ、先ヅ其人が此受ケタ賞與ヲ保管シテ居ツテ、ソレカラ年々利息ヲ受取ルコトニナラウト思ヒマスノデ、サウ大ナル金額ノ公債ガ市場ニ直グ澤山出ヤウトハ思ヒマセヌ、此意見ハ個人トシテモ亦大藏

大臣トシテモ同様ニ私ハ考ヘテ居リマス

○議長（公爵德川家達君） 別段御發言モナイヤウニ考ヘマスカラシテ本案ニ付テ採決イタシマス、本案ノ第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

○起立者 多數

○議長（公爵德川家達君） 過半數ト認メマス

○男爵中川興長君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ望ミマス
〔男爵高木兼寛君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長（公爵德川家達君） 高木男爵ハ何デスカ

○男爵高木兼寛君 贊成シマス

○議長（公爵德川家達君） 直チニ第二讀會ヲ開クベシトスル中川男爵ノ動議ニ御異議ゴザイマセヌカ

○議長（公爵德川家達君） 御異議ナイト認メマス
〔異議ナシ〕ト呼フモノアリ

○議長（公爵德川家達君） 直チニ第二讀會ヲ開キマス、全部ヲ問題ニ供シマス、……全部御異議ハゴザイマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長（公爵德川家達君） 御異議ナイト認メマス
○男爵中川興長君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ望ミマス

○男爵高木兼寛君 贊成

○議長（公爵德川家達君） 直チニ第三讀會ヲ開イテ御異議ゴザイマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長（公爵德川家達君） 御異議ナイト認メマス

○議長（公爵德川家達君） 直チニ第三讀會ヲ開キマス、第二讀會決議ノ通り御異議ゴザイマセヌカ

○議長（公爵德川家達君） 御異議ナイト認メマス

○議長（公爵德川家達君） 議事日程第二、帝國鐵道會計法中改正法律案、政

府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告、第三、國債整理基金特別會計法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告

帝國鐵道會計法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正四年六月六日

右特別委員長

伯爵寺島誠一郎

貴族院議長公爵德川家達殿

國債整理基金特別會計法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正四年六月六日

右特別委員長

伯爵寺島誠一郎

貴族院議長公爵德川家達殿

「伯爵寺島誠一郎君演壇ニ登ル」

○伯爵寺島誠一郎君 唯今日程ニ上リマシタ此二案、即チ國債整理基金特別會計法中改正法律案、並ニ帝國鐵道會計法中改正法律案ハ、互ニ密接ナル關係ヲ有ツテ居リマスル案デアリマスル故ニ、此二案ノ特別委員會ニ於キマスル審議ノ經過並ニ結果ヲ御報告申シマスルニ際シマシテ、此兩案ヲ束ネテ問題ト致シマシテ陳述スルコトニナリマスカラ、豫メ御了承ヲ願ツテ置キマス、委員會ハ此兩案ノ内容ノ最モ重大ナル事柄ニ鑑ミ、且ツ政府ノ財政經畫ノ之ニ依ツテ遂行サレ、又鐵道經畫ノ之ニ依ツテ施設セラルル所以ニ慮ツテ、此會期切迫セルニモ拘リマセズ、正副委員長ノ互選以來毎日開會イタシマシテ、各員熱心ニ審議イタシマシタ、其可否ノ論旨ハ政府ヨリハ大藏大臣ハ勿論ノコト、農商務大臣、鐵道院總裁等出席サレテ、ソレドク陳辯スル所ガアッタノデアリマス、其詳細ハ報告中漸々逐ウテ申上ゲルコトニナリマス、元來此基金法ト中デ國債整理基金法ノ案カラシテ申上ゲルコトニ致シマス、元來此基金法ト申シマスノハ日露事件ノ爲ニ募集シタ公債ノ元利償還ニ充ツル爲ニ出來タノデアリマシテ、之ガ爲ニ年々少クトモ一億一千萬圓ヅツ締入金ヲスルト云フコトニ規定シタモノデアリマス、之ニ依ツテ此種ノ公債ヲ成ルベク速ニ償還

シ、且ツ斯ノ如クシテ往ツタナラバ一定ノ期間ヲ經テ償還シ盡シテ仕舞フト云フコトヲ規定シタ法律ナノデアリマス、其當時ハ誠ニ機宜ニ適シタモノデアツタトスウ政府ハ申サルルノデアリマス、ナゼカト申シマスト此日露事件ノ内外公債が非常ニ多額デアッタノデアル、當時ニ於キマシテハ、此法律ノ規定ニ依ツテ償還スルコトガ出來タシ、又利息ヲ支拂フト云フ方ニモ可ナリ多額ノモノガ使ハレテ居ツタノデアリマス、即チ初メテ公債償還ノ當時ハ三千五六百萬グラキアッタサウデアリマス、明治四十二年度カラ此元金償還高ヲ五千万圓トシマシテ、一般會計カラ繰入金ヲ増加シタノデアリマス、即チ一億一千万圓デハアッタガ、マダ五千万圓ノ償却高ニ上ラナカッタノデアリマス、外カラ入レル金ヲ以テ五千万圓償還スルノデアッタノデアリマス、然ルニ大正四年度ニ於キマシテハ基金法通リヤツテ見マスレバ、一億一千万圓ヲ以テ五千百六十万圓元金償却ニ充テナケレバナラヌコトニナルノデアリマス、固ヨリ大正五年、六年、七年、八年ト段々其高ハ増加シテ行クコトハ明カデアリマス、即チ言葉ヲ換ヘテ申シマスレバ四五年ノ後ハ一億一千万圓ヲ以テ六千万圓以上ノ元金償却即チ元金償還ニナルノデ、此點ハ豫期ハシテ居ツタノデアリマスガ、他ノ政府ノ入用モ考ヘルト公債ノ償還高ガ多少多過ギル傾ニナルトスウ政府ハ言ハレテ居ルノデアリマス、次ニ斯ノ如ク五千万圓、五千四百万圓、五千六百万圓ト四五年モ元金償還ヲ致シテ參リマスト、内地ニアリマス臨時事件費公債ガ殆ド全部償還サレ盡シテシマフノデアリマス、ソレガ爲ニ是カラ以後ノ元金償却ハ悉ク外國ヘ仕拂フト云フコトニナルノデアリマス、デ一方元金ノ償還ニ使フ金ハ悉ク外國ニ出テシマフカラ、他方ニ於テ今日ノ我國ノ正貨ノ高ハ到底ニ堪ヘ得ラレヌト申サルルノデアリマス、更ニ今後外國貿易ノ狀況ガ改善シテ參リマシテ……改善シテ行キマシタ所デ矢張リ斯ノ如キ巨額ノ正貨ヲ外國ニ仕拂フト云フコトハ到底我國ハ堪ヘ得ナイト斯ウ申サルルノデアリマス、尙ホ此改正ノ理由ト致シマシテ後トニモ申上ゲマスルガ、年々鐵道ノ爲ニ公債ヲ二千万圓前後ハ募集シテ居ル、此基金法ニ依ツテ……此國債整理基金法ニ依ツテ償還シテ居ル、其方デハ金ヲ返シテ居ルガ、鐵道ノ方デハ新タニ募集ヲシテ居ル、即チ右ノ手デ返シテ左ノ手デ借入ヲシテ居ル、マダソレダケナラバ宜イガ、後トカラ借入レル方ノ分ハ條件ガ惡ルクナル、即チ利廻リガ宜クナイノミナラズ勿論償還スルニハ額面高デアルガ募集ノ際コトニ規定シタモノデアリマス、之ニ依ツテ此種ノ公債ヲ成ルベク速ニ償還

見ナケレバナラヌ、其上ニ重ニ外國デ募集スル日ニハ内地ノ通貨ニ非常ニ變動ヲ生ズル、經濟界ニ急劇ナ變動ヲ來タシ隨ツテ弊害ガ續出シテ來テ通貨ガ膨脹スル爲ニ空景氣トナツテ、ソレガ一ツノ原因ニナツテ輸入ヲ増シテ貿易ノ狀況ヲ惡ルクスルヤウニナツテ來ルコト等ヲ申サレタ次第デアリマス、尙ホ政府ハ我國官民兩面ヨリ唯今申上ゲタコトヲ標準トシテ海外ニ正貨デ仕拂ハナケレバナラヌ總額ハ……官民共ニ仕拂フモノヲ加ヘマシテ略ボ一億圓ニナルサウデアリマス、ソレデアルカラシテ是非此際貿易ヲ順調ニ轉換セシメネバナラヌト云フコトヲ此際附加ヘテ申サレテ居リマシタ、斯ノ如キ理由デアルカラシテ此減債基金ノ規定ヲ改正シテ日露事件公債ニ限ラズ、何レノ公債ヲモ償還スルコトニシタイ、同時ニ償還ノ金額ヲ相當ノ程度ニ引下ゲルコトニシタイト云フノデアリマス、即チ一定ノ歩合ヲ定メテ國債總額ノ萬分ノ百十六、即ナ當時ニ於テハ三千万圓内外ニナルノデアリマス、其減少シタ高即チ二千万圓ト云フモノハ、是ガ次ノ鐵道會計法中改正法律案ト最モ密接ノ關係ヲ有ツテ居ル中樞ニナルノデアリマス、此法案ニ對シマスル政府ノ説明モ亦大藏大臣ヨリ承リマシタノデ其要領ヲ申上ゲネバナラヌノデアリマス、鐵道ノ資金、政府ハ鐵道ノ爲ニ要シマスル資金ヲ調達セムガ爲ニハ年々二千万圓前後ノ公債ヲ募集シテ居ルノデアリマス、今日マデハ外國ニ之ヲ仰イデ居リマシタガ是ハ面白クナイ、是ハ到底募集スルコトノ出來ナイ場合デアル、内國債ハソレナラバドウカト申シマスルト、前ニ申シマシタ通り、外國貿易ヲ改善スルニハ内地ノ生產事業ヲ發達サセナケレバナラヌ、其生產事業ヲ發達サセル爲ニハ其資金ヲ潤澤ニシテ置イテヤラネバナラヌノデアル、其資金ヲ潤澤ニシテ置カネバナラヌ際ニ、政府ニ於テ募債等ヲシテハ其大切ナ資金ヲ吸収スルノデアル、即チ經濟界ヲ壓迫スルコトニナル、ソレノミナラズ既存ノ公債ニ影響スルノデアルカラ、今日ノ經濟界ノ模様デハ當分之ヲ避ケテバナヌ、即チ内債モ出來ナイ、一方ニ資金ハ緊急必要ニナルノデアルガ内外債ハ出來ナイ、然ラバ借入レルヨリ外ニ途ハナイ、即チ日本ノ國有鐵道デアリマス、新タニ建設ヲ要スル分、既存ノ分ヲ改良セネバナラヌ、是ハ鐵道トシテ相當ノ資金ガ要ルコトデアリマスカラ之ヲ借入レナケレバナラヌ、鐵道院ハ年ニ五千万圓グラキ入用ダト言フガ、今俄ニ多額ノ資金ヲ大藏省ハ出スコトハ出來ナイノデアル、ダカラシテ苦シイ中ニモニ二千万圓クラキナラバト云フコトデ、據ドコロナク此減債基金ノ方カラ是ダケラ融通シテ置クト云フ

コトニナツタノデアリマス、即チ是等ノ理由ガ此鐵道……帝國鐵道會計法中改正法律案ヲ提出サレテ、一般會計ヨリ借入ヲスルコトガ出來ルト云フコトニシタイト云フ所以デゴザイマス、茲ニ兩案ノ説明即チ政府ノ説明……私ガ申シマシタノハ政府ノ説明スル所ヲ不十分ナガラ申上ゲマシタガ、此政府ノ説明ガ分リマシテ委員會ニ於キマシテハ數多キ重要ナル質問ガアツタノデアリマス、其中デモ最モ重要ナリト認メマスルモノヲ茲デ申上ゲマスコトガ私ノ義務ト存ジマス、鐵道デ一般會計ヨリ借入レル金ノ期間ハドノ位デアルダラウカ、利息ハドンナモノデアルカト云フ質問ガゴザイマシタ、之ニ對シテ政府ハ期間ハ五年クラキデ……通常五年ト云フコトニナツテ居ルカラ五年トルト云フコトデアル、利息ハ五分五厘ト云フコトニスル筈デアル、斯ウ答ヘラレマシタ、ソレカラ此一般會計カラ借入レル二千万圓ハ現在ノ鐵道ノ限度ニ對シテ資本トスルノカ、又或ハ將來ノ經畫……現在ノ限度デハ逆モ満足スルモノデナイカラ、將來ニ又大ナル經畫ヲスルコトデアルダラウガ、其經畫ヲモ含シテ居ルノダケレドモ、ソレニ對シテモ不十分ナルモノナガラ先ヅ二千万圓貸タノデアリマス、之ニ對シテハ政府ハ現在ノ鐵道ノ極ク必要ノ部分ダケヤツテ行ケルダラウト云フ御答デハ不十分デアル位デアル、鐵道院ノ方デハ五千万圓ナケレバナラヌト言フテ居ルノダケレドモ、ソレニ對シテモ不十分ナルモノナガラ先ヅ二千万圓貸シテ置ケバ、現在鐵道ノ極ク必要ノ部分ダケヤツテ行ケルダラウト云フ御答デアツタ記憶シテ居リマス、又此法案ニ關係シテ居リマスル外國債償還ノコトヲ行フニモ矢張リ鐵道ノヤウナ堅實ナル事業ヲ尙ホ一層確實ニシテ、之ヲシテ置ケバ、現在鐵道ノ極ク必要ノ部分ダケヤツテ行ケルダラウト云フ御答デアルガ、ドウシテモ借替ヘルト云フコトモムヅカシイデハナイカト云フアリマス、之ニ對シテ大體ハ借替ヘナケレバナラヌ、是ハナカノ事情困難デアルガ、ドウシテモ借替ヘナケレバナラヌノデアルカラ、今日カラ外國市場ヲ能ク養ツテ、成ルベク有利ノ條件ヲ以テ借替ヘタイト云フ趣意デアルト云アリマス、之ニ對シテ大體ハ借替ヘナケレバナラヌ、是ハナカノ事情困難デアルガ、ドウシテモ借替ヘナケレバナラヌノデアルカラ、今日カラ大正三年六月二十四日ニ政府ノ政綱ヲ發表セラレテ居ル、ソレハ第一、政費節減ヲ行ヒ國民負擔ノ輕減ヲ圖ルト云フヤウナコトヲ天下ニ表白サレタガ、ソレハ最早打切リニナツタカト云フ問ガアリマシタ、其時當局者ハ、當時ノ經畫ニ於テ行政整理及自然增收其他用途ノナイ金額ヲ加ヘテ二個師團ノ增設ヲ行ヒ、

海軍ノ製艦モヤリ、其他教育、殖産、工業等發展ノ費途ニ支辨シテ、尙ホ二千万圓ノ殘リヲ生ズル見込デアルカラ、是デ租稅ヲ輕減スル筈デアッタガ、時局突發ノ爲ニ其金ヲ使ツテ仕舞ツタカラ減債ガ出來ナイコトニナッタト云フ答辯ヲサレタノデアリマス、ソレカラマ少シ單刀直入ニ聞カレタ御方ハ、減債基金カラ之ヲ減ズル必要ガアッテ……減債基金ノ方ガ多クテイカヌカラ、之ヲ減ズル必要ガアッテ二千万圓減ズルノデアルカ、或ハ鐵道ノ方ニ金ガ入用デアルカラ整理基金ノ方ヲ減ズルノデアルカ、此基金法アッテ公債ノ信用ヲ維持シテ行カレルノデ、又其價格ヲ保ツテ行クコトガ出來ルノデアルガ、此爲ニ公債其物ニ影響ヲ及ボシハセヌカト云フ御尋ガアッタノデアリマス、所ガ此經畫ハ既ニ昨年ノ五月デアリマシタカ、倫敦デ發表ニナッテ居ルサウデアリマシテ、之ガ爲ニ惡イ影響ハナカッタ、倫敦ニ於テ日本ノ公債ノ價格ハ動カナカッタト云フコトヲ答ヘラレ、且ツ此整理基金ニ手ヲ著ケルノハ鐵道ノ爲ニ入用デアルカラト云フコトヲ答ヘラレタト私ハ記憶シテ居リマスノデアリマス、又此鐵道ノ經畫ニ付テ現政府ハドウ云フ考ヲ有ツテ居ラルカ其一班ヲ聽キタイト尋ネラレタ所ガ、鐵道院總裁ハ之ニ對シテ、昨年三十五議會ニ出テ居ル七年經畫ト云フモノガ先づ今日行ツテ行カウト云フ經畫デアル、此冬ノ議會ニモノレヲ出ス積リデアルト答辯セラレタヤウニ思ツテ居リマス、又一委員ヨリ此鐵道經畫ト云フモノノ中ニハ廣軌ニ直サナケレバナラヌ、其廣軌ニスルコトヲ含ンデ居ルカト云フコトデアリ、又貴族院ガ嘗テ四十五年ニ鐵道ニ對シテ希望ヲ決議シテアルガ、其希望ハ御承知デアルカラト云フヤウナコトヲ鐵道院總裁ニ同時ニ質問サレタノデアリマス、鐵道院總裁ハ之ニ對シマシテ、廣軌ノ方ノ答ハ鐵道院總裁トシテデハナカッタヤウデアリマス、御自身デ自分デ之ヲ研究シテ居ル、廣軌ニスルカ、強度ノ狹軌ニスルカト云フコトハ自分デ調査シテ居ルカラ、是ハ調査ノ結果ニ俟タナケレバナラヌ、又四十五年ノ希望ニ付テハ全然一言モ答ヘラレナカッタノデアリマス、終ニ仕舞ニハ御自身モ御存知ガナカッタカノヤウデアリマス、ソレカラ此一般會計ヨリ借入レル金ノ期限ハ何時ソレデハ返スノデアルカ、何年經ツテ又一般會計ニ返スカト云フ間ニ對シテハ、鐵道院總裁ハ之ヲ返スコトニ付テノ經畫ハナイ、其事ハ自分ハ知ラヌ、大藏省ノ方デハ知ツテ居ルコトデアリマセウガ自分ハ知ラヌ、兎ニ角利息ヲ拂ツテ置クト云フヤウナ不満足ナル御答デアッタト云フコトヲ茲ニ申上ゲテ

アル所ヲ、ソレヲ順調ニスルト云フコトニ付テ辯論サレタノデアリマスガ、其際ニ兎ニ角貿易ト云フモノハ逆調デアル、左程逆調デナイニセヨ益、其勢ヲルト放任主義ノヤウニ見エテ居ルガ、ドウ云フ御考デアルカ、當局所管大臣ノ説明ヲ聽キタイト云フコトデアリマシタ、ソレニ對シテ農商務大臣ガ出ラレテ懇篤ニ説明ヲセラレテ、甚ダ好ガツタノデアリマス、即チ農商務大臣ノ説明ハ、内ニ對シテハ產業ノ發達ヲ圖リ、外ニ對シテハ貿易ノ發展ヲ助ケルヤウナ方針ヲ執ツテ居リマス、即チ内ニ對シテハ製造工業其他ヲ發達セシメ、外ニ對シテハ販路ノ擴張ヲ圖ツテ居リマシテ、實際ニソレノ人ヲ派遣シテ調査セシメツツアル、即チ支那南北ハ勿論、印度、濠洲、北米、南洋ト云フヤウナ所ヘ、ソレドヽ人ヲ出シテアッテ、其報告ヲ受ケツツアル、其報告ニ依レバ餘程良好ナル狀態デアッテ、將來ニ望ミガアルト云フコトヲ言ハレタノデアリマス、又内ニ於テハ化學工業ノ進歩ヲ圖ル爲ニ其研究所ヲ設ケテ居ルトカ、其他今日ノ日程ニ上ツテ居ル染料ノ如キコトニ關シテモ、農商務大臣ガ述ベラレタノデアリマシテ、稍要領ヲ得タ御答デアッタノデアリマス、唯今柳澤伯爵カラ大藏大臣ニ御問ニナッタヤウナ問題ハ、矢張リ委員會ニ於テモアッタノデアリマス、其次ニ出マシタ問題ハ朝鮮ノ鐵道ノ方ハ一億圓モ要ルト云フコトデアルガ是ハドウスルト云フ質問ニ對シテハ、大藏大臣ハ是ハ今日朝鮮ノ鐵道デ使ツテ居ル所ノ經濟デアッテ、之ヲ現在ノ儘ニ止メテ置イテ、其以上ニ要スルモノハ少シ一般會計カラ幾ラカ融通スルヤウナコトガアルデアラウト云フヤウナ、餘リハツキリシナイ御答デアッタヤウニ自分ハ記憶シテ居リマス、先づ是等ガ重ナル質問デアッテ、ソレニ對スル政府ノ答辯デアッタヤウニ記憶イタシテ居リマスガ是ヨリ討議ニ移リマシテ、其討議ニ於テハ、政府案ニ贊成ナサル議論モアリ、勿論反對ノ說モアリマシタガ、此議場ニ於テハ贊成ノ方ノ方ヲ先キニ申上ゲマシタラ御参考ニナルデアラウト思ヒマス、其シテ居ルカラ、是ハ調査ノ結果ニ俟タナケレバナラヌ、又四十五年ノ希望ニ付テハ全然一言モ答ヘラレナカッタノデアリマス、終ニ仕舞ニハ御自身モ御存知ガナカッタカノヤウデアリマス、ソレカラ此一般會計ヨリ借入レル金ノ期限ハ何時ソレデハ返スノデアルカ、何年經ツテ又一般會計ニ返スカト云フ間ニ對シテハ、鐵道院總裁ハ之ヲ返スコトニ付テノ經畫ハナイ、其事ハ自分ハ知ラヌ、大藏省ノ方デハ知ツテ居ルコトデアリマセウガ自分ハ知ラヌ、兎ニ角利息ヲ拂ツテ置クト云フヤウナ不満足ナル御答デアッタト云フコトヲ茲ニ申上ゲテガ、兎ニ角一般會計ノ方カラ利息ヲ付ケテ鐵道ノ方ニ貸付ケルト云フニ付テハ、其利息ト云フモノガ豫期シナイ所ノ收入ニナルノデアルカラ、成ルベク

サウ云フヤウナ點ニ付テハ十分ニ注意ヲ拂ッテ置クヤウニシタナラバ、一般會計ノ方デモ不時ノ收入ノ有ルコトデアルカラ、其點ハ稍々不幸中ノ結構ナコトデアル、又鐵道ノ方デモ二千万圓借リルト云フコトニセズ、一千万圓、一千七八百万圓デ濟ムナラ、ソレダケデ間ニ合セテ、成ルベク借リルノハ必要ノ限度ニ止メテ置クヤウニシタイト云フ希望ヲ添ヘテ贊成サレタノデアリマス、ソレカラ又或一員ハ、租稅ヲ以テ鐵道ヲ維持スル、國有鐵道ヲ維持スルト云フコトハ甚ダ面白クナイコトデアル、誠ニ已ムヲ得ヌコトデアルノデアル、今度ノ議會ニ出テ居リマスル豫算ハ、增師ト云フモノヲ包含シテ居ル、既ニ此方ハ緊急ナモノナンデアルノデ、是トノ因果關係デ豫算ト云フコトヲ頭ノ中ニ入レテ、此兩案トモ議セナケレバナラヌ、デ、鐵道ニ改良、建設ノ急務ノ有ルカ否カ、ソレモ亦研究シタ上デナケレバナラヌガ、免ニ角我國ノ鐵道モ此運輸界ノ進運ニ伴ウテ向上發展ヲシナケレバナラヌカラ資金ガ要ルノデアル、其方ニ要ルノナラ成ルホド據ドコロナイ話ダカラ出ス、之ヲ手ヲ付ケル爲ニ豫算ニ關係ヲシテ來ルト云フコトデアルナラバ、師團ノ增設ニモ關係ヲシテ來ルカラシテ、因果關係デ豫算ト云フコトヲ頭ニ入レテ、二ツノ案ヲ考ヘテ見テ、ソレデ之ニ贊成ヲ表セナケレバナラヌト思フト云フコトモ言ハレタヤウデアリマス、ソレカラ最モ有力ナル或一員ハ、五箇ノ理由ヲ舉グラレテ之ニ贊成ノ意ヲ表セラレタノデアリマス、第一ニハ即チ政府ノ言ハレル通り正貨流出ト云フコトヲ心配サレルノガ一ツノ理由、ソレカラ右ノ手デ返シテ左ノ手デ借リルト云フコトニナレバ同ジコトデアルカラシテ、ソレナラバ返スコトヲ止メニシタラ宜カラウト云フノガ第二ノ理由、ソレカラ鐵道ノ資金ト云フコトニ付テ、是ハ是非鐵道ト云フモノハ發達サセテ行カナケレバナラヌノデアルカラ、其資金ヲ得ル方法ガ外ニ何處ヲ探シテモナイ、無イ以上ハ據ドコロナク此基金ノ方カラ出シテヤツテ宜カラウト云フノガ第三ノ理由、第四ノ理由トシテハ、是ハ政府ノ立場、衆議院ノ立場、貴族院ノ立場カラ考ヘネバナラヌト云フコトデアリマス、即チ此貴族院ト云フ立場カラ致シマシテ、コトガ第四ノ理由デアリマス、即チ昨年國防上ノ問題カラシハ、今日貴族院トシテ此案ヲ維持シテヤルコトガ至當デアルト考ヘルト云フ昨年衆議院解散ノ理由ニナツテ居リマスル問題ノ一ツデアリマスル是等ノ案テ内閣ガ壞ハレテ仕舞ツタ、今日ハ其貴族院ノ望ミデアッタ所ノ國防問題モ施行サレル際デアルカラシテ、ソレ等ノコトモ頭ニ入レテ置イテ此案ヲ贊成シ

ナケレバナラヌト云フノデアリマス、國防ノ方ハ右様ノ通リデアリマスガ、若シ萬一ナコトガアッテ、兩案共ニ不満足ナモノデアルガ、併シ此不満足ナモノデアルカラ承知ガ出來ヌト云フ場合ニハ如何ナルコトガ起ルカ、貴族院ガ奮然トシテ立ツテ之ヲ今日爲サネバナラヌノデアルガ、斯ノ如キコトニナツタナラバ天下再ビ紛亂ヲシテ中々面倒ナコトニナルト云フ、サウ云フコトガ今日決心ヲ仕兼ネルノデアルト云フコトガ又一ツノ理由デアフタノデアリマス、是等ガ先づ贊成者ノ重ナル理由デゴザイマス、ソレカラ反対ヲセラレタ方ノ側ノ主ナ理由モ亦茲ニ申述ベルコトハ權衡上必要デアルト信ジマス、是ノ案、殊ニ減債基金特別會計法ナドニ手ヲ著ケルト云フコトハ誠ニ國家ノ爲ニ憂フベキコトナンデアル、涙ヲ揮ッテモ反対ヲシナケレバナラヌ、其理由ハ一體此租稅ヲ以テ鐵道ノ資金トスルト云フコトデアルナラバ、新タニ租稅ヲ募テサヘモ鐵道ヲ敷カナケレバナラヌデハナイカト云フ議論マテ出デ來ルデハナイカ、又減債基金ノ方カラニ二千万圓取ッテ鐵道ノ方ニ使フコトガ出來ルナラバ、ソレダケノ餘裕ガアルノデアルカラ、其二千万圓ヲ果シテ鐵道ノ方ニ使フノガ、宜シイヤ否ヤ、或ハ減稅ノ方ニ充テナケレバナラヌト云フヤウナ議論ガ起ルデハナイカ、甚ダ憂フベキ紛亂ヲ來タスベキ基ニナルノデアフテ、斯ノ如キ根本的ノ法案ニ手ヲ著ケルト云フコトハ甚ダ悲シムベキデアル、鐵道ノ方カラ見レバ、鐵道ト云フモノガ特別會計ニシテアル精神ハ何處ニ在ルカト云ヘバ、國家ガ鐵道ヲ經營スル、即チ鐵道其モノノ發展ニ伴フテ自營シテ行カラケレバナラヌモノデアルト云フ精神ニ外ナラヌ、自營シテ行カナケレバナラヌ鐵道ナラバ、資金ハ入用ノ節ハ借リテ來ルガ宜イ、ソレハ募ツテ來ルガ宜カラウ、併シ借リルト云フコトモ出來ズ、募集スルコトモ出來ヌト云フ曉ハ、是ハ時機到來ヲ待ツヨリ仕方ガナイ、自分ガ舉ゲル所ノ利益ヲ割イテ益、發展スルヤウニスルノガ必要デアッテ、無理ナルコトマデシテ資金ヲ調達シナケレバナラヌト云フノハ、是ハ問題トシナケレバナラヌト云フコトデアルノデアリマス、又ニ二千万圓ヲ一度減債基金ヨリ減ズルト云フコトナラバ、廢滅税ノ論據トナルハ勿論ノコト、各省ニ於テ……稍々言葉ガ私ガ申上ゲルノハ不十分カモ知レマセヌガ、各省ニ於テモ色ムノ施設ヲ望ンデ居ル次第デアル、設ヲスルカラ是ダケノ金額ヲ是非寄越セト云フ、所謂各省分捕ノ原因トモナ

ルコトガ出來シテ、遂ニ一方ニハ國債基金ノ原則ガ破レテ、片方ニハ斯ノ如キ現象ガ生ジテ來ルノハ甚ダ憂フベキコトデハナイカト云フノモ、一ツノ反對ノ理由デアツタヤウニ思ッテ居リマス、ソレカラ又減債基金ヲ此儘ニシテ置クト云フコトデアレバ、免ニ角元金ノ償還ト云フコトガ出來ルノデアツテ、濟崩シニシテ漸々逐ウテ返スト云フコトガ出來ルヤウニナルガ、片方ニハ其方ヲ減ジテ單ニ將來大借替ヲスルトキノ準備ニ海外ノ市場ヲ養ッテ置クト云フコトデアレバ、成ルホド借替ガ出來レバ宜イケレドモ、借替ガ出來ヌトキニハ誠ニ心配ノコトデアル、專賣ノ利益モ擔保ニナツテ居ルシ、又關稅モ擔保トナツテ居ルヤウナ次第デアルカラ、大借替ノ出來ヌト云フ際ニハ誠ニ心配ノコトナンデアル、濟崩シニシテ行ケバ稍其心配ノ程度ト云フモノハ減ルノデアツテ、幾ラカ心配ノ中ニモ餘計安心スルコトガ出來ル、且ツ此金ヲ成ルタケ使ハズニ置クト云フコトノ必要ノコトハ申ス迄モナイコトデアルガ、平時カラ其心懸デヤツテ行カナケレバナラヌ、僅ニ青島事件ガアツテサヘモ一億圓モ金ヲ使ツテ居ルカラ、若シ萬一ノ事ガアレバ何億ト云フ金、何十億ト云フ金ガ要ルヤウニナルカラ、平常カラ心懸ケテ成ルベク金ヲ使ハヌヤウニシテ置アリマス、遂ニ是等ヲ總括イタシマシテ、今斯ウ云フモノヲ出サナクテモ宜イテ、鐵道ノ如キモ僅カノモノデモ、據ドコロナイト云フコトナラバ、ソレヲ以テ自ラ經營シテ行クヨリ仕方ガナイデハナイカト云フ議論モアツタノデ議會ニ出サレルト云フ如ク政府デ言ウテ居ルカラ、此兩案ノ如キハ冬ノ通常議會マデ兎ニ角行ッテ、此冬ノ議會ニ出シテ十分研究ヲシタラ宜イデハナイカ、ソレ迄待ツコトニシテ欲シイ、此理由ヲ以テ反對スルト云フコトモアツマシタ、ソレ迄ノ所ナラバドウナリ繩合ハシテ、短期デ借入シテ、始末ヲ病ハ減債基金ノ方ニモアル、同病相憐ムノデアツテ、此案ハ病氣ノ案デアル、鐵道ノ方デハ濟マシテ置ケバ宜イデハナイカ、斯ウ云フノデアリマス、ソレカラ此兩案即チ鐵道ニ關スル案ト減債基金案、是ハ此病ハ鐵道ニモアル、又マツタノデハナイ、此病氣ハ以前カラ起ツテ居ツタんだ、併シドチラガ重イカト言ヘバ病ハ寧ロ鐵道ノ方ニアル、是ハ甚ダ簡單ニシテ要領ヲ盡シタカト思ッテ病案デアルノダ、斯ウ云フ名言ヲ吐カレタ御方モゴザイマス、病氣ハ今ニ始居リマス、即チ鐵道經畫ヲ聞イテ見レバ、鐵道經畫ハ一向成ツテ居ラヌ、不熟ナモノデアル、不熟不徹底ノ決定ノ爲ニ減債基金ヲ減ラシテ貸付ケル、即チ

租税ヲ貸付ケテ利息ヲ取ルト云フ案デアル、國家トシテハ一向定マツタ經綸デ
ハナイデハナイカ、デアルカラモウ少シ研究シテ新ニ今度ノ冬ノ議會ニデモ
出シタラ宜イデハナイカト云フヤウナコトデ反対サレタ御方モゴザイマス、
先ヅ甚ダ不束デアリマシタガ、先ヅ經過ハ斯ウ云フヤウナ次第デゴザイマシ
タ、遂ニ採決ヲ致シタ場合ニハ、十二名ノ委員ガ出席サレテ居リマシタノデ、
賛成者九名ニ依テ此兩案トモニ政府提出、衆議院送付ノ通リ可決ニナッタ次
第デゴザイマス、之ヲ御報告イタシマス、終リニチヨット附加ヘテ置キマスル
ガ、唯今ハ委員長トシテ報告イタシマシタガ、私ハ委員ノ一人トシテ實ハ反
對ノ意見ヲ有シテ居ル者デアルト云フコトヲ此所ニ聲明シテ置キマス
○議長(公爵徳川家達君) 諸君ニ御諮詢致シマス、唯今委員長ノ報告ハ兩
案束ネラレマシタガ、議題ト致シマスノモ兩案束ネテ御異存ゴザイマセヌカ

○議長（公爵徳川家達君）御異議ナイト認メマス、是ヨリ通告順ニ依リマシテ登壇ヲ促シマス、仲小路廉君

〔仲小路廉君演壇ニ登ル〕

○仲小路廉君 私ハ本案ニ反対ヲ表スル一人デゴザイマス、今日ノ場合ニ此兩案ガ破壊サレムトスル端緒ノ開カレマスルコトハ、私ハ衷心實ニ遺憾ニ存ジマスノデアリマス、殊ニ國家ニ重要ナル案デゴザイマスルカラ、必ズ政府ニ於テモ此法律ノ改正ヲ企テラレルト云フナラバ、重要ナル理由ノ必ズ存在シテ居ルモノダト自分共ハ存ジタノデアリマス、本案ガ委員會ニ付託セラレマシテカラ以來、各委員ノ方ミニ於テモ非常ナ御勵精ヲ以テ攻究審査ヲ盡サレタノデアリマス、私モ亦此案ニ付キマシテハ最モ深キ關係ヲ有ツテ居リマスル譯デ、此委員會ニ於テ審査ノ初ヨリヨリ最後ニ至ルマデ、常ニ臨席ヲ致シテ居リマシテ、應答説明、總テノコトモ詳細ニ承知ヲ致シタノデアリマス、然ルニ私ハ其結果ニ於テ政府ガ斯ノ如キ重大ナル案ヲ御提出ニナリマシタニ拘リマセズ、之ヲ改正ヲ企テラレルト云フ理由ハ極メテ薄弱デアル、殆ド此案ヲ今日ノ場合ニ於テ改正ヲシナケレバナラナイト云フ理由ハ殆ドナイト申シテ然ルベキヤウナ説明竝ニ答辯デアツタノデアリマス、之ニ反シテ本案ニ對シテ反対ヲ表セラレマシタ各員ノ御意見ハ何レモ皆堂々タル議論ヲ備ヘテ之ニ反對サレテ居ルノデアリマス、又賛成ヲ表セラレテ居ル委員中、私ハ其委員ノ中ニ最モ重キヲ置カルル人ハ前田子爵ノ賛成論、田中源太郎君ノ賛成論デアツタ

ト存ズルノデアリマス、其他ニモ尙ホ贊成ヲ表セラレタ方々モアッタノデアリマス、就中此兩君ノ御説ハ最モ重キヲ置イテ居ツタト私ハ存ズルノデアリマス、然ルニ贊成者中ノ有力デアリマシタ前田子爵並ニ田中源太郎君ノ御意見ハ、贊成デハアルト言ハレテ居ルニ拘リマセズ、其述ベラレテ居リマスル事柄ハ全ク反対ノ意見ヲ述べラレテ居ルト見テ宜カラウト存ズルノデアリマス、唯已ムヲ得ザル事情ノ爲ニ、已ムヲ得ザル事情ノ爲ニ贊成ヲスル、其後豫算委員會ニ於テモ、亦此問題ニ付キマシテ贊否兩様ノ意見ガ出タノデアリマス、其委員會ニ於キマシテハ中島永元君ヨリ贊成ノ御論ガ出タト思ヒマス、其御論ニ對シマシテハ同ジ贊成者ノ中デアリマシタ前田子爵ニ於テ明カニ其理由ヲ否認サレタ如クニ、贊成ヲセラレタ方々ニ於テモ表ニ於テハ贊成デアルト云フノデゴザイマスルガ、其内容ニ於テハ悉ク反対ノ論旨ヲ十分ニ説明サレテ居ツタモノダト私ハ信ズルノデアリマス、大藏大臣ハ委員會ニ於テ縷々御説明ニナツタノデアリマス、當初ハ此法案ヲ改正スル理由トシテ二箇ノ理由ヲ御説明ニナツテ居ツタノデアリマス、一ツハ鐵道ノ爲ニ資金ヲ要スルカラ餘儀ナク此法律ノ改正ヲシナケレバナラヌ、一ツハソレニ拘ラズ將來ノ公債銷却ノ上ニ於テモ尙ホ第二條ヲ改正シテ、日露戰役ノ爲ニ消費シタル經費云々ト云フモノヲ還シテイカナケレバナラナイ、斯ウ云フ御説明デアッタノデアリマス、然ルニ委員會ニ於テ漸次其審究ヲ進メラレマシタ其結果ニ於キマシテ、殆ド第二ノ理由ハ消エテ跡ナクナツタト云ツテ宜シイ位ノコトデアリマス、全クハ鐵道ノ爲ニ差向二千万圓ノ金ヲ其方ニ向ケタイカラ之ヲ改正ヲスルコトニナル、固ヨリ御意見ハアルニハ相違アリマスマイガ、其説明應答ノ間ニ於テ結局本案ニ對シテハ鐵道資金タルニ二千万圓ヲ必要トスルカラ、ソレノ調達ニ必要ナリトシテ此改正ヲ要スルコトニナツタノデアル、是ガ殆ド唯一ノ理由デアッタノデゴザイマス、然ルニ鐵道ノ經畫ハドウデアルスニ付テハ年々四千万圓乃至五千万圓ノ金額ヲ要スル、從ツテ此年度割ニ相當スベキ不足分トシテ二千万宛ノ金額ヲ年々生ズベキ途ヲ執ツタノハ當然デアリマス、然ルニ大正四年度ナル本年ニ提出シテ居ル鐵道ノ豫算ハドウデアルカ、差向本年限リノ提出案デアリマス、而シテ其理由ハ何カト云フト、建設ハ堵テ措イテ、改良工事ニ重ナ力ヲ要スルトスル以上ハ、將來ノ鐵道ヲ廣軌

ニスルカ、將タ狹軌ニシテ最強度ナルベキモノヲ以テ進メテ行クガ宜シイカ、此兩點ニ付テ十分審査攻究ヲ盡シタ上ニ此根本義ヲ極メタ上デ、次ノ議會ニ提案スルマデニドチラカノ意見ヲ極メル積リデアル、是ハ或ハ政府ノ公然ノ議デハナクシテ鐵道院總裁御一人ノ調査デアルカモ存ジマセヌガ、去リナガラ此事柄ハナクテモ構ハヌ事柄ト私共ハ思フノデアリマス、是カラ後ニ改良ノ點ニ重キヲ置キマスル以上ハ、ドチラニ致セ我内地ノ鐵道ハ廣軌ニ致サナケレバナラナイコトハ勿論到著イタシテ參ルノデアリマス、既ニ朝鮮満洲ニ於ケル我鐵道ハ是皆廣軌デアリマス……是皆廣軌デアリマスルノニ、獨リ我内地ノ鐵道ノミガ狹軌デ宜シイト云フコトハ到底ソレハ行カナイ、茲暫クノ間ガソレデ參ルト致シマシテモ、必ズヤ近キ將來ニ於テ再ビ其事ニ到著イタスハ當然デアラウト考ヘマス、之ヲ單ニ技術上ノ考ヨリ觀察スペキモノノデハナイト思フ、ソレヲ單ニ強度ノ狹軌ニスレバ事足リルナドト云フコトハ、單ニ技術者ノ所見デアル、一面政治上、軍事上、經濟上ノ關係ヨリ云ヘバ車輛ニ致セ、總テノモノガ一朝有事ノ時ニ際シテハ朝鮮ニ在ルモノモ、滿洲ニ在ルモノモ、内地ノモノモ總テガ流用共通サルル途ヲ立ツテ置クコトハ是ハ當然ノ次第デアリマシテ、車輛其他ノモノノ共通流用ノナイ我國ニ於テハ、ドウシテモ根本ニ於テ右ノ必要ハ勿論差迫ルノデアリマス、從ツテ鐵道院總裁ガ是ヨリ後ニ改良工事ニ重ナ力ヲ盡スコトニナツテ、茲ニ將來ノ經營ヲ立テルト云フ以上ハ、其根本ニ於テノ問題ヲ解決スルガ爲ニ調査ナサルト云フノハ是ハ當然ノ次第デアリマシテ、鐵道院總裁ガ職務ニ忠實ナルガ故ニ、經費ヲ無駄ニシナイガ爲ニ、手戻リニナラナイヤウニ、成ルベク其經費ヲ有益ニ使フ、有效ニ使ヒタイガ故ニ、茲ニ根本問題ニ付テ調査ヲ致サルルト云フハ當然ノコトデアリマス、殊ニ貴族院ニ於テハ既ニ明治四十五年ニ於テ、將來ノ鐵道ハドウシテモ廣軌ニシテ置イテ、世ノ進運ニ伴フダケノコトハシテ行カナケレバナラナイト云フ結果カラシテ、當時貴族院ノ院議ヲ以テ希望トシテ政府ニモ其事が傳ヘラレテアル、即チ其當時ヨリシテ鐵道當局者ハ其院議トシテ傳ヘラレテ居ル途ニ於テ相當ノ準備モアリ、調査ノアルハ當然ノコトデアルト考ヘルノデアリマス、其結果鐵道院總裁ガ、差向今年度ノ豫算ハ今年一年限り、大正四年ニ頭ヲ出スモノダケニ止メテ置イテ……頭ヲ出スモノダケニ止メテ置イテ、後ノ經費ハ根本問題ノ解決シタル上ニ於テ相當ノ提案ヲスルト云フ、此御考慮ハ至當ノコトト私ハ考ヘルノデアリマス、斯クナクテハナ

ラナイ筈ノモノデアル、左スレバ今日鐵道ノ爲ニ必要トル金額ハ實ハ差向キノコトデアリマス、今年若クハ來年、ソレ以上ハ根本問題ガ決マリマシタ後ニ付テ更ニドウ云フ提案ニナルカハ、ソレ以後ノコトデアル、先ヅ差向キ一兩年ノ間ハ目下急ニ迫ルモノノミトナツテ居ルノガ至當ト考ヘル、斯ル場合ニ……鐵道ノ關係ハ斯様ナコトデアルノニ、此場合ニ一方國債整理基金法ノ根本法ヲ改メテ、年々五千万圓ヅツ銷却スルト致シテ居ツタモノヲ、其内二千萬圓鐵道ノ方ニ向ケル必要ガアルト云フ理由ノ下ニ於テ、此整理基金法ニ破壊ノ端ヲ啓クト云フハ如何ナルコトデアルカト考ヘル、此點ハドウカ政府ノ方ニ於カレマシテハ、總理大臣閣下ヲ初メトシテ各大臣方ニ於カレマシテモ、能ク能ク御考ヲ煩ハシタイト存ズルノデアリマス、抑國債整理基金特別會計法ニ依ツテ一億一千万圓ト云フ金額ノ所、年々五千万圓ノ金額ヲ償還ニ充テル、是ハ實ニ日露戰役後ニ於ケル容易ナラヌコトデアッタノデアリマス、日清戰役ノ際ハ兎ニモ角ニモ國家ノ戰費ノ賠償金ヲ得タノデアル、然ルニ日露戰役ノ際ニ於テハ何等賠償金ヲ得ナカツタ結果、戰爭中ニ經費負擔ノ爲ニ非常特別稅トシテ重稅ヲ課シテ居ツタ、其非常特別稅トシテ課シテ居ツタ重稅ガ、戰爭ガ相濟ンダ後ニモ期限ヲ延バシテ、之ニ依ツテ兎ニモ日露戰役ニ消費サレタル金、即チ其公債ノ償還ヲ一日モ速ニシャウト云フ御考カラ出來タノガ即チ此法律デアル、ソレヲ今日此場合ニ於テ此法律ニ手ヲ著ケテ、遂ニ破壊ノ端緒ヲ啓カレルト云フハドウ云フ譯デアルカ、昨日モ豫算委員會ノ席上ニ於テ反對說ヲ主張サレル委員ノ一人カラモ述ベラレタコトガアル、唯今ハ幸ニシテ東洋ニ於テ小康ヲ得テ居ルトハ言ヘ、兎ニ角日獨ノ間ハ交戰ノ狀態ニ在ル、一時我ハ小康ノ狀態ニ在ルコトガ出來ルト云ウテモ、其關係ニアル、是ヨリ後如何ナルコトニ立到ルカ、ドウ云フコトニ逢著スルカ測リ難タナイン今日ノ場合、成ルベク資金ハ貯蓄イタシテ置カナクテハナラヌ、積ンデ置クトニナルノハ、今日ノ場合ニ於テ如何デアルカ

〔副議長侯爵黒田長成君議長席ニ著ク〕

斯ウ云フ議論ガ昨日委員會ノ席上デ出タノデアリマス、實ニ私共モ左様ニ存ズルノデアリマス、尙ホ公債償還ノ金額ノコトニ付テ、五千万圓償還ノ關係ガ一時非常ナ悲境ニ沈淪シテ居ツタ公債ノ價格ヲ昇騰セシメテ、中外ノ信用ヲ保ツ基トナツテ居ツタト云フコトハ、過日私ガ第一讀會ノ際ニ於テ質問ノ際ニ

モ申述べタコトガアリマス、實ニ中外ニ對シテモ公債ノ信用ヲ維持シテ居タ其根本ニ影響スルコトニナツテ參ツタノデアリマス、此點ニ付キマシテ私以外ノ論者ヨリ十分ニ陳述ナルベキコトガアラウト存ズルノデアリマス、私ガナルノハ、是亦鐵道特別會計法改正ニ於テ甚シク遺憾ニ存ズルノデアリマス、斯ノ如クニ、此兩案ニ對シマシテハ殆ド改正ノ理由ガ乏シイノデアリマス、ソレニ拘リマセズ、遂ニ斯様ナ狀態ニ至ツタニ付キマシテ、私ハ先刻委員長ノ報告中ニアリマシタ某議員ノ意見デアリマス、ソレハドウ云フコトデアルカト申シマスルト、若シモ此法律ニ改正ヲ加ヘルト云フ政府ノ提案ニ贊成ヲシナカツタナラバ、豫算ヲ不成立ニシ、其結果ハ國防上必要トシテ昨年貴族院ガ專ラ主張シテ居ツタニ師團問題ヲ遂ニ不成立ニ了ラシメルヤウナ結果ガ出來テハ事大事デアル、是ハ實ニ貴族院ニ對シテハ甚シイ御言葉ヲ用キラレタモノト私ハ思フ、陸海軍ノ事ヲ問ハズ、國防問題ハ貴族院トシテハ實ニ生命トシテ昨年以來主張イタシテ居リ、現ニ二百八十人ノ議員中二百四十人マデ其事ヲ必要トシテ主張イタシタノデアル、ソレガ今ヤ成立スル際デアリマスカラ、如何ナル人ヲ問ハズ貴族院ハ實ニ其成立ヲ望ンデ居ルノデアリマス、貴族院ガ其成立ヲ熱心ニ望ンデ居ル其弱點ニ付ケ込ンデ、若シモ貴族院ガ此案ヲ通過セシメナカツタナラバ豫算ハ不成立トナリ、御前達ガ最モ必要ト感ジテ居ル國防問題ハ壞レルゾヨ、實ニ手嚴シイ方法ヲ用キラレタモノダト私ハ思フ、ソレガ單ニ某議員一己ノ御考デアリマスナラバ、是ハ單ニ某議員一己ハ餘程間違ヘラシテ居ルト申シテ宜シイノデアリマス、若シモ斯様ナ事柄ガ政府筋カラ出テ密ニ三四ノ間ニ、斯様ナ方法ヲ執ラナカツタナラバ遂ニ豫算ハ不成立ニナツテ、國防問題ハ成立スルコトガナイゾヨト云フヤウナ意味ヲ以テ向ハレタト云フナラバ、實ニ不穩當極マルコトデナイカト思フノデアリマス、貴族院ニハ殊ニ穩和ヲ主トシテ、穩和ヲ主トシテ成ルベク無事ナルコトヲ望マルル方々モ多イ、又縱シ此案ガ通過シナイト致シテモ、私共ハ鐵道豫算ニハ何等ノ關係ヲ有タヌト思ツテ居ル、鐵道豫算ニ於テハ二千万圓ノ分ハ二千万圓トシテ其儘ニシテ置イテ一向支ヘハナイ、一時ノ繰替ノ方法ヲ以テ何トデモ途ガ付ク、又市場ニ於テ公債ガ募リ得ラルル狀況ナラバ之ヲ募ツテ一向支ヘナイ、若シモソレモ出來ヌコトナラバ私ハ固ヨリ鐵道ニハ甚ダ最負分デア

リマス、最負分デハアリマスガ、市場ノ状況ドウシテモ鐵道ノ爲ニ公債ガ募
レス、仕方ガナイト云フ場合ナラバ、今日ソレマデニ縮小イタシテ置イテモ
仕方ガナイデハアリマセヌカ、是モ亦隨分誇張サレタコトヲ以テ向ハレテ居
ルト思フ、鐵道ニ十分ノ改良ヲ盡サヌカツタナラバ危険タ、危険デアル、サウ
云フ威カシ文句ヲ使ハレルト皆矢張リ恐怖スルノデアリマス

〔議長公爵德川家達君議長席ニ復ス〕

去リナガラ實際ハドウカト云ヘバ、サレバト云フモノハ鐵道ノ自營上カラモ當然支出デハナイノデアル、一千八百万圓ト云フモノハ鐵道ノ自營上カラモ當然支出シ得ル金額デアッテ、而シテ今日改良工事、改良工事ト仰セニナッテ居ルモノハ、ドンナモノデアリマス、京濱間ノ電車ハ前ノ人ガ經畫シテ置イタモノト言ダテ宜イ、ソレハ現當局者ヲ敢テ責ムルトハ私ハ申サナイ、去リナガラ今年即チ大正四年度ノ豫算ヲ見マスレバ直チニ分ル、多クハ東海道線ノ改良デアリマス、或ハ京都附近、逢坂山ノ關係、若クハ大阪、神戸、京都ニ至ル附近ノコト、或ハ中央停車場近邊ノ整理ノコト、私ハ實ニ鐵道ノ經畫ニ付テハ別シテ深イ同情ヲ有テ居ルニモ拘リマセズ、近時ノ鐵道經營ニ至テハ實ハ愛想ノ盡キルコトモアル、京濱電車、京濱間電車ノ狀況ハ何トシタ失態デアル、其失態ヲサモ前任者ノコトデアルト云フコトヲ元ニシテ置イテ、麗々之ヲ發揚シテ而シテ鐵道廳院内ノ人ミノ更迭ノ材料ニシテ居ルノデアリマス、過失ノアル者、過チノアル者ヲ懲罰シテ更迭スルコトハ固ヨリ必要、喜ブ所デアリマス、去リナガラ斯カルコトニ名ヲ託シテ、唯其間ニ自己ト趣味ヲ同ジウスル者、自分等ト都合ノ好イ者ノ爲ニ他ノ者ヲ更迭セシムルト云フヤウナ結果ガアツテハ實ニ相濟マヌト思フノデアリマスガ、先ヅ其事ハ姑ク措キマシテ、即チ京濱電車ノ如キモノガ、是ガ謂ハユル東海道線ノ改良工事ノ一トサレテ居ルノデアリマス、京都附近ニ於ケルコトモ同様デアリマス、其外東海道線ノ改良工事ト申ス中ニハサウ云フ性質ニ屬スルモノガ多イ、ソレバカリデナイ、中央停車場ニ關スルコトモ同様デアリマス、固ヨリ是等ノ事柄モ出來マスレバ重疊デアリマス、ガ併シ是ガ今日ドウシテモ國債整理基金ニマデモ手ヲ著ケナケレバナラヌト云フ場合デアッタナラバ斯様ナコトハ姑ク見合シテ置イテモ宜イデハアリマセヌカ、千八百万圓、澤山出來ル仕事ガアル、ソレヲ鐵道ノ道ニ餘リ明ルクナイ人ガ多イカラト云ウテ、全然三千八百万圓ヲ使ハナケレバ詰リ人身ニ危害デモ及ボスヤウナコトヲ仰セニナ

大隈伯モ亦其事柄ヲ大キク言ハレル、ソレハ總理大臣ハ都合好クソレヲ大キク言ハレルカラ、ソレハ宜カッタ、所ガ若櫻君ハ非募債デ行キマセウ、一切ソレデ行キマセウ、行ケルカ、行ケマスヽ、ソコデ首相ハ、是ハ非募債、當分公債ハ募ラヌ、國民ハ安心シロ、ソレデ物價モ廉クナル、私ハ實ハ親不孝ダト思フ、ソレカラ尙ホ此度ハ此我ミノ同僚、院内ノコト、是ニ私ハ實ニ遺憾ソ存ズルコトガアル、固ヨリ貴族院ハ穩當ガ宜シイ、穩カガ宜シイ、去リナガラ國家ノ大事ニ際シテハ、矢張リ國民ト喜憂ヲ共ニ致スノガ至當デハナイガ、今日ノ場合ニ私共ハ決シテ政府全體、皆サンヲ攻撃スルトハ申サナイ、ソンナコトハ言ハナイ、今年ハ度々質問シタリ、此壇ニ登リマスカラ、アアソレハ見方ガ惡イ、私ノ先日カラ頻ニヤツテ居リマスコトヲチャント通ジテ御覽ニナルト分ル、外交ノ心配ヲ致シテ居ル、是ハ實際デアリマス、アトハ財政ノ心配ヲシテ居ル、其外別段他ノ大臣ニハソンナニ申シマセヌ、私ハ何ニモ悉ク政府ニ反對スルノデモナカラネバ、各大臣ヲ目ノ敵ニスル積リモナイ、中ニハ眞履ノ人モ大分アル、唯外交ノ點ト財政ノ點ハ甚シク心配モ致シ、眞實憂慮シテ居ル、ソレデ此議會ノ初メカラ外交上ノ質問ヲ二回マデ致シ、隨分加藤君ニハ氣ノ毒マデノ言葉ヲ申上グタ、ガ併シ此事ハ國民ガ皆心配ヲ致シテ居ル、然ルニ此議院中ニ、極メテ大ナル勢力ヲ有ッテ多數ノ人ノ集マラレテ居ル其團體ニ於テ、外交ノ事ニ付テハ一言ノ質問スラモ出ナイ、出ナイ、質問シテ居ラヌ、シナクテモ心配シテ居ルト仰セラレバソレダケデアリマスガ、併ナガラソレハ餘リニ對岸ノ火災、國民ハサウハ思ハナイ、チットハ我我ト一縁ニ心配シテ吳レテモ宜シイデハナイカト云フ感ジモ起シハセヌカト思フ、ソレガ餘リニ冷々淡々ニ打下グラレテ居ルト、今度ハ反對ニ若モ怨ノ係ヲ有ッテ居ル國債整理基金、此問題ガ今日參ッタ場合ニ、是ニモ同様ニ何デモ政府案ハ通サウゼ、政府案ハ通サウゾ、強イカ弱イカ存ジマセヌケレドモ、兎ニモ角ニモ皆ヲ撫デ集メテ仕舞ウテ、少壯ニシテ多少意見ノアル人ハ十分ニ意見ヲ主張シタイ方々モアルニ相違ナカラウト思フ、ソレラマア言フナヽ、オトナシイコト、是ハ決シテ大隈總理大臣ノ御考デハナイト思フ、大隈伯ハ必ズソンナコトヲ宜イトハ思召ニナラナイ、性質上サウアルト思フ、若イ者

ニハヤラセヌデハイカヌゼ、シッカリ議論ヲセイ、是ガ大隈伯ノ御了簡ニ相違
ナカラウト思フ、ソレヲ又多クノ大臣ガ或關係ヲ利用シテ、己ガ命ニ從フベキ
者ガ其處ニ居ルカラト言ッテ、斯ノ如キ重要ナ案ヲ、斯ノ如キ重要ナ案ニシテ
殆ド理由モ何モナイモノヲ、強ヒテ之ヲ通サウトスル、私ハ我ミノ同僚タル
溫和ナ、オトナシイ方ミヲ憎イトハ申サナイ、寧ロサウ云フ風ニ向ケル人ガ
甚ダ憎ラシク思フ、是ハ甚ダ罪ナコトデアル、ドウカサウ云フコトダケハ貴
族院ニハ向ケテ貴ヒタクナイト思フ、我ミノ所屬幸俱樂部ハ、昨朝モ熱心ニ
攻究イタシマシタ、又昨日委員會ノ終リニ於テ集セテ熱心ニ攻究シタ、其結果
ハ自由討議、銘々ノ意思ニ從ツテ銘々ノ考ヘ通リニ、贊成ト思ヘバ贊成、反對
ト思ヘバ反對スルコトニナッタ、斯クアリテコソ初メテ貴族院ノ本當ノ有様ヲ
現ハシテ居ルト思フ、ドウカ私ハ滿場ノ諸君ニ取別ケテ御願ヲ致スノデアリ
マス、此重大ナル案ヲ、唯今申スヤウナ理由デ、差向キ此際ニ鐵道ノ二千万
圓ノ爲ニ、國家内外ニ對シテ信用ノ維持ノ根本トモナルベキモノ、之ヲ潰シ
テ掛ルト云フコトハ實ニ堪ラナク思フノデゴザイマス、一度サウナリマシタ
ナラバ、此戰後矢張リ戰時ト同ジヤウニ見テ、何處マデモ日露公債ノ濟ムマ
デハ、特別稅デヤツテ行カウト言ウタモノヲ、此所デ二千万圓ヲサウ致スト、
必ズ茲ニ減稅ヲシタイトカ、廢稅ヲシタイトカ云フ理由ノ出テ來ルノハ當然
デアリマス、其次ハ海軍ノ爲ニ使ヒタイ、陸軍ノ爲ニ使ヒタイ、其他各種ノ
コトニ使ヒタイト云フコトガ出テ來ルノハ當然デアリマス、若シモ左様ナコ
トガ出マシタナラバ、實ニ必要ナ公債ノ基礎、戰後ニ大切ナ關係トナッテ居ル
モノガ、茲ニ壞ハレテシマフ端緒ガ出來ルノデアリマス、ドウカ之ニ付キマ
シテハ考ヲ冷カニ、ドウカ斯様ナ蕞爾タル理由ノ爲ニ此大切ナ法律ガ破レマ
スルヤウナ端緒ノ開ケマセヌヤウニ……縱シヤ一時多數ヲ制シタカラト申シ
テ、ソレハ何ニモナラヌト思フ、假令少數デアリマシテモ、他日ニハ矢張リ
青史ニ名ヲ遺シ、一時或他ノ誘惑……ト申シテハ相濟ミマセヌカモ存ジマセ
ヌガ、事情ニ流レ、事情ニ流レテ餘儀ナク左様ナコトガ出來テ參セテ、他日若シ
モ是ガ種々ナ端緒ニナツテ參セタナラバ、其責ハ全ク今日此案ニ贊成サレタ人
人ノ責任ニ歸スルコトニナツテ參セタウト思ヒマス、私ハ此案ノ決議ノ際ニハ、
成ルベクハ記名投票ニ願ヒタイト存ジマス、而シテ其名ヲ長ク遺シテ置クコ
トモ必要デアラウト思フ、縱シ又無記名投票ニナリマシテモ、隱レタルヨリ
顯ハルルハナシ、何方ニシテモ出來ルコトデアリマスカラ、成ルベク決議ノ

際ニハ黑白何レニ歸スルカ、他日ニ遺シテ置ク爲ニサウ云フコトニ致シタイト考ヘマス、ドウカ成ルベク諸君ノ御賛成ヲ得タイト思ヒマス
○議長(公爵德川家達君) 休憩ヲ致シマス

午後零時十五分休憩

午後二時二十七分開議

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ報告ヲ致サセマス

〔成瀬書記官朗讀〕

本日議員伯爵柳原義光君ヨリ四十名ノ賛成ヲ以テ道徳維持ニ關スル建議案ヲ發議セリ

本日特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

明治四十五年正月大正元年度豫備金支出ノ件外十件(承諾ヲ求ムル件)特別委員會

委員長 公爵德川慶久君 副委員長 伯爵正親町實正君

本日特別委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

無盡業法案修正報告書
貯蓄銀行條例中改正法律案可決報告書

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ午前ニ引續キマシテ會議ヲ開キマス、前田子爵ノ登壇ヲ求メマス

〔子爵前田利定君演壇ニ登ル〕

○子爵前田利定君 本員ハ唯今議題ニナツテ居リマス國債整理基金特別會計法中改正案ト鐵道會計法中改正法律案ノ特別委員ノ一人ト致シマシテ、一兩日前ヨリ賛成ノ意見ヲ發表イタシテ居リマスノデアリマス、先日來先輩諸君ノ反對ノ御所信ヲ度ミ伺フ機會ヲ得マシタ、尙又唯今仲小路君ノ御演説モ承リマシタ、仲小路君ノ御熱烈ナル、精神ヲ籠メラレタル御意見ニ付キマシテ、其誠意ノ在ル所ニ付キマシテハ非常ニ敬服イタシマシタ次第デアリマス、併ナガラ未ダ以テ私ノ懷抱シテ居リマス所ノ賛成ノ意見ヲ拠擲スル理由ニハ伺ヒ取レマセヌデアリマシタ、私ハ先輩タル仲小路君ガ手嚴シキ御議論ノ攻撃ノ矢ヲ御振り注ギニナツテ下サルコトデアラウト期待シテ居リマシタ、所ガ脇思フノデアリマス、儲テ本案ニ付キマシテ賛成ノ所信ヲ申述ブルニ先チマシ

テ、私ノ國有鐵道ノ經營ニ對スル考ヲ先づ以テ申述ベタイト思フノデアリマス、是ハ私ノ賛成論ノ基礎ニナル所ノモノデアリマス、ソレハ國有鐵道ノ政策ト致シマシテハ、鐵道ヨリ生ズル所ノ收入ヲ國庫ニ入レルト云フコトハ、所謂國有鐵道ノ本旨ニ背クモノデアル、ソレト同様ニ租稅ヲ以テ即チ一般會計ヨリ鐵道ノ經營ノ方へ補給ヲスルト云フコトモ、又同ジク國有鐵道ノ本旨ニ背イテ居ルモノデアルト云フコトヲ信ジテ居ルノデアリマス、此立論ノ基礎ハ仲小路君其他反對ノ意見ヲ有ツテ居ラレル所ノ諸君ノ御意見ノ基礎ト同ジコトデアリマス、併ナガラ振出地ガ同ジデアッテモ、行先地ノ異ナル如クニ、立論ノ地ガ同ジデアリマシテモ、結論ガ必シモ同一デハナイノデアリマス、抑、此國有鐵道ナルモノハ如何ナモノデアルカ、鐵道モ一箇ノ營業デアリマスカラ、國家ガ收入ヲ増スト云フ目的ヲ以テ經營ヲシタナラバ、相當ノ收益ヲ得ラルルコトハ分リ切ツタ次第デアリマス、併ナガラ國有鐵道ノ本旨ト云フモノハ、國庫ノ收入ヲ増ス爲ニ經營スルモノデナイト信ジテ居リマス、即チ國有鐵道、詰リ鐵道ヲ買收シテ國有ニスルト云フ所以ノ根本ニ遡ツテ考ヘテ見マスト云フト、一面ニ於キマシテハ軍事上ノ必要、今一ツハ運輸ノ統一、此二ツノ根本主義カラ成立ツテ居ルコト考ヘルノデアリマス、故ニ私設會社ニ於ケルガ如ク、利益トナル地方、利益トナル方面ノミニ鐵道ヲ敷設シテ、サウシテ收益ヲ増スコトヲ是レ圖ルト云フヤウナ主義デハ、根本ニ於テナイノデアリマス、故ニ國有鐵道ハ私設會社ノ鐵道經營ニ於ケルト同様ニ多大ナル收益ヲ充タシテ來ナイト云フコトハ分リ切ツタコトデアリマス、國有鐵道ノ利益線カラ得ラル所ノ收益ハ、利益ノ薄イ方ノ線路ヲ維持スル方ニ振向ケナケレバナラナイノデアリマス、其結果モット文運ガ發達シマシテ、如何ナル地方ニ於テモ、如何ナル目的ヲ以テモ、鐵道ヲ架ケタ其地方カラ十分ナル收益ヲ得ラルルヤウナ世ノ中ナラバ格別デアリマスガ、今日ノ日本ノ程度ニ於キマシテハ、中ミサウ多クノ收入ハ得ラレナイト云フコトガ當リ前ノコトデアラウト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、又縱シシバ將來ニ於キマシテ、此官營鐵道ノ收益ガ非常ニ舉ツテ、サウ云フヤウナ時機ガアルト致シマシテモ、其收益ヲ國庫ノ收入ニ入レルト云フコトデアリマスレバ、是ハ鐵道ニ乗ル所ノ人間ヘ課稅スルト同ジコトデアラウト思フノデアリマス、又一般會計カラシテ鐵道經營ノ方ニ金ヲ注ギ込ムト云フコトハ、鐵道ニ乘ラヌ人間ニ課稅ヲスルト同ジコトデアルンデアリマス、故ニ國有鐵道ノ本旨ト云フモノハ、此

二ツノ限度内ニアラネバナラヌト考ヘテ居ルノデアリマス、即チ若シ十分ナル收益ガ上ガツタナラバ、國庫ニ入レナイデ、ソレヲ線路ノ擴張ニ使フ、或マス、故ニ獨逸ノ諸聯邦ノ統計ヲ見マシテモ、唯一ツ「ブロイセン」ノミガニ非常ニ收益ヲ上ゲタ、財政學ノ原則ニ反シテ國庫ノ收入ニ致シテ居リマスルガ、「ザクセン」其他ノ諸聯邦ニ於キマシテハ、矢張リ多大ノ損失ヲ毎年計上トスル位ノコトデアリマス、而カモ軍國ノ此多事ノ時ニ方リマシテ、經營費イタシテ居ル次第デアリマス、單リ日本ノ國有鐵道ノミデハナイヤウデアリマス、翻ツテ我國ノ國有鐵道ノ成立チマシテカラ以來ノ年月ハ僅ニ十年ニ垂ントスル位ノコトデアリマス、而カモ軍國ノ此多事ノ時ニ方リマシテ、經營費ニ差支ヘタカラト云ウテ、其儘ニ必要ナル施設ヲ怠慢ニ付スルト云フコトハ到底許サヌノデアリマス、然ルニ多年來ノ財政ノ状態カラ致シテ、鐵道院ノ經畫ハ貴族院デ以テ……貴族院ノミナラズ、議會デ以テ協贊ヲ受ケタル豫定ノ費用ノ下ニ經畫シタ所ノ事業ヲ圓滿ニ施設スルコトハ出來ヌ状況ニナツテ居リマス、即チ協贊ヲ受ケタル豫算ノ外ニ、鐵道ノ實行豫算ヲ造ツテヤラネバナラヌヤウナ状況ニナツテ居ルノデアリマス、一例ヲ以テ申シマスレバ、大正三年度ニ於キマシテハ、議會ノ協贊ヲ得マシタル鐵道費ハ六千万圓デアッタニ拘ラズ、實際鐵道院ガ使用シタル金額ガ四千五百万圓ニナツタノデアリマス、斯ノ如ク今日ニ始マツタモノデナイノデ、多年來此鐵道ノ經營ト云フモノハ十分ナル資金ヲ得ラレナイト云フ爲ニ、線路其他ガ非常ニ痛ミヲ生ジタトシテ鐵道ノ改良ヲ圖ラヌバナラヌ、重モニ力ヲ改良ノ方ニ注グ、併ナガラ建設モ忽諸ニ付スペカラザルモノデアルカラ、本線竝ニ輕便鐵道ノ敷設ノ方ノ云フコトハ顯著ナル事實デアリマス、ソコデ此度政府ニ於キマシテ、何トカシテ鐵道ノ改良ヲ圖ラヌバナラヌ、重モニ力ヲ改良ノ方ニ注グ、併ナガラ建設モ忽諸ニ付スペカラザルモノデアルカラ、本線竝ニ輕便鐵道ノ敷設ノ方ノコトモ留念ヲ致シテ經畫ヲ致シテ居ル次第デアリマス、如何ニ其資金ヲ振リ向ケテアル次第アルノデアリマス、果シテ財政經濟ノ状況ノ下ニ、斯ルコトハ無論出來ヌノデアリマスルカラ、何トカ此調達ノ方法ヲ講ジナケレバナラヌト云フ難場ニ立ツタノデアリマス、茲ニ於テ政府ノ考ト致シマシテハ、減債基金ノ中カラ二千万圓ヲ此方ヘ投資スルト云フ決心ヲ執ツタ次第アルノデアリマス、所ガ其資金ニ付キマシテハ、二千万圓ノ資金ハ鐵道ノ益金中ヨリ充タスコトハ無論出來ヌノデアリマスルカラ、何トカ此調達ノ方法ヲ講ジナケレバナラヌコトダラウ

ト考ヘルノデアリマス、ソコデ抑、此ニツノ法案ハ先キニ委員長寺島伯カラザル關係ニ立フテ居リ
報告ノアリマシタ通リニ、相牽聯シテ密接離ルベカラザル關係ニ立フテ居リ
マス、而シテ又此兩法案ハ本年度追加豫算トモ亦密接離ルベカラザル因果關係ニ立フテ居リ
係ニ立フテ居ルノデアリマス、即チ此兩法案ガ可決イタシマスレバ、追加豫算
ガ成立スルノデアリマス、此兩法案ガ否決サレマスレバ、追加豫算ハ不成立ニ
終ルノデアリマス、斯ル編成ヲシタト云フコトハ、政府ノ故意デアッタカドウ
カ、其邊ハ私ハ分リマセヌ、我ミハ唯善意ニ解釋ヲシテ居ルノデアリマス、
免ニ角事實ニ於テハ因果關係ニナツテ居ルノデアリマス、而シテ本年ノ追加豫
算ノ内容ヲ見マスト云フト、諸君モ御承知アラセラルル通リニ、中ミ重大ナ
ル經費ガ見積ラレテアルノデアリマス、例ヘテ申シマスレバ數年來政界ニ風
雲ヲ捲キ起シツツアル所ノ増師ノ經畫モ這入フテ居ルノデアリマス、又海ノ日
本トシテ海防ノ經畫モ中ニ這入フテ居ルノデアリマス、事柄ハ小サクハアリマ
スケレドモ、航空機ニ關スル費用モ這入フテ居ルノデアリマス、而シテ殊ニ此
増師ノ事ニ付キマシテハ貴族院多年ノ希望デアリマス、陸海軍ノ國防ガ偏輕
偏重ニナラヌヤウニシタイト云フ希望ヲ有フテ居ル所ノモノデアリマス、言ハ
バ餘程重大ナル運命ニ今此貴族院ハ立フテ居ルモノト考ヘルノデアリマス、是
ハ餘程冷靜ニ考ヘマシテ、此解決ヲ與ヘナケレバナラヌコトダラウト考ヘル
ノデアリマス、故ニ我ミハ此兩法案ヲ研究、論究スルニ付テハ、此追加豫算ナ
ルモノヲ腦中ニ寸時モ離スコトハ出來ナイノデアリマス、備斯ノ如ク此兩法
案ハ極メテ重要ナル運命ヲ荷フテ居ル所ノモノデアル、又事柄自體ニ於キマシ
テモ中ミ重要ナルモノデアリマス、併ナガラ此改正ノ趣旨ハ至フテ簡單ナモ
ノデアリマス、詰リ鐵道ニ要スル所ノ資金ヲ調達セムガ爲ニ、又一面ニ於キ
マシテハ年々海外ヘ流出スル所ノ外債ノ元利ノ拂ト致シマシテ金貨ヲ海外ニ
拂ハネバナラヌ、其事ヨリシテ貨幣ノ制度ノ基礎ヲ堅實ニシヤウト、斯ウ云
フニツノ意味ニ過ギナイノデアリマス、誠ニ事柄ハ簡單デアリマス、故ニ其
根本タル改正ノ趣旨ニ從ヒマシテ、恰モ河ヲ源カラ河口ニ下ルガ如クニ、改
正ノ趣旨ニ從ヒマシテ論及ノ歩ヲ進メタイト思フノデアリマス、現時日本ニ
於ケル此官有鐵道ノ現在ノ實況ハドウデアルカ、鐵道自身ニ有スル所ノ力ヲ
以テ建設改良ガ出來ルヤ否ヤ、又改良建設ノ必要アリヤ否ヤ、必要アリトス
レバ最少限要ル所ノ費用ハドノ位デアルカ、之ヲ先づ以テ論斷シヤウト思フ
ノデアリマス、今日ノ鐵道ノ經營ノ狀況ヲ見マスレバ前申上ゲマシタ通リニ、

今年度ニ於キマシテハ千八百万圓ノ益金ヲ見ルニ過ギナインデアリマス、而シテ鐵道院ノ七年經畫ニ依リマスルト、大正四年度ニ於キマシテハ三千八百万圓ノ費用ヲ要スルノニアリマス、而シテ其中ノ一千万圓ヲ以テ建設費ニ充用ヲ投ジテ居ルノニアリマス、其改良費ハ如何ナルコトニ用ヒラレテ居ルカト申シマスト、命數ノ將ニ盡キムトスル所ノ線路改良、隧道、橋梁、停車場、倉庫、聯絡ノ船舶、是等ノモノニ付テ改良ノ費用ヲ投ジテ居ルノニアリマス、私ハ其表ヲ仔細ニ見マシタ、併ナガラ實地ニ視察スルノ機會ヲ得マセヌカラ、果シテ政府ノ所信ノ如ク危險ニ瀕シテ居ル部分ガアルヤ否ヤ、又實際ニ適應シナイヤウナ狀況ニ停車場、倉庫ノ狀況ガナツテ居ルカドウカト云フコトハ、目擊シマセヌカラ詳ニ知リマセヌ、併ナガラ想像スル所ニ依リマスレバ、現時架ツテ居ル所ノ鐵道線路ナルモノハ、明治五年以來明治四十四年ニ亘ツテ居ルモノガ多イノニアリマス、而シテ近來非常ニ進ンタル所ノ此鐵道ノ進歩ト比ベテ考ヘテ見マスト。以前ハ鐵道ノ「レール」ニ於キマシテハ、六十一「ボンド」デ事ガ濟ンダノニアリマスルガ、今日ハ機關車ノ大キクナツタ爲ニ、ドウシテモ七十五「ボンド」ノ「レール」ヲ要スルト云フコトニアリマス、又機關車ノ重量モ以前ハ四十五噸デアリマシタノガ、今日ハ百二十噸ノ目方ニナツテ居ルサウデアリマス、機關車ノ如キハ前カラ比べテ見マスト、二倍ニ重量ガ殖エテ居ルノニアリマス、此二倍ニ重量ガ殖エマシタ所ノ機關車ヲ以テ、明治五年カラシテ四十四年ニ亘ツテ架ケタ所ノ「レール」……多クノモノハ六十一「ボンド」ノ「レール」ノ上ヲ滑ツテ居ルノニアリマス、而シテ鐵道院ノ經濟ノ狀況ガ潤澤デゴザイマセヌガ故ニ、多年鐵道ヲ虐待シテ居ルニアリマス、如何デアリマセウカ、線路ノ傷ミ、隧道ノ脆弱、橋桁ニ致シマシテモ以前ノ狀況トハ變ツタニ拘ラズ、依然トシテ之ヲ存シテ置クト云フコトハ、如何ナモノデゴザイマセヌガ、機關車ノ力ガ遙ニ強クナツタカラ、客車モ貨物車モ長ク繫ガナケレバナ見マスト云フト、私ハ政府ノ經畫ガ餘リ龍大ナルモノニアルマイ、斯ウ私ハ信ズルノニアリマス、聞ク所ニ依リマスト、政府部内ノ大藏省ノ方デモ其計數ノ大ナルニ驚カレマシテ、愈々吏員ヲ諸所ニ派遣サレテ、其實地ヲ視察サ

レタサウデアリマス、視察サレタ結果、是ハ尤デアルト云フノデ、大藏省ガ其豫算ヲ是認サレタト云フコトヲ聞イテ居リマス、或御方ハ改良費ハ千万圓デ事ガ足リル、自分ノ見ル所ニ依ルト千万圓デ足リルト、或ハソレモ一ノ御見込デアリマセウガ、私ハ矢張リ政府ノ所信ノ如ク、其位ノ費用ヲ掛ナケレバナラヌコトデアラウ、多年鐵道ヲ虐待シテ居ルシ、以前ノ鐵道ノ經營ガ極メテ貧弱デアツタカラ、ソレハ無理ノナイコトデアラウ、斯ウ考ヘルノニアリマス、又反對論者ノ御方ハ、例ヘバ上野カラシテ銀治橋ニ通ズル線路ノ如キ、又ハ萬世橋カラシテ中央停車場ニ通ズル鐵道ノ如キ、是ハ不急ノモノデアル、是ハドウモ急ヲ要スルモノトハ思ヘヌト、成ルホド是モ御尤ノ御考デアルカ知レマセヌガ、私ノ見ル所ハ、中央停車場ノ出來タ以上、之ヲ中央停車場トシテノ効キヲ十分ナラシメムニハ、各線ノ振出シ停車場ニ連接スルト云フコトハ、最モ急務ナコトデハアルマイカ、又軍事上ノ理由カラ考ヘテ見マシテモ、上野ト萬世橋、萬世橋ト中央停車場、此連接ガ出來テ居リマシタナラバ、東北ノ車ヲ直チニ下リルコトナクシテ關西ノ方ニ運ブコトモ最モ容易ナノニアリマス、今日軍國多事ノ時ニ當ツテ、今日日本ノ國際狀態ハドウシタ風ニ變化シテ行クカ、歐洲ノ戰亂ニ於ケル我國ノ地位ハ如何ナルモノデアルカ、我國ハ如何ナル決心ヲ要スルカ、ソレ等ニ思ヒ至リマシタナラバ、軍事上ノ施設ニ遺漏ノナイヤウニ心掛けケテ置クト云フコトハ、最モ機宜ニ適シタ處置ト考ヘルノニアリマス、サテ鐵道ノ改良建設ト云フコトガ必要デアルモノト茲ニ斷定ヲ致シマスレバ……若シモ鐵道ノ必要ト云フコトハ左程デナシ、益金ノ範圍デ事ガ足リルト云フ御考ヲ立テラル諸君ガアレバ、ソレハ根柢ニ於テ我ニト意見ガ違フノニアリマスカラ、最早ソレマデノコトデアリマスガ、幸ニ諸君ニ於カレマシテモ、成ルホドソレハ必要ナモノデアル、サウ云フ御考デアリマスレバ、其次ニ起ツテ來ル所ノ問題ハ、然ラバ其資金ヲ如何ニシテ調達スルカト云フコトノ問題ニ逢著シナケレバナラヌノニアリマス、然ルニ日本ノ經濟財政ノ狀態ニ於キマシテハ、先キホド寺島伯爵ガ委員長トシテ御報告ニナリマシタ如ク、内債モ外債モ此際募ルト云フコトハ、一方ハ不可能デアル、又一方ハ甚ダ不利益ナコトデアル、其内債外債ノ募集ガ不可能不利益デアルト云フコトニ付テハ、本員ハ茲ニ申述ベマセヌ、既ニ委員長寺島伯爵ヨリ其點ニ付テハ詳ニ御報告ニナツテ居リマスル故ニ、其點ハ省

略イタシマス、然ラバ如何ナル途ニ依ツテ調達シタラ宜イカト云フ問題ガ茲ニ
生ズルノデゴザイマス、鐵道會計法第二條ニ據リマスト、若シ益金ノミデ不
足ナ場合ニハ公債ヲ募ルカ、又ハ他ノ特別會計其他ヨリ借入スルコトガ出來
ルト云フ規定ガアリマス、私モ成ルベクハ一般會計ト特別會計トノ間に連鎖
ハ結ビタクナイノデアリマス、何等カ別ノ方法ヲ以テ此資金ガ調達シ得ラル
ルナラバ、ソレニ越シタコトハナイノデアリマス、然ルニ如何セム他ノ特別會
計ト申シマシテモ、預金部ヨリ外ニナイノデアリマス、預金部ノ持ツテ居ル公
債ヲ二千万圓買入償還ヲ行ヒマシテ、預金部ニ二千万圓ノ公債ヲ引受ケサセ
ル、是モ一ツノ方法デアラウト思フノデアリマス、此方法ハ事新シクモゴザイ
マセズ、多年政府ガ遺繰財政ノ一ツトシテ預金部ヲ利用シテ今日マデ來テ居
タノデアリマス、是ハ甚ダ姑息彌縫的ノ處置デアリマス、姑息彌縫的ノ處置
デモ永續キガスレバマダ宜シウゴザイマスルガ、今日預金部ノ狀態ハサウ豊
富ト云フ譯ニモ參リマセヌ、地方ノ公共團體ヤ產業組合其他ニ低利資金ヲ融
通スルト云フコトヲ主トシテシナケレバナラヌ、其本分ヲ履行スルコトガ殆
ド出來ナイヤウナ狀況ニナツテ居ルノデアリマス、ノミナラズ先キホド委員長
ノ御報告ニナツタ通リ一面ニ於テ五千万圓ヲ償還イタシマシテモ、他ノ一面ニ
於キマシテ二千万圓若クハ千五百万圓ヲ是マデノヤウナ姑息ノ方法ニ依ツテ、
一方ニ於キマシテ募債ヲスルト云フコトハ誠ニ無意義ナコトデアルノデアリ
マス、ノミナラズ借入レル時ニハ無論額面以下デ借リマシテ、ソレヲ償還ヲス
ル時ニハ額面デ拂ハナケレバナラヌ、國庫ノ受クル所ノ損害ハ年ヲ重ヌルニ
從ツテ益、甚大ヲ加ヘテ行ク事柄デアリマス、斯様ナル姑息ノ方法ヲシテ行ク
ト云フコトハ、餘程考ヘナケレバナラヌコトグラウト思ヒマス、現ニ明治三十
九年ニ於キマシテハ日露ノ大戰役ヲ經マシテ、我日本國ハ驚クベキ負債ヲ脊
負ツテ居ルノデアリマス、其額ハ二十一億、端數ハ除キマス、約二十一億デア
リマス、然ルニ今日ドレダケノ負債ヲ償還スルコトヲ得テ、荷ガ輕クナツテ居
ルカト申シマスト、豈圖ラムヤ二十五億六百万圓ト云フ數字ニナツテ居ルノデ
アリマス、是ハ一方ニ還シテモ一方カラ募ルカラ何モ役ニ立タナイノデアリ
マス、政府ガスル姑息ナ彌縫ノ策ヲ此際打切ツテ、根本的ニ財政政策ノ治療ヲ
シヤウト云フ、其精神ハ私大ニ贊同シテ居ル次第デアリマス、然ラバ此減債ノ
基金二千万圓ヲ鐵道ニ振向ケルノ已ムヲ得ザルコト考ヘマシテ、如何ニシ
テ其調達ノ形式ヲ執ツタラ宜カラウカト云フ問題ガ茲ニ生ジテ來ルノデアリ

マス、一般會計トノ關係ヲ續ケナイヤウト致シマスレバ、預金部ニ持
ツテ居ル所有ノ公債ヲ買入償還ヲシマシテ、其塊金ヲ預金部ノ特別會計カラ鐵
道會計ノ方へ直接ニ特別會計同士ノ間ニ於テ貸借ヲスル、此方法ガ一般會計
ニ觸レナイデ事ガ濟ムノデアリマス、反對ノ御方ノ氣ニナサル所ノ鐵道會計
法ノ第二條ヲイチクラナイデ濟ム方法ナノデアリマス、此方法ガ善良ニ執リ
得ラレマスレバ、無論本員ハ賛成スルノデアリマス、併ナガラ茲ニ因ツタコト
ト云フモノハ、預金部ニ持ツテ居リマス所ノ所有公債ノ額ハ、本年度ノ二千万
圓クラキハ買入償還ノ目的物ニナルコトガ出來マスルケレドモ、逆モ毎年繼
續的ニハ行クモノハ、預金部ニ持ツテ居リマス所ノ現金ハ甚ダ貧弱デアリマシテ、ソレニ應ズルコトハ出來ナイノデアリマス、假ニ預
金部ノ持ツテ居リマス所ノ所有ノ公債ヲ買入償還ヲシテ、其現金ヲ鐵道會計ニ
渡シタトシテ先ヅ考ヘテ見マス、ドウ云ウ結果ガ茲ニ起ツテ來ルカ、元々此預
金部ナルモノハ、恰モ官營貯蓄ノ觀ヲ爲シテ居ルモノノデアリマスル、民間カラ
シテ、各地方カラシテ零碎ナル所ノ資金ヲ此預金部ニ吸收シテ居ルノデアリ
マス、デアリマスカラシテ、イツデモ預ケ主ガ來テ金ヲ引出シタイト云フトキ
ニハ、イツデモソレヲヤラナケレバナラナイノデアリマス、之ガ爲ニハ預金部
ハ、恰モ國庫ニ於キマシテ正貨ノ準備ガ必要デアルト同様ニ、預金部ニ於キ
マシテ擔保物タル有價證券ガナケレバナラナイノデアリマス、其有價證券ヲ
賣飛バシテ仕舞テ、サウシテ鐵道會計ノ方ヘ貸與ヘテ、其代リニ借用證文ヲ
鐵道會計ノ方カラ預金部ガ握ツテ居ル、成ルホド預金部ト鐵道會計トノ間ニハ
貸借關係ハ成立ツテ居ルノデアリマセウ、併ナガラソレヲ以テ第三者タル所ノ
預ケ人タル所ノ國民ニ對抗スルコトハ出來ナイノデアリマス、此不融通的ナ
ル借用證文ガ、漸次ニ預金部ノ中ニ堆積シテ行ツタナラバ如何デアリマセウ、
預金部ノ信用ト云フモノハ全ク地ニ墜チマス、預金部ノ信用ガ地ニ墜チルノ
ミナラズ國家ノ信用ハ地ニ墜チテ仕舞フノデアリマス、故ニ斯ノ如キ方法ハ
本員モ執リタイト思ヒマスルノデアリマスルガ、其結果ニ想到シテ考ヘテ見
云フ決心ヲ採ツタ以上ハ、預金部ヲ潛ツテ行クカ、潛ラナイカノニツデアリマ
ス、潛ツテ行ケバ右ノヤウナ不利益ナル結果ヲ生ズルト云フコトニ想ヒ到リマ
スレバ、寧ロ一般會計カラシテ眞直ニ一直線ニ鐵道會計ノ方へ繰入レタ方ガ

サウ云フヤウナ惡ルイ結果ガ出ナイノデアリマス、而シテ其直接一般會計カラ貸付ケタ利益ト致シマシテハ、ドウ云フコトガアルカト申シマスト云フト、是迄ノ彌縫姑息的ナル而カモ病膏肓ニ入ッテ居ル所ノ財政ノ政策ヲ根本的ニ治療シテ、ドウセ出來ナイモノナラバ表面バカリ繕ッタッテ何ニモナラヌノデアル、徐ロニ堅實ナル政策ノ樹立スルマデ、簡明ニ一般會計カラ貸付ケルト云方法ヲ執ッタガ宜イト思フノデアリマス、第二ニハ此兩法案ノ改正ノ結果致シマシテ、確實ニ毎年内外債何レヲ問ハズ、宜シク政府ノ見ル所ニ依ッテ宜シク按排シテ、正貨ノ準備ニ危殆ノコトガ起ツテ來ナイヤウニ、内債外債宜シク按排ラシテ、確實ニ三千万圓ノ金ヲ還シ得ルト云フ經畫ガ茲ニ根本ニ立ツノデアリマス、是迄ハ五千万圓ト標榜シテ居リマスガ、其實ハ矢張リ三千万圓以下デアリマシテ、不利益ナル公債ヲ募ルト云フコトカラ比ベテ見マスレバ、私ハ一進歩デアルデアラウト思フノデアリマス、斯ノ如キ理由ニ依リマシテ今日此際國有鐵道ノ財政學ノ見地カラ申シマスレバ、甚ダ違例デアル、原則ニハ反シテ居ル、併ナガラ此國運ニ伴ウタル鐵道政策ハ一日モ忽諸ニ附スルコトガ出來ナイモノトシタナラバ、資金ハ是非トモ何等カノ方法ヲ以テ調達ヲシナケレバナラヌ、斯ウ決心ヲシタ以上ニハ、斯ウスルヨリ外ニ仕方ガナインデアリマス、併ナガラ若シ反對論者ノ御意見ノ中ニアリマシテ、斯ウ云フ腹案ガアル、斯ウ云フ風ニスレバ宜イデハナイカト云フ明瞭ナル御説明ニ接スル機會ヲ得マシタナラバ甚ダ仕合セナコトト考ヘマスルガ、是マデニ伺ヒマシタ所ノ反對論者ノ御意見ノ中カラハ、私ハ其財源ヲ見出スコトハ出來ナイノデアリマス、或御方ハ是ハ鐵道公債ナルモノハ生産的公債デアル、不生産的公債デハナイノデアル、生産的公債デアルカラ差支ハナイ、斯ウ云フ御話モ出マシタケレドモ、成ルホド此公債ヲ募ル目的トシマシタナラバ、不生産的公債ヨリモ生産的公債ノ方が至極結構ノコトデアラウト思フノデス、併ナガラ今日ノ場合ニ於キマシテ幾ラ目的ガ宜カラウガ、公債ヲ募ル其事ガ是マデノ既存ノ公債ノ價值ヲ下落サセ、又日本公債ノ信用ヲ失墜セシメ、又民間ノ經濟ヲ壓迫スル、又依然トシテ國債ハ大キナ高ヲ負ウテ居ラナケレバナラヌ、少シモ好イ結果ハナイノデアリマス、故ニ此御説ニモ服從スルコトハ出來ナイノデアリマス、斯ク論ジ來リマスルト私一己ノ考デハアリマスルケレドモ、ドウモ此方法ニ依ルヨリ外ニ仕方ガナイトシマスレバ、已ムヲ得ズ贊成スルヨリ外ニナイノデアリマス、固ヨリ根本ニ於キマシテ公債政策ヲ執ルト

云フコトハ絶對ニ惡イト云フノデハナイノデアリマスルカラ、内外市場ノ經濟景況ガ良クナリマシテ國家ノ不利益ナル方法ニ依ラズシテ此鐵道公債ヲ募リ得ル時機ガ來タナラバ、無論公債ヲ募ル方ガ宜イダラウト思ヒマス、事ハ實際ニ應ジテ考ラ立テナケレバナラヌノデアル、曾テ委員會デ申述ベマシタ通り、實行ノ出來ナイ名論卓說ハ幾ラ伺ヒマシテモ此事實ヲ動カスコトガ出テナイト斯ウ思フノデアリマス、終リニ臨ミマシテ本員ハ以上縷々申述ベマシタル理由ニ依リマシテ此案ヲ贊成イタシマスルガ、元々是ハ會計法上ノ變例デアリマスカラ、政府當局者ト致シマシテハ、一日モ早ク國有鐵道ノ政策ヲ樹立サレテ、サウシテ自營以テ經營ヲ遂行セラルル日ノ到來スルヤウニ折角御勉強下サラムコトヲ切望シテ止マヌ所デアリマス

〔男爵高橋是清君演壇ニ登ル〕

○男爵高橋是清君 諸君私ハ此國債整理基金特別會計法ノ改正ニ對シテ反對ノ意見ヲ持ツテ居リマスルノデ、其理由ヲ陳述ヲ致シテ此政府案ニ反對ヲ致ス、此基金法ノ立テラレマシタ初ニ當リマシテ……日露戰爭中ニ本員ハ政府ノ命ヲ受ケテ外債ヲ募集ニ從事シテ居リマシタ關係カラシテ、戰時中ニ於テ、尙ホ其後ニ於テ、我政府ノ募集ニ助力シテ吳レマシタル歐米ノ資本家、是等ガ其跡始末ニ付キマシテ餘程親切ニ考ヘマシタ、私ヲ經テ時ノ政府ニ助言的建議ヲ致シマシタ、ソレガ基ニナツテ居ルノデアリマス、其大意ハ日露戰爭ノ結果ハ日本政府ガ一錢ノ償金ヲモ取ルコトガ出來ナカツタ、而シテ戰爭中ニ日本ノ公債ノ歐米ニ於テ募集セラレタトキニ應募ノ狀況等ハ如何デアフカ、即チ倫敦ノ先日歿シマシタ「ロスチャイルド」卿ナド四十餘年ノ間、倫敦ノ經濟界ニ勵イテ居ルガ、日本ノ戰時中ノ公債程ニ頻々ト多額ニ出テ、而カモ其度二十倍乃至三十倍ノ應募者ヲ以テ成功シタト云フコトハ未ダ四十餘年間、倫敦ノ經濟界ニ自分ガ立ツテ居ツテ例ノナイコトデアル、併ナガラ之ヲ見テ日本政府及日本ノ國民ガ俄ニ日本ノ財力ノ信用ガ斯ノ如クニ歐米間ニ生ジタ、又高マツタト思ウタナラバ大ナル誤解デアル、是ハホンノ日本ノ財力ノ信用ガ芽ヲ生ジタニ過ギナイノデアル、故ニ此芽生エニ培ウテ、之ヲ大切ニシナケレバ將來日本ノ却ツテ禍ニナルノデアル、而シテ此信用ノ芽生エヲ培フ場合ニ於テハ如何ナル手段ヲ執ルノカト申シマスルト、聞ク所ニ依レバ此戰爭中ニ

稅ヲ負擔シテ忍ンデ居ッタ、是ハ戰爭中デアルカラ出來タノデアラウ、兎角戰爭ナトガ熄ミマスト云フト、ソレ迄ニ國民ガ重稅ニ甘ンズルト云フコトハ出來ナイモノデアル、併シ此重イ負擔ヲ以テ尙ホ國民ガ銘々其事業ニ從事シ、日本ノ產業工業ノ發達ヲスルコトガ出來レバ誠ニ仕合デアル、若シ其負擔ガ重イ爲ニ此峙ヲ越スコトガ出來ナイ、即チ今後ノ日本ノ產業工業、之ヲ發達シテ益、外國ノ貿易ヲ增進スルコトノ運ビガ取レナイト云フホドノ重稅デアルナラバ、何事ヲモ差措イテ先ヅ國民ノ負擔ヲ輕クシテ、サウシテ產業ノ發達ニ十分ニ働ケルヤウニシテオヤリナサラナケレバナラヌ、即チ日本ノ經濟上ノ發達ガ十分ニ遂ゲラレテ益、外國貿易ガ盛シニナルト云フ徵候ガ現レテ來マセヌト云フト、此戰時中ニ多額ノ日本ノ公債ニ應募シテ、之ヲ持ツテ居ル所ノ放資者ハ不安心ノ念ヲ起スノデアリマス

〔副議長侯爵黒田長成君議長席ニ著ク〕

是ニ安心ヲ與ヘルノガ即チ日本ノ此生ジタ芽生エノ信用ヲ培ウテ之ヲ益、育テル所以デアリマス、幸ニシテ此非常特別稅ナル重イ稅ヲ負擔シテ、尙ホ其上ニ山坂ヲ越エルコトガ出來ルト云フ力ガ國民ニアルノナラバ、此戰時中ニ費シテ居ル所ノ軍費ニ充テ居ル公債、之ヲ如何ニシテ確實ニ償還ヲスルカト云フコトノ途ヲ立テ行フテ、此公債所有者ニ安心ヲ與ヘテ、サウシテ日本ノ今日芽生エノ信用ヲ益育テルヤウニナサイマシ、是ガ資本家ノ助言的建言デアリマス、時ノ元老、總理大臣、大藏大臣集會セラレテ私ヲ二度マデ其席へ御呼ビニナツテ其傳言ヲ聽カレ、又意見ヲモ徵セラレタ、ソレガ基ニナツテデス、此整理基金特別會計法ト云フモノガ出來タノデ、松方侯モ最モ熱心ニソレヲ主張セラレ、井上侯、尙ホ一層熱心ヲ以テ、是ハ豫算ナドデ極メテ置イタノデハイケナイ、將來此目的ヲ遂ゲルマデ變ヘルコトノ出來ヌヤウニ、必ズ法律ヲ以テシナケレバナラヌト云フヤウナコトマデ主張サレタ、阪谷男爵ガ法律デハドウデアリマセウト云フ意見ヲ述ベタ時ニハ、井上侯ハ色ヲ變ヘテ怒ラレタ、左様ナコトデ此法律ガ出來マスト同時ニ、海外ニハソレバ此事ヲ傳ヘマシテ、而シテ尙ホ彼ノ戰爭ノ初メニ稅關ノ收入ヲ抵當トシテ二回ニ募集シマシタ所ノ六分利附公債二億二千万圓ヲ償還スル爲ニ、更ニ公債ヲ募レト云フ政府ノ命令ガアツテ、アチラヘ參リマシテ、此減債ノ手段ヲ話シマシタトキニ、今日ト違テマダ日本ノ狀態ニ暗イ彼等デアリマシテ、今日ノ政府ハソレデ

宜イカ知ラヌガ、政府ガ更ッタラ何時此減債基金ト云フモノヲ減ラスカ、無クナスカ分ラヌデヤナカト云フカト云フ質問マデ受ケタ、日本ト云フモノハ憲法モアリ、貴衆兩院ガアリ、時ノ政府ガ勝手ニ法律ヲ動カスコトハ出來ナム、此兩院ノ協贊ヲ經ナケレバ動カスコトハ出來ナイ憲法ノアルコトカラ説明ヲ興ヘテ、ソレナラ誠ニ安心デアルト云フコトデアッタ、其安心ト云フモノハ公債ヲ募テソレヲ償還シタノデアリマス、尙ホ其後モ或ハ内國ノ國庫債券ヲ償還スルガ爲ニ外債ヲ起シタ、皆此整理基金法ト云フモノアル爲ニ安心ヲ依ツテ、彼ノ稅關收入抵當ノ比較的短期ノ六分利附ノ公債ヲ無擔保五分利附シテ、日本ノ財政ノ執リ方ハ正直ニシテ堅固デアル、確實デアル、必ズ言フタコトハ違ハヌ、返スモノハ返ス、拂フモノハ拂フ、而シテ此減債基金法ノ勵キハ今日デモ無形ノ間ニ大ナル效ヲ奏シテ居ルノデアリマス、今日最近ノ我國ノ英貨公債ハ倫敦ニ於テ如何ナル値ヲ維持シテ居リマス、四朱利ノ公債、四分五厘ノ公債、五分利附ノ公債ト三種アリマス、而シテ從來政府ガ此五千萬圓ノ内カラ一千萬圓ヅツハ此四分利半ノ最モ多額ニアル、初メ募集シタトキハ六億デゴザイマス、三億ヅツ數箇月ノ間ニ二回募集シタ、此四分半利附ノ公債ニ對シテ、千万圓ヅツハ必ズ償還ヲスル、詰リ此五千万圓ノ基金ノ出来マシタ當時、内外切半シテ償還ノ途ニ充テ貰ヒタイト云フノガ資本家ノ希望デアリマシタ、併シソレハイカヌ、即チ日本ノ製造工業ヲ發達スルノニ資本ガ要ルノデアル、成ルベク多クノ金ノ償還ヲ内地ニ於テ行フテ、サウシテ此ノ内國債ヲ先ヅ以テ早ク償還シテ、其後デ此外債ハ還スコトニナルノデアル、ソレモ彼等ハ尤モナリトシテ通知ヲシテ、一千万圓ヅツハ還スコトニナツテ居ル、而シテ今日其事ガ其公債ノ值ニハ大ナル關係ヲ持ツテ居ルノデアル、四分利附ノ公債ト云フモノハ年々償還スル部類ニ這入ツテ居ラナイ、四分半利附ノモノヲ還スト斯フ云ツテ居ル、四分利附ハ餘程償還期限ノ來ルマデハ日本政府ハ臨時ニ返サナイカモ知レナイ、今日ノ四分利附ノ公債ハ倫敦ニ於テ先ヅ七十圓、四分半利附ハ如何デゴザイマス、八十九圓、五分ノ公債ノ差ト云ノモノヲ還ストスフ云ツテ居ル、四分利附ハ餘程償還期限ノ來ルマデハ日本政府ハ僅ニ三圓、五分利附ノ公債ト四分半利附ノ公債ハ如何、九十アル、一方ハ十九圓ノ差ヲ持ツテ居ル、ソレデ三種ノ公債ノ中デ一番算盤ニフモノハ僅ニ三圓、五分利附ノ公債ト四分半利附ノ公債ハ唯ノ五厘ノ差ト云アル、一方ハ十九圓ノ差ヲ持ツテ居ル、ソレデ三種ノ公債ノ中デ一番算盤ニ當ツテ利廻リノ惡イモノハ……所有者ニ取ツテ一番利廻リノ惡イモノハ四分半

ニアリマス、此四分半ガ獨リ左様ナ價值ヲ今日維持シテ居ルノハ何デアルカト云ヘバ、一千万圓ヅツ是ハ毎年兎ニ角買入償還ヲシテ、先ヅ此公債ノ種類ハ年々減ラシテ行クテ吳レルト云フコトガアル、其爲ニ獨リ此四分半利附ト云フモノガ比較的頭ヲ上ゲテ居ルト云フコトデアル、固ヨリ海外ニ於ケル有價證券ハ獨リ日本ノ公債ノミデナイ、是ハ戰爭其他ノ事情ニ依クテ、其時ミノ經濟界ノ事情ニ依クテ上ッタリ下ッタリスルコトバ、ソレハ常ノコトデアリマスケレドモ、今日デハ先ヅ英吉利ノ「コンソル」公債ナゾト比べテ見マシテ、日本公債ノ其割合以上ニ今日ノ戰時中ニ於テモ下落シタコトハナイノデアル、斯様ナ關係ヲ持ツテ居ル所ノ整理基金デアリマス、私ガ是ニ限テ何故大ナル力ヲ入レテ、此二千万圓ヲ減ラスコトニ反対スルカト云フニ、是ハ固ヨリ來ルベキ歐羅巴ノ戰亂ノ終熄ノ際ニ當クテ、平和講和會議ノ生ズル場合ニ於テ、我國ノ外交ニ大關係ヲ持ツガ故ニ私ハ心配スルノデアル、御承知ノ通リ日露戰爭ノ間ニ於テハ外交上ト申シマスカ、國際關係ノ方ニ於キマシテハ、歐羅巴ニハ末松君ヲ出サレ、亞米利加ニハ金子君ヲ出サレテ、偏ニ我國ノ戰ノ正シイコト、サウシテ此中立國ノ政府及國民ノ同情及好意ヲ我國ニ持タセルコトニ大ニ努メタ一方ニ於テハ財務委員ヲシテ日本ノ財政ノ堅固ナルコト、經濟ノ發達ノ著シキコト等ヲ紹介シテ、財力ノ信用ヲ繋グコト、之ヲ高メルコトニ努メタノデアル、此來ルベキ講和談判ニ臨ム、我此大外交ニ對シテハ、日露戰爭中ヨリ非常ニ政府ハ是等ノ爲ニ餘程用意ヲシナケレバナラヌノデアリマス、即チ此中立國タル所ノ政府、同盟國ハ勿論其他ノ國民ノ間ニハ、其財界ニ於テ牛耳ヲ執ルモノ若クハ其間ニ於テ有力ナル効ヲ有ツテ居ル人達ノ安心ヲ買ヒテ、我國ノ財力ノ信用ヲ謳歌スルコトニ努メルト云フコトハ來ルベキ外交ノ上ニ於テ大ナル力ニナルニ違ヒナイ、即チ獨逸ノ態度……孰レ日獨英ノ關係デアリマス、此態度ハ、日本ニ對スル態度ガ強イトカ弱イトカ云フ程度ハ、恐ラクハ此北亞米利加始メ他ノ列國ノ政府及社會ノ中流以上ニ在ツテ活動シテ居ル人達ノ我國ニ對スル信用、同情、好意如何ト云フコトノ厚薄ニ依クテ其程度モ定マルコトト考ヘマスル、ソレ故ニ此基金法ナルモノノ改正ハ、外國ノ財界ノ有力ナル人ミノ我國ニ對シテ持ツ所ノ信用ノ上ニ大關係ガアリ、又今後我國ノ外債償還等ニ對シ、益、經濟共通ノ途ヲ計ル上ニ於テハ最モ關係ヲ有ツモノデアリマスカラ、私ハ茲ニ此反対ヲ致スノデアリマス、政府ガ此改正ニ付テ必要トシテ述ベラル理由ハ、或ハ速記録ニ或ハ委員會ニ於テ、出來ルダ

ケ之ヲ見或ハ承クタノデアリマス、併ナガラ未ダ此大切ナル關係ノアル所ノ法律ヲ變ヘテマデ、鐵道ノ資金ヲ供給シナケレバナラヌト云フダケノ説明トハ私ニハ聞カレナイ、受取レナイ、唯今前田子爵ハ鐵道ノ今日ノ狀態ニハ少シモ安ンズルコトハ出來ヌ、軍事上ノコト、或ハ產業ノ發達等ニハドウシテモ三千八百万圓ノ金ヲ使ハナケレバナラヌト云フコトヲ縷々必要ヲ御述ベニナッタ

〔議長公爵德川家達君議長席ニ復ス〕

私ナドハモウ一層強イ、尠クトモ建設改良ニハ年々五千万圓ヲ投ジナケレバ、此我國ノ鐵道ハ十分ニ國有ニシタ甲斐ハナイト云フ位ニ思クテ居ル、又預金部ノ御講釋モアリマシタガ、私ハ此席ニ於テ預金部ノ内容ヲ公ケニスルコトハ憚リマス、國民貯金ノ模範タル預金部デアル、今ノ御議論ハ御尤デアル、併ナガラ今日ノ預金部ノ有様ハドウナツテ居ルカ、御話ノ如クニ唯預金者ガ引出シニ來テ金ヲ出シテ吳レト言ツテモ、直チニ金ニ換ハルモノガナイト云ハレルガ、サウ云フコトハナイノデアリマス、政府ノ證文ガ役ニ立タヌト仰シヤル、日本銀行ノ正貨準備ニハ確カニ二千二百萬圓政府ノ證文ガ這入ツテ居リマセウ、正貨準備デハナイ保證準備デス、鐵道院ノ借用證文デアレバ矢張リ政府ノ證文デアル、中央銀行ノ兌換券發行準備ニナル日本政府ノ證文ガ、政府ノ預金部ノ貸金ニナルト云フ譯デアル、少シソレ等ハ御研究ガ足リナイヤウデアル、ソコデ是ヨリ政府者ノ或ハ贊成者ノ述ベラレル理由ニ付テ、其大體ノ理由ニ付テ私ハ意見ヲ述べヤウト思フ、一概ニ申スト畢竟政府モ減債基金法ヲ變ヘタクナイ、併ナガラ如何セム鐵道ノ方ハ棄テテ置カレス、如何ニシテモ此資金ヲ他ニ得ル途ガナイカラ遺憾ナガラ已ムヲ得ズ是ニ手ヲ付ケルノデアル、或ハ今日迄モ終始一貫シテ何處迄モ如何ナル場合ト雖モ、マサニスルト同時ニ内外ニ向クテ募集ヲセヌト云フコトガ旗標ニナツテ居ル、政見デアル、或ハ今日迄モ終始一貫シテ何處迄モ如何ナル場合ト雖モ、マサカ一年カ二年デナカラウト思フ、我國ノ經濟上財政上ノ爲ニ、決シシテ借財ニルト云フ趣意ガ一貫セラレテ居ルカト思フトサウデハナイ、狀況ガ宜ケレバ募集ガ出來レバ募集ヲスルノダ、今日ノ場合ハ内外ノ市場ノ有様ニ於テ募債ガ出來ナイカラ仕方ガナイ、他ニ調達ノ途ガナイカラ此公債償還ノ五千

人達ト御相談ノ上デ、斯ウ云フコトガ愈、出來ヌト云フコトヲ確メラレテ、サウシテ判斷ヲセラレタノデアルカ、或ハ机ノ上デ自分極メデ出來ナイモノトセラレテ、斯ウ云フ判斷ヲセラレタノデアルカ、私ハ其處ヲ疑フ、抑、鐵道ナルモノハ之ヲ特別會計ニ致シタト云フコトハ、諸君ノ御承知ノ通リ一般會計ニ累ヲ及ボスカラト言ツテ、之ヲ特別會計ニシ又自營デヤツテ行カナケレバナラヌト云フノデアッテ、公債ヲ募集シタリ或ハ借入ヲシタリスル途ヲ開イテ、且ツ其利益ハ其方ニ用ヒサシテ自營ヲシテ即チ普通ノ營業、營利事業デアル、國ガ有ツテ居リマシテモ營利事業デアル、之ヲ全ク離シテ一般會計ノ煩ヒヲ去ルト云フコトデ、ソレガ一般會計ニモ煩ヒニナラズ、又鐵道ノ自營ハ此國有ニシタル目的ヲ達スルニ却ツテ宜イト云フコトデ定メラレタ、此鐵道資金ガ今日得ラレマスマイカ、如何デアルカ、如何ナル金融狀態ニナツテ居リマスカ、八厘ノ日歩デ發行シタ、一日ニシテ其所此所デ皆ナ奪ヒ合フヤウニシテ取ツ行創立以來今日程兌換ノ基礎ノ堅固ナル時ハナカツタラウト思フ、一億圓餘ノ正貨ヲ海外ニ有シテ之ヲ準備ニ入レズニ居リマス、一億圓以上ノ正貨ヲ海外ニ有ツテ之ヲ準備ニ入レズニ、或ハ定期預金ニシ、而カモ英國ノ大藏省證券一錢五千万圓ヲ有ツテ居ルデハゴザイマセヌカ、斯ノ如ク外國ノ銀行ニ定期預金ヲ出シタリ、當座預金ヲナスハマダシモ、通知預金デナク英國ノ大藏省證券デ、短期ノ證券ナリ、短期ノ債券ナリ、一年トカ、或ハ六箇月トカ、或ハ二箇年、五千万圓所有スル所ノ力ヲ有ツテ居ル中央銀行デアル、内地ノ銀行ハ五千万圓無利息デ日本銀行ニ預ケテ居ル今日ノ狀態デアリマス、何ンデ此金融界カラ、狀態ニ於テ募債不可能ナリト大藏大臣ガート言言ヘバ、我シハ其通ソデアルト信ジナケレバナラヌカ、事實調べナイデ宜シイカ、今日ハ戰爭ニナリマシタカラ、其事ハ直グニ實行ハ出來マセヌガ、本員在職中ニ隨分鐵道ノコトニハ苦心ヲシタノデアリマス、即チ毎年五千万圓……大凡ソ利益ヲ二千万圓ト見テ三千万圓位ハ借入金ヲシナケレバナラヌ、内地デ之ヲ借りルトスレバ、

スラ我國ノ蓄財力ハ不足デアル、民間デモ追々外資ヲ借りテ來ルト云フ形勢ニナツテ居ル、ソレヲ政府ト云フ強イ信用アルモノガ、此内地ノ貯蓄ノ弱イ所ニ持ツテ來テ鐵道ノ爲ニ使用シテハ、益、ソレガ爲ニ經濟界ヲ壓迫スル、ドウシテモ外國カラ持ツテ來ナケレバナラヌト云フ私ハ考ヲ以テ、佛蘭西ノ資本家ト内相談ヲシテ見マシタ、所ガ斯ウ云フコトガアル、日本政府ノ公債ト云フコトノ一色ガ佛蘭西アタリノ國民ノ頭ニ映ジテ居ル、名ガ變ハラヌ……名ガ變ハル方ガ宜イ、日本政府ノ公債ト云フモノハ、其公債ガ鐵道ノ爲ニ發行サレテ居ツテモ、果シテ其通り鐵道ノ方ニダケ金ガ往クヤラ、或ハ軍艦ヲ造ル方ニ往クヤラ、ソレハドウモ分ラヌ、ソレ故ニ鐵道國有ニナツテ居ルノデアルカラ、政府ハ一人ノ會社ノヤウナ組織ニシテ日本帝國鐵道委員トシテ、其委員ニ權能ヲ與ヘテ鐵道營業上ノ債券ヲ出ス方ガ……却ツテ日本政府ノ公債ト云フヨリハ、日本帝國政府鐵道委員ノ發行スル債券ト云フタ方ガ、佛蘭西アタリノ國民ハ喜ンデ持ツ、是ヨリ外ニマア仕方ガナイ、鐵道ト云フ即チ利益ヲ生ズル所ノモノニ使ハレル金デアルカラ確實ト云フ所ノ信用ヲ受ケル、此方ガ信用ヲ得ルト云フノデ此方面ノ内談ガ進ンダ、ソレデ即チ外ニ於テハ日本銀行ガ、斯ノ如ク正貨準備以外ニ一億餘ノ正貨ヲ有ツテ居リ、内ニハ各銀行ガ五千万圓預金ヲ有ツテ居ルヤウナ場合ニ於テ、一年間若クハ二年間證券ヲ發行スルコトガ出來ナイト云フコトハ認メナイ、シテ見レバ減債基金ヲ持ツテ來ズトモ、資金ヲ調達スル途ハ私ハアルト思フ、又大藏大臣其他ノ御方ミノ意見ノ中ニハ從來ノ遣リ方ハイカヌヂヤナイカ、一方ニ公債ヲ還スト唱ヘテ一方ラヌトカ云フ、是モ不思議ノ議論デアル、公債ヲ還ストキニ額面デ還スト云ニハ募ル、公債ハ寧ロ減ルヨリ殖エルヤウナ傾キヂヤナイカ、朝三暮四デアル、又還ストキニハ額面デ還ストカ或ハ借ルトキハ手數料ヲ拂ハヌケレバナラヌトカ云フ、是モ不思議ノ議論デアル、公債ヲ還ストキニ額面デ還スト云フコトハドコノ國デモ決マツテ居ル、借リルトキハ額面以下、還ストキハ手數料ヲ拂フノハ當リ前デアル、是ガイヤナラ借財ヲシナイト云フヨリ仕方ガアルマイ、又右ニ還シテ左ニ募ルト云フノハ同シ事ヲシテ居ルト云フケレドモ、此内容實質ヲ能ク調べテ見ナケレバナラヌ、此減債基金法ニ依ツテ年々償還シテ行ク所ノ即チ軍事資金公債デアル、是ハ何トシテモ國民ガ此元利ヲ拂ハル、ケレドモ鐵道ノ爲ニ起ス所ノ公債ハ一錢一厘タリトモ國稅ニハ依ラナイ、即チ鐵道ト云フ營利事業デアル、ソレヨリ生ズル所ノ利益ヲ以テ……收入ヲ

以テ借りタ金……借財、借財ノ利息ヲ拂ツタ其上ニ尙ホ今日ノ所ハ一千八百圓ノ純益ガアル、他日ハ此鐵道ノ營業ノ上カラ生ズル所ノ收益ニ依ツテ、立派ニ返ス所ノ計算ナドガ立ツテ居ルノデアル、右ニ還シテ左ニ募ルカラ變ハリ、ハナイト云フケレドモ、其點ニ於テハ大ニ變ハリガアル、軍事資金公債ハ、初メハ確カ十七億圓アリマシタラウ、今日十三億圓位ニ減ツテ居ル、是ハ年々還シテ往クガ、國民ノ負擔デ還シテ居ル、一方ニハ八億圓モ鐵道公債ハ殖工テ往クガ、此方ノ公債ハ幾ラ殖エルト云ツテモ、國民ノ租稅デ拂ハナケレバナラヌト云フ性質ノモノデヤナイ、又不利益ダト云フ、大藏大臣ノ説明ニ依ルト、還ス所ノ舊イモノハ必ズ利益ガアツテ、後ニ募ル所ノモノハ必ズ不利益デアルト斷定シテ居ルガ、何ニ依ツテソソナコトヲ言ハレルカ、嘗テ若槻大藏大臣ハ確カ大藏次官ノトキデアリマシタラウ、彼ノ四分利付公債ヲ發行シタルキニ國定利率ハ四分ニ定ツタト言ハレタコトガアル、私ハ其時國定利率トハ何デアル、法律上ノ利率ト云フモノハアルガ、國定利率ト云フコトガ何レノ國ニアルカ、獨逸ノ如キハ三分ノ公債ト云フコトニ決マツテ居ツテ、段々市場ノ狀況ニ依ツテ三分五厘トナリ、四分トナリ今日ハ三分ダ、英吉利「コンソル」モ矢張リ其通リデアル、金利ノ廉イトキニハ廉ク募レルシ、高イトキニハ高ク出サナケレバ募レナイノハ當リ前ノコトダ、必ズ舊イモノガ廉クテ新シイモノガ高イトハ言ヘナイ、現ニ山本内閣ノ出來タトキニハ如何デアル、七千五百万圓大藏省證券ガ市中ニ出テ居ツテ、是ガ忽チ年度ノ終リニ於テ償還ガ來ツテ居ル、之ヲ如何ニシャウ、即チ佛蘭西ニ於テ七千五百万圓五分利公債……國債ヲ發行シタ、英吉利ニ於テハ一箇年カ二箇年ノ短期ノ證券ヲ發行シテ、サウシテ之ヲ調達シタ、サウシテ此鐵道ノ借財ヤ何カニ拂ツタ、此英吉利ノ方ハ其當時俄ニヤツタコトデアリマスケレドモ、五分五厘バカリニ付テ居リマシタ、割引料ガ五分デアリマスケレドモ、手數料ナドガアリマスカラ五分五厘、其翌年千五百万圓ノ期限ガ來タトキニハ、千五百万圓還ス……千五百万圓還スト云フトキニ、政府ハ千五百万圓ノ金ヲ返スバカリデナイ更ニ一分五厘バカリノ大藏證券、千五百万圓ヲ償還スル爲ニ四分七厘五毛ノ證券ヲ一千五百圓ヲ殖ヤシテ二千五百万圓ヲ借入ル、一千五百万圓返ス、ソレモ矢張リ鐵道ノ借財ヲ預金部ニ返スノデアル、其時ハ四分七厘五毛デ出來テ居ル、五百万圓還スト云フトキニ、政府ハ千五百万圓ノ金ヲ返スバカリデナイ更ニ一分五厘バカリノ大藏證券、千五百万圓ヲ借入ル、一千五百万圓返ス、ソレモ矢張リ一千五百圓ヲ殖ヤシテ二千五百万圓ヲ借入ル、一千五百万圓返ス、ソレモ矢張リケル倫敦市場ニ於ケル金融ノ情態ニ依ルノデアル、シテ見レバ必ズ借リルト

キハ安イモノヲ借リテ、返ストキハ高イカラ不利益ト云フコトハ、是ハ一時ノ或場合ノコトヲ捉マヘテ言ヘバソソナコトモアルカモ知レナイ、又有利ナル條件トカ、或ハ我經濟界ニ不利益ヲ來タザル場合ニ於テ募集ヲスルト云フコトハ、確カニ委員會ニ於テ大藏大臣ハ述べラレタ、即チ此鐵道資金ヲ一般會計カラ借リルガ、鐵道ノ資金ガ他ニ調達ノ途ガ出來レバ是ハ返ス、サウシテ減債基金ニ繰入レルト云フコトヲ明言サレタヤウニ私ハ承ツテ居ツタ、茲ガ分ラヌ、是ガ矢張リ非募債ト云フコトニナル、有利ナル條件ト云フノハ何ダ、何ノ標準デ有利ナル條件デアルカ、外國市場ノ金融情態ニ依ツテ、我國ノ財力ノ信用ノ程度ニ鑑ミテ、相當ノモノデ出來レハ宜イヂヤナイカ、有利ナル條件ト云フモノハ、前ニ五分ノ公債ダカラ、今度ハ四分デ出來ルト言ハレルノカ、ドウ云フコトガ有利ダカソヨガ分ラナイ、曖昧ダ、ダカラ何時マデモアレハ有利デナイカラ募ラヌト云ヘバ、非募債ガ出來ル、又我國ノ經濟界ニ不利ナラザル場合ト斯ウ言ハレル、是ハドウ云フ意味カ、是ハ大藏大臣ガ今ノ内閣ノ成立ノ始メニ於テ發表セラレタ宣告ノ中ニアル緊縮方針、從來政府ハ動トモスルト云フ不利益ナ情況ヲ來タスト云フコトヲ云ハレタ、外國ノ資本ヲ持ツテ來レバ必ズサウ云フ情況ニナル、斯ウ云フ意味デハナイカ、不利益ニナルト云フノハ經濟界ニ不利益ノナイ場合ニ於テハ……サウスルト是ハ矢張リ非募債デ出來テ居ル、ソレデ初メニ發表セラレタ宣言ヲ近頃變ヘラレタヤウデモアルケレドモ、能ク大藏大臣ノ用語ヲ研究シテ見ルト、變ツタヤウナ變ラヌヤウナ所ガアル、是モデス、諸君ハ今ノ大藏大臣ガ宣言セラレタヤウニ御聞キニナツカラ、成ルホドサウカ知ラヌ、成ルホド政府ガ一概ニ海外カラ澤山ナ金ヲ持ツテ來テ金融界ヲダブ付カセル、然ラバ事業ハ濫興シ、物價ハ騰貴シ從ツテ輸入モ殖エル、是ハ如何ニモ由々シキ大事ト云フ御考ヲナサラヌカ、是ハ私ハ事實ヲ大藏大臣ニ伺ヒタイ、イツノ何時政府ガ多額ノ金ヲ入レテ金融界ニ持ツテ來テ、ソレヲ出シテダブ付カシタコトガアリマスカ、御承知ノ通り日露戰爭ノ後ニ於テ、平和克復ノ後ニ於テ、國民ガ是ヨリ各其業ヲ擴張シ、生業ヲ營マムトスルトキニ當ツテ資本ガ缺乏シタ、在ル者ハ國庫債券ナドニ應ジテ政府ニ出シタ、大體ニ於テ何トシテモ此一時ニ必要ナ銘々ノ資本ヲ融界ニ持ツテ來テ、ソレヲ出シテダブ付カシタコトガアリマスカ、御承知ノ通り日露戰爭ノ後ニ於テ、平和克復ノ後ニ於テ、國民ガ是ヨリ各其業ヲ擴張シ、生業ヲ營マムトスルトキニ當ツテ資本ガ缺乏シタ、在ル者ハ國庫債券ナドニ應ジテ政府ニ出シタ、大體ニ於テ何トシテモ此一時ニ必要ナ銘々ノ資本ヲ

バ我ミノ活動ガ出來マセヌ、是ハ尤ナリトシテ、外債ヲ起シテ國庫債券ヲ返シタ、三十九年カラ四十四年マデ國庫債券ノ類ヲ七億万圓以上返シテ居リマス、是ハ返ス必要ガアツテ返シタノデ、徒ラニ外國ノ金ヲ持ッテ來テタブ付カセタノデハアルマイ、蓋シ大藏大臣ハ此時ノコトヲ言ハレルノデアラウ、然ラバ此七億ナンボト云フモノヲ國民ノ資本トシテ戾シテヤツテ、是ガ如何ニ効イタカト云フコトハ事實ニ於テ之ヲ見ナケレバ分ラナイノデアル、害ガアツタ利益ガアツタカト云フコトハ……日露戰爭ノトキノ貿易ハ如何デアリマセウ、六七億ノ貿易モ、十年ノ後ニハ十四億倍ニ上ツタデアリマセウ、成ルホド輸入モ盛ニ殖エタ、從テ輸出モ殖エタ免ニ角貿易ガ十年ノ間ニ倍ニナツタ、我國ノ海運、運送ノ力モ其通り發達シテ居ル、六億ノ貿易ノトキニ三割餘ノモノヲ我國ニ内地ノ船ガ搬シ、十二億足ラズノ貿易ニナツタ今日、其四割六分ハ、我内地ノ船ガ搬ブヤウニナツタ、唯製造工業ノミナラズ、外國貿易ノミナラズ、運輸、海運……運輸ノ力ニ於テモ其通りノ發達ヲシタノデ、私ハ細カニ調ベタモノモアリマスガ、當然ナコトデ、外國貿易ニ堪ヘルヤウナ、世界的通用ヲスルヤウナ貿易品ヲ造ルト云フ爲ニハ、從來ノ如キ手ノ先デ家庭デ作ツテ居ルモノデハイケナインデアル、必ズ緻密ナル機械ノ効キニ依ツテ物ヲ廉ク一齊ニ造ル必要ガアル、多量ニ造ル必要ガアル、揃ヘル、又ソレヲ行フニ於テハ工場組織ニ依ツテ、男女ノ職工ト云フモノヲ使フト云フ工業ノ組織ニ改ツテ來ルト云フ時機ニナツテ居ル、ソレ故ニ輸入ノ大ナルモノハ何デアリマセウ、即チソレ等ニ於ケル所ノ工業用品ガ必要デアル、第一機械類、第二ニ増シテ居ルノハ機械類デ、此機械ヲ以テコナス所ノ原料、棉ノ如キモノサウ云フモノ、或ハ農家ニ用ユル所ノ肥料ノ如キモノハ、何レモ生產工業ノ發達ニ無クテナラナイモノガ這入ツテ依然トシテ矢張リ五千万圓餘ニシカ上ツテ居ラヌ、其間ノ貿品ニ入レルノハ餘リ酷デハナイカト言ハレル位ニマデ、範圍ヲ廣クシテ贅澤品、奢侈品ヲ調ベテ見マスト云フト、三十五年ニハ五千万圓餘ノ輸入ガアル、四十五年ニ至ツテ依然トシテ矢張リ五千万圓餘ニシカ上ツテ居ラヌ、其間ノ貿易ハドウデアルカ、七億ノ貿易ガ十四億ニナリ、六億ノ貿易ガ十二億ニナツテ、尙且奢侈品ニ屬スルモノノ輸入ガ左程殖エナイ所ヲ以テ見レバ、輸入超過ヲ來タシタガ、ソレハ我國ノ生產工業ノ發達ニ無クテハナラヌ所ノモノガ這

入ツテ來タノデアル、ソレカラ見テモ貿易ノ増進、富ノ進ミ、輸送力ノ增加、ソレ等ノモノニ於テハ、我財力ノ増加ト云フモノハ著シク示シテ居ルデハアリマセヌカ、謂ハユル國庫債券等ヲ還シマシタ所ノ資本ガ、斯ノ如キ効キヲ爲シテ來テ居ルノデアリマス、其内地ノ借財ヲ還ス外ニ、政府ガ外債ヲ起シテ一市トカ東京市トカ、サウ云フ所ニテ外國ニ於テ起債スル所ノモノモ、是ハ必ズ一時ニ外國カラ金トシテ這入ツテ來テ居リハシマセヌ、從來政府及中央銀行トヲ言ハレルカ、私ハ大藏大臣ニ伺ヒタイ、又政府ノ借財デナク、或ハ京都居ル、是ガ即チ内地ノ金融界ヲ常ニ調節シテ居ルノデアル、唯今申シタ通りハ、深ク金融ノ状態ヲ調理スルコトニ於テハ留意シテ、日本銀行ノ如キハ兌換發行税ヲ損失シテマデ、海外ニアル金ハ其所ニ置イテ之ヲ内地ニ移サナイデ、ソレニモ拘ラズ海外ニ一億ノ正貨ヲ維持シテ持ツテ居ルノハ、是ハ畢竟何デゴザル、若シ之ヲ金デ持ツテ來タナラ、今日ノ兌換發行額ノ總額以上ニ正貨ガ殖エテ居ルノデアリマス、一厘ノ發行税ヲモ出ス必要ハナイノデアリマス、ソレニモ拘ラズ海外ニ一億ノ正貨ヲ維持シテ持ツテ居ルノハ、是ハ我國ノ金融界ヲ調節スル必要ガアルカラシテ居ルノドト云フ方針デアル、然ラバ外債ヲ起シテ時ニ我金融界ニ激變ヲ生ズルナドト云フコトハ、是ハ大藏大臣ガ如何ニモ事實ニ迂イ、迂イノデナイ、敏イ人ダカラ御承知ダ、御承知ニナツテ尙且ツス様ナコトヲ言フノハ己ノ論旨ヲ助ケル爲デアル、ソレ故ニ大藏大臣ガ初メニ民間カラモ問ハレテ、非募債ト云フコトヲ仰ツシャルガ、政府獨リ外債ヲ起サヌト云フコトデアリマスカ、民間ノ外資輸入ハ如何デアル、大藏大臣曰ク、民間ヨリ外資輸入ハ決シテ妨ゲナイ、ノミナラズ或種類ノモノニ依ツテハ援助スル、ソレナレバ餘處ノ國カラ這入ツテ來テ居ル、政府ガ借リヤウガ民間ガ借リヤウガ、外國ニ對シテ債務ヲ持ツコトハ同ジコトデハアリマセヌカ、又外國ノ金ガ内地ニ這入ツテ來テ大藏大臣ノ言ハレルヤウニ、我金融界ニ激變ヲ生ズル虞レガアルト云フコトナラバ、同ジャレル、政府ガ借リヤウガ民間ガ借リヤウガ、外國ニ對シテ債務ヲ持ツコトハ同ジコトデハアリマセヌカト云フ意味ヲ以テ問ハレルト、大藏大臣ハソレハ差支ナイ、民間ノ外資ヲ借リルト云フコトハ必ズ算盤ガ元ニナル、損ヲシナヤウナコトニ使フノデアツテ、第一大事ヲ取ル、第二ニ民間デ借リルモノハサウ多額ナモノデナイ、僅カナモノデアル、然ルニ政府デ外債ヲ起スト云フコトハ、或ハ不利益ノコトニ用ヒルカモ知レヌ、又何レモ政府ノ借リル時ニ

ハ尠カラ又高ノモノヲ發行シテ巨額ノ債務ヲ起ス、故ニ政府ガ借リト必ズ澤山ノ金ガ我國ニ這入^ツテ來テ、金融界ニ激變ヲ生ズルカラ、政府ハ慎シムト云フ答辯ヲサレテ居リマス、唯今申ス通リ事實ハサウデナイ、必ズ内地ノ金融ヲ調節スル方法ハチャント備ツテ居ル、日本銀行ガ兌換ノ發行稅ヲ損シテマデモ、海外ニ於テ準備外ニ正貨ヲ持ツテ居ル、ソレデモウーツ大藏大臣ノ述べラレタル理由、又賛成者ノ述ベラレタル理由ノ中ニハ、此五千万圓ヅツ償還ヲ繼續シテ行クト云フト、此軍事事件公債ト云フモノハ、今日ハ内國ニ三億足ラズアル、凡ソ十億ハ既ニ外國ニ出テ居ル、三億還スト云フト、五千万圓ト云フモノハ是ハ紙幣デハイカナイ、正貨ニ換ヘテ還スノダカラ即チ正貨流出、我國ノ正貨維持ノ力ニ耐ヘナイト云フコトデ今日カラ御心配ナサル、先ヅサウ云フコトガアルナラ其時デ宜カラウ、其時ニ御考ナサレテ宜カラウ、マダ三億餘ノ内國ノ軍事事件公債ト云フモノノ償還スペキモノガアル、俄ニ今日其心配スル必要ハナイ、又國際間ノ經濟關係ト云フモノハ、兔角唯正貨バカリガ決濟ヲスル用ヲ爲シテ居ルト思フ人ガ多イ、内外經濟共通ト云フコトニアリマスレバ、正貨ト云フモノハ國際間ノ決濟ヲスル部分ニ於テ比較的僅カナモノデアル、僅カナ勵キデアル、アトハ互ニ有價證券或ハ手形、サウ云フヤウナモノデ決濟共通ノ途ハ取レテ行ク、御承知ノ通リ英吉利倫敦ト紐育トノ間、アノ巨額ノヤリ取りノアル、平年ニ於テハ米貨ガ金貨デ千五百万弗出タトカ、二千万弗出タトカ這入^ツタトカ云フコトデ濟ンデ居ル、我國ノ貿易狀態モ、昨年八月以來ノ輸入ヲ調ベテ御覽ナサレテモ、原料ト機械ト云フモノニ於テ一番輸入ガ減^ツテ居ル、是即チ我國ノ從前發達シテ來タ殖產興業ノ發達ガ抑ヘラレテ居ル、八月歐羅巴ノ戰亂勃發ノ爲ニ……併シソレマデノ趨勢ト云フモノハ、年々一億乃至一億五千万圓ヅツ貿易ノ高ガ殖エテ行ク、其増進シテ行ク中ニ於テハ、輸入ノ殖エ方ヨリハ輸出ノ殖エ方ノ方が比較的強クナ^ツテ居ル、此趨勢デ行ケバ年々貿易ハ順調ニナル、遂ニハ輸出超過ノ國ニナルト云フコトハ、我國ニ外國カラ輸入スル所ノ機械ヤ原料ガ餘計働ラレテ、其結果ヲ得ルコトニナル、必シモ今後五六年後ノコトヲ心配サト云フ御心配ハマダチット早イ、私ナドハソンナ國柄デナイト思^ツテ居ル、歐羅巴戰爭ガ濟マヌ中デモ此調節ヲシテ、此間ヲ利用シテ我商賣人ガ、或ハ支那ナリ或ハ露西亞ナリ或ハ南洋諸國等塊地利ナリ獨逸ナリノ商人ナドノ

行^ツテ居^ツタ所ニ代^ツテ、我國ノ物品ヲ供給スルト云フ方ニ發達シテ行^ツタナラバ、存外速ク我國ノ外國貿易ト云フモノハ順調ニ發達スルト私共ハ信ジテ居ル、又今日三億餘ノ軍國事件公債ガ内地ニアルノニ、今カラ正貨ノ御心配ニナ^ツテ、此償還金額ヲ減^ツサナケレバナラヌト云フコトハ受取レナイ話デアル、ソレカラ又大藏大臣ハ大正十四年ニ償還期限ノ來ル所ノ、四分半利附ノ公債ノ殘額五億數千万圓ノモノニ言及セラレテ、斯ノ如キモノガ將來アルゾ、大正十四年ニナレバ即チ煙草專賣收益ヲ抵當トシテ、擔保トシテ居ル四分半利附公債五億數千万圓ノ償還期限ノ來ル、是ハ借替ヘナケレバナラヌカラシテ、今ノ中成ルタケ公債ヲ發行セズニ用意ヲセニヤナラヌ、斯ウ云フコトヲ言ハレタ、ケレドモ日本ガ之ヲ借りリズニ居^ツタラ、外國ノ資本家ガ日本カラ借替ニ來ルカラト言^ツテ、シマッテ置キマセウカ、奪ヒ合^ツテ皆日ニ月ニ方々カラ借手ガ來テ皆持^ツテ行キツツアル、日本ガ遠慮シテ其間借りリズニ居^ツタ所ニテ四年ニナ^ツテ、サア宜シウゴザイマス、五億何千万圓借リマセウト言ウテモ備如何ニナルカト云フ豫想ハ出來ナイ、而カモ五億何千万圓ト口ニコソ言フケレドモ、實際斯ノ如ク多額ノ公債ヲ一時ニ償還シタ國ガ何處ニアリマセウカ、伊太利ニ例ガアリマセウ、ケレドモ是ハ五六六年モ前カラ仕度シテ成功シタノデアル、今日唯借財ヲセズニ置イテ十四年ニナ^ツテ借替ヘルト言^ツテモ是ハ捨テテ置イテドウシテ其業ガ出來マセウカ、矢張リ借リルモノハ……必要ノアルモノハ借リル途ヲ開イテ置カネバナラヌ、二千万圓ナリ三千万圓ナリ鐵道ノ金ヲ年々借リテ來レバ即チソレハ成功デアル、廳テ貿易ガ順調ニナリカト云フ御心配ハマダチット早イ、私ナドハソンナ國柄デナイト思^ツテ居ル、鐵道ノ財源ナル公債ト云フモノハ公債デ出テ行クガ、一方デハ今マデハ千万圓ヅツダケレドモ大正七年頃カラシテ是ハ五千万圓ニナル、四分半利附ノ英貨公債ヲ返ス途ガ付クト思フ、是ハ意見デアル、サウシテ見タナラバ結果ハドウデアリマセウ、成程公債ハ減リマスマイ、減ラヌケレドモ國民ノ負擔タル臨時事件公債、而カモ煙草專賣收益ノ擔保ニナ^ツテ居ル所ノモノガナクナ^ツテ、鐵道ノ財源ナル公債ト云フモノガ出テ、國民ノ負擔スル所ノ公債ガナクナ^ツテ一方鐵道ノ營利ノ利益カラ支拂^ツテ行クベキ所ノ公債ガ自然ニ廻^ツテ行ク、サウシテ大正十四年マ^テ行^ツタナラバ殘額ハ一億万カソコラニナル、一億万カソコラニナレバ是ハ何時デモ處

分ガ付クト安心セラレテ居ツテ宜イカモ知ラヌケレドモ、如何ニモ五億何千万ト云フ巨額ノ借財ヲ而カモ煙草專賣收益ヲ以テ擔保トシテ居ルモノヲ其時ニナツテ借替ヘル、借替ヘルト云フコトハ容易イヤウニ聞エルケレドモサウデナイ、矢張リ借リテ償還スルノデ、期限前ニ新タニ募集シテ金ヲ造ツテサウシテ期限ノ來タモノヲ返スノデアルカラシテ、形カラ云ヘバ借替ト云フケレドモ事實ハ新タニ募ツテ返スト云フコトニナル、容易ナ業デハナイ、今日カラ其ナ單純ナ御考ヲ有ツテ居ルト云フコトハ私ハ頗ル遺憾ニ考ヘル、ソレデ大藏大臣ハ公債ガ殖エレバ既發ノ公債ノ價ガ下ガルト言フ、是モデス、唯數字カラ云ツタナラバ容レ物ガ同ジデ其處へ注込メバ溢レルケレドモ、日本ノ財力信用ハ入レル物ガ殖エレバ決シテ公債ノ價ガ下ガル譯デハナイ、一方ニ於テ計ナ物ヲ注ギ込ムコトニナルカラ公債ハ溢レテ値段ハ下ガルト云フコトニナル、其處ガ當局ノ最モ骨ヲ折ラナケレバナラヌ所デアル、成ルベク我公債ヲ世界ニ廣ク求メ容レ物ヲ大キクスルト云フコトノ手段ヲ常ニ講ジナケレバナラヌノデアル、唯公債サヘ募ラナケレバ信用ガ増進スルト思ツテ居ラレルノハ間違デアル、終リニ一言イタシタイノハ此問題、此案ニ付テ先刻モ前田子爵ガ縷々御述ベニナリマシタガ、豫算ニ關係ヲ有ツト云フコトヲ言ハレタ、本員ハ如何ニシテ是ガ豫算ニ關係ヲ有ツカ、豫算ノ不成立……豫算ニ關係ハアルニ相違ナイガ、此案ヲ否決スルトカ、政府ノ案ニ賛成シナイ場合ニハ豫算ガ不成立ニナルト云フコトヲ頻ニ言ハレルガ、私ハ其理由ガサツバリ分ラヌ、今マデ色ニ其點ニ付テ御述ベニナリマシタガ更ニ分ラヌ、律ト財源ト必ズ伴ツテ居ラヌト云フコトガアル、是ハ反對ナノデアル、前申ス通リ實行上ニハ何等差支ナイ、豫算ハ豫算デ通過スル、一般會計カラ鐵道ノ方ニ借入レル財源、此法律ガ成立タヌ爲ニ、改正案ガ成立タヌ爲ニ二千万圓一般會計カラ鐵道ニ借入レルト云フコトガ出來ナクナル、隨ツテ鐵道ノ資金ガナクナル、鐵道ノ資金ガナクナルト云フコトデハ鐵道ノ方デハ困ル、ケレドモ唯今申シマス通リ内地ノ金融ノ狀態ト云ヒ、日本銀行ノ力ト云ヒ、今年ニ

○議長(公爵徳川家達君) 仁尾君
〔仁尾惟茂君演壇ニ登ル〕

○仁尾惟茂君 本員ハ此案ニ賛成ヲ表スル者ニアリマス、午前ヨリ段々此案ニ對スル反對論者ノ御論モ承リマシタ、付キマシテハ此反對意見ニ對シマシテ一應所見ヲ述べタイト存ジマス、要シマスルニ此問題ハ、第一ハ鐵道資金ト云フモノハ愈々ダケ要スルカ、第二、公債ハ此上募リ得ルヤ否ヤ、第三整理基金ハ減ジ得ルヤ否ヤト云フ、斯ウ云フ問題ニ歸著イタシマスル、ソレデ此事ガ、第一ヨリ第二、第三ノコトサヘ論定イタシマスレバ、自ラ是ハ分リマスル論デアリマスル、ソレデ是ヨリ論辯ヲ試ミムト思ヒマスル、第一ノ資金ノ點ニ付キマシテハ、曩ニ前田子爵ヨリ御述ベニナリマシテ、私ノ述ブル所モ同様デアリマスカラ是ハ略シマシテ、固ヨリ私ノ論ジマス所ハ、資金ガ是ヨリ毎年四千万圓若クハ五千万圓ヲ要スルモノデアルト云フコトハ是ハ一定ノモノト致シマス、付キマシテハ第二ノ公債ヲ募リ得ルヤ否ヤト云フ點ニハ此問題ニ對シマシテ初メテ承リマスルコトデアリマシタ故、眼ヲツブッテ付キマシテハ、先刻高橋君ヨリ初メテ公債ハ募リ得ル、斯ウ云フ御論ガアリマシタ、ソレトモウツ鉄道公債ハ起シテ宜シイ、此一ツデアリマス、實ハ私シテ、ソレトモウツ書生論カノ如クニ感ジマシタ、眼ヲ開イテ演壇ヲ見レバ、實ニ是マデ經驗アル所ノ高橋君デアル、誠ニ私ハ大キシテ二度マデモ政府ハ聲明シテ居ル、此減債基金ヲ減ラスト云フヤウナ、ソンナカヨワイ經濟デハナイ、甚ダ外國ニ對シテ恥カシイ話デアル、二千万圓ノ金ガ出來ナイ爲ニ中外ニ向持ツテ行ク、日本銀行ハ御覽ナサイ、一億ノ正貨準備ヲナシテ居ル、二千万圓ノ公債ハ大キナモノデハナイ、英吉利ノ證券ヲ買ツテ居ルノニナゼ我證券ニ應ズルコトガ出來ナイカ、ナゼ鐵道ノ證券ニ應ズルコトガ出來ナイカ、縦シンバ民間ノ銀行、公衆ガ資本ガナイト見タ所デ其力ガナイト言ハレマスカ、其クラキ資金ノ調達ノ餘裕ガアルニモ拘ラズ、此我來ルベキ外交ニ大關係ヲ有チ又今後ノ財政經濟上ニ非常ナ關係ヲ有ツテ居ル此案ニ對シテハ、私ハドウシテモ同意ガ出來ナイ、是私ノ反對スル理由デゴザイマスカラ宜シク御了承ヲ請ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 仁尾君

〔仁尾惟茂君演壇ニ登ル〕

世界ニ廣ク求メ密シ物大キクフルト云フニドノ手段ニ常ニ講シナケレバナ
ラヌノデアル、唯公債サヘ募ラナケレバ信用ガ増進スルト思ツテ居ラレルノ
ハ間違デアル、終リニ一言イタシタイノハ此問題、此案ニ付テ先刻モ前田子
爵ガ縷々御述ベニナリマシタガ、豫算ニ關係ヲ有ツト云フコトヲ言ハレタ、
本員ハ如何ニシテ是ガ豫算ニ關係ヲ有ツカ、豫算ノ不成立……豫算ニ關係ハ
アルニ相違ナイガ、此案ヲ直ストカ此案ヲ否決スルトカ、政府ノ案ニ賛成シ
ナイ場合ニハ豫算ガ不成立ニナルト云フコトヲ頻ニ言ハレルガ、私ハ其理由
ガサツバリ分ラヌ、今マデ色々其點ニ付テ御述ベニナリマシタガ更ニ分ラヌ、
是マデモ水道トカ或ハ築港ノ補助費ナドニ於テハ兩院ノ協賛ヲ經テ法律ガ出
タガ、成立ツテ居ル豫算ガナイ爲ニ實行ノ出來ナイト云フコトハ間ミアル、法
律ト財源ト必ズ伴ツテ居ラヌト云フコトガアル、是ハ反對ナノデアル、前申ス
通リ實行上ニハ何等差支ナイ、豫算ハ豫算デ通過スル、一般會計カラ鐵道ノ
方ニ借入レル財源、此法律ガ成立タヌ爲ニ、改正案ガ成立タヌ爲ニ二千万圓
一般會計カラ鐵道ニ借入レルト云フコトガ出來ナクナル、隨ツテ鐵道ノ資金ガ
ナクナル、鐵道ノ資金ガナクナルト云フコトデハ鐵道ノ方デハ困ル、ケレド
モ唯今申シマス通リ内地ノ金融ノ狀態ト云ヒ、日本銀行ノ力ト云ヒ、今年二

ニ驚キマシタ、第一高橋君ノ御論ニ今ヤ内地ハ各銀行ニ於テ金融最モ緩慢デアル、金ヲ借ラルト仰シャリマシタガ、若クハ公債ハ募レルト仰シャイマシタカ、其所ハ伺ヒマセヌデシタガ、此御論ハ實ニ私ハ御經驗アル所ノ高橋男ノ御論トハ受取り得マセヌ、ト云フノハ何故ニ此金ト云フモノハスク緩慢デアルカ、決シテ此金ハ日本全國、都鄙共ニ緩慢デハナイ、唯一時時局ノ關係其他不景氣等ノ一時ノ現象ニ依リ中央ニ此金ガ集ツタノデアル、皆銀行ハ各支店ソレゞヨリシテ、此金ト云フモノガ集ツタノデアル、サウシテ此金ハ然ラバドウナル金デアルカト云ヘバ、是ハ他日歐洲ノ平和克復其他總テ内地ニ於キマシテモ景氣ガ恢復シマスレバ、必シモ此金ト云フモノハ地方ヘ皆歸ツテ行カニヤナラヌ金デアルノデアリマス、ソレデドノ銀行ノ有力ノ者ニ承リマシテモ、此金ハドウデアルカト云ヒマスレバ、是ハ一時ノ融通ナレバ出來ル、即チ大藏省證券ノ如キガ即日ニ集ツタト云フノハソレデアル、單ニ一時ノモノナラバ宜イガ、扱少シク長イモノハ、長期ノモノナレバ一文モ出サナイ、皆先キヲ見越シテ此金ハ必シモ働く金デアルト云フコトヲ言ツテ居ル、ソレト又、凡ソ鐵道ノ資金ニ致スト云フ金ハ短期ノモノデ宜シイカ、一時ノモノデ圓ニナルト云フヤウナ金ハ、逆モ一時ニ出來得ベキモノデナイノデアル、又ソレデ斯ノ如キ有様デアリナガラ、内地デ自由ニ出來得ルト云フヤウナ論トル、一時ニ年々二千万圓ヲ借入レテ翌年ハ四千万圓ニナリ、其翌年ハ六千万圓ニナルト云フヤウナ金ハ、逆モ一時ニ出來得ベキモノデナイノデアル、又ルニ致シマシタ所ガ、今此金ヲ奪ヘバ必シモ民間ノ資本ト云フモノヲ奪取ルノデアルカラ、民間ノ資本ヲ奪取フタラドウカト云ヘバ、誠ニ今後大ニ殖產興業ヲ發達セシメナケレバナラヌ所ノ財源ヲ奪フノデアル、是亦鐵道ト致シマシテモ均シク政府ノ事業デアル、中央ノ政府ノ事業トシテ斯様ナ資本ヲ奪フヤウナコトハ餘程考ヘネバナラヌトモ考ヘマス、デ又公債ノ中デモ鐵道公債ナラバ募ツテ宜シイ、サウ云フ御論ガアリマスガ私ハ甚ダ解セナイ、殆ント鐵道ト云フモノハ外國ノ鐵道デアルカト云フヤウナ論據ニナッテ來ルノデアル、餘程外國化シタ論デアル、何故ナラバ名ハ特別會計ノ鐵道デアリマスケレドモ、均シク日本國ノ政府ノ國家事業デアル、此事業ガ國ニ害アルコトヲスレバ、サセナイヤウニセネバナラヌ、國ノ財政經濟ヲモ構ハズ我ハ鐵道ナリト云テ、少シモ全體ノコトヲ考ヘズニ自分ノ自由自在ニ借錢ヲ拵ヘ、外債ヲ募ツテ

國ノ害ハ一點モ顧ミズ我儘ニ働クト云フコトハ出來マセヌノデ、外國ノ鐵道
ナラバイザ知ラズ即チ國ノ鐵道デアル、國ト利害ヲ共ニセニヤナラヌモノデ
アル、若シ此鐵道ガ多額ノ外債ヲ募リマシテ、ソレガ爲ニ是ガ元利ノ返済等ニ
正貨ヲ要シマストキニハ、鐵道獨リデ困ツテハ居リマセヌ、必ズ國ガ困ツテ仕舞
フノデアル、一番困難スルノハ國デアルノデアリマス、ソレデドウシテモ高橋
君ノ御論ノ如ク、内債ヲ募ルトカ、若クハ鐵道デアルカラ宜シイト云フヤウナ
コトハ、我國ノ經濟狀態デハ決シテ許シマセヌト思ヒマスル、是ハドウカ一ツ
十分ニ是等ノ點ハ、高橋君ナドノ御一語ト云フモノハ最モ重イモノデアルカラ
テ、十分ニ御研究ヲ願ヒタイト思ヒマスル、ソレデサテ、斯ク……其他高橋君
ノ御論ノ中ニ總テ種々ナ其中ニ御論モアリマシタガ、ソレニ付キマシテ一々
對シテ論駁ハ見合セルノデアリマス、堵斯ク致シテ見マスレバ愈、我國ノ現
狀ト致シマシテ、公債ハ募リ得ベカラズト云フ論定ヲ私ハ致シマスル、シテ
關係ヲ有チマスル所ノ二點ノミヲ述べテ置キマシテ、遺憾ナガラ外ノコトニ
對シテ論駁ハ見合セルノデアリマスカラ、堵斯ク致シテ見マスレバ愈、我國ノ現
見マスレバ後ニ殘ル問題ハ何デアルカ、即チ基金ハ減ラスガ宜イヤ否ヤト云
フ問題ニナリマス、又午前仲小路君ノ御論、又過日來段々委員會ニ於キマシ
テノ御論モ、歸著シマスル所ハ減債基金ヲ減ズレバ公債ノ信用ニ關係スルト
云フコトノ御論ガ一番重イヤウデアリマスカラ、此點ニ付テ私ハ十分ニ論ジ
テ見タイト思ヒマスル、凡ソ此信用ト云フモノハ何デアルカ、名デアルカ、
實デアルカト言ヒマスルト、決シテ名ニ在ラズシテ實ニ在ル、デ今迄ノ此基金
ヲ減ジテ惡イト云フハ單ニ此基金五千万圓ヲ三千万圓ニ減ラスト云フ其名ニ
拘泥シタ論デハナイカト私ハ斯ウ考ヘマスル、ケレドモガ信用ト云フモノガ
名ニ在ラズシテ實ハ信用ノ如何ニ在ル、凡ソ要アッテ金ヲ借リマスルモノハ借
リマシタ所ノ金ハ之ヲ返還シ、即チ返シテ利益ノトキト然ラズシテ即チ害ア
ルトキガアルノデアリマス、返スベキ力ガアッテ之ヲ返セバ宜シイガ、若シモ
無理ヲシテ返スベキ力ナクシテ之ヲ返スト云フコトハ寧ロ返サザルニ優ル害
セバ害ガアル、單ニ返スノヂヤナイ、此返ス所ノ度ヲ失ヘバ害ガアル、何故
ナレバ此中外債ノ如キハ正貨ヲ以テ返サナクチャナラヌノデ、若シ返スコト
ノ度ニ過グレバ、忽チ此正貨維持ニ關係スル、實ニ我國ノ唯今ノ有様ハ悲シ
イカナ一々正貨ノ維持ト云フコトヲ考ヘナクチヤナラナイ、若シ是ガ正貨ノ

維持ニ關係スルトナリマスレバ……正貨ノ維持ニ關係スルトスレバ直チニ此貨幣制度ノ根本ヲ危クスル、是ゾ即チ一大事デアルノデアル、ソレデ實ニ一時外債ヲ重ネマシタ以上ドウ云フ有様デアッタカ、元金ハ素ヨリ利子スラモ返スコトニ苦シングダ時代ガアリマスル、ソレハ近キコトデアル、デ何ヲ以テ返シタカト云ヘバ實ニ泣クニモ新シイ負債公債ヲ起シテ、新シイモノヲ以テ古イモノヲ返シ、即チ借金ヲ以テ借金ヲ返ス、先刻高橋男ガ仰シヤイマシタ通り外國デ金ヲ募テモ日本ニ金ハ這入ラ又カラ害ハナイト云フ、洵ニ然リデゴザイマス、金ガ這人ヲ來ウ筈ハナインデアリマス、是ハ實ニ殘念至極ノコトデ、殊ニ國ノ狀態トシテ誠ニ危イコトデアリマス、ソレデ詰リ我國ノ今日ノ有様ハ外債ハ一文デモ餘計ニ返シタイガ、返セバ返スホド債權者即チ外國債權者ノ信ヲ失スルコトニナル、借錢ヲ返シテ信ヲ失スルノハ誠ニカシイコトデアリマスガ、事實サウナルノデアリマス、ソレハ何カト言ヘバ無理ヲシテ返スカラ債權者ニ金ヲ返シタノデハナイ、若シ力アッテ返ス金ナラバ債權者ハ返サルルコトヲ好マナイト云フ斯ウ云フモノニ違イナインデアリマス、ソレデ私ハ此基金ヲ減ズルハドウカト云ヘバ決シテ信用ヲ減セズ、資金ヲ減ズル爲ニ却ツテ信用ヲ増スト云フ斯ウ云フコトヲ申シマス、ソレデ何故カナレバ茲ニ一つノ金ノ必要ガアル、此金ハ借錢ヲスルガ宜シカ、在ル所ノ金ヲ以テ之ヲ賄フガ宜イカト云ヘバ無論借錢ヲセヌデ在ル所ノ金ヲ以テスルガ宜イノデアル、又茲ニ一つノ不急ノ金ガアルカラ此不急ノ金ヲ以テ急用ノ方ヘ廻スカドウカト言ヘバ、無論是ハ遊ンデ居ル豐ナモノヲ以テ急ナ方ニ充テルガ最モ運用上シナクチヤナラヌコトデアルト思ヒマス、即チ此基金ヲ減ジマスルト云フノハ借ルベキモノヲ借リル代リニ此金ヲ持ツテ行ク、又一方ニ不急ナモノヲ以テ急用ノモノニ廻スト云フ斯ウ云フコトニナリマスノデアリマスカラ、是ハ債權者初メ總テ誰カラ見マシテモナカヽ是ハ面白イコトヲヤツテ居ル、是迄ハ借金ノ上ニ借金ヲ重ネテシヨツタガ、段々斯ウ云フコトニシテ終ニ借金ヲシナイ、在ル所ノモノヲ以テ間ニ合ハセルノハ誠ニ確カナ方法ニナツテ來タト云フ此信用ハ減債基金ヲ減ラシタ此金ハ決シテ濫費スルモノデハナイ、日本國ノ生產力ニ使フノデアル、殖產興業其他ニ最モ必要ナル鐵道ニ使フノデアル、ソレデ私ハ、無益ニ使ヘバ信用ヲ墜シマスケレドモ、斯様ニ有利ノ事業ニ使ヘバ却ツテ此減債基金ヲ減ラシテモ信用ヲ保ツ基トナルト思ヒマス、實ニ我國ノ今日ノ財政ノ狀態ハドウデアルカト申シマスレバ、誠ニ困難ナ場合

デアル、國民ハ負擔ノ輕カラザルモノガアリマス、又國債ハ斯ノ如ク多大ニ實ニ重荷ヲ負ツテ居ル、國防ハ益々充實セネバナラナイノデアル、又殖產興業ノ發達ヲ圖ラネバナラヌノデアル、如何ニシテモ誠ニ財政ノ上カラ見レバ困コトニ時デアッテ、一方ニ無益ニ金ヲ遊バセルトカ何トカ云フコトガ出來得ベキ時デハナイノデアリマス、故ニ財政ノ衝ニ當リマシテ、此基金ヲ……餘リ急ヲ變ズベキモノハ變ジ、謂ハユル守備活動共ニ其宜シキヲ制シテ行カナケレバナラナイノデアル、然ルニ當局ガ此際ニ當リマシテ、此基金ヲ……餘リ急ヲ要シナイ基金ヲ以テ急要ノ鐵道ノ資金ニ充テタト云フコトハ、私ハ是ハ機宜ノ宜シキヲ得タ處置デ、即チ運用上其要ヲ得タモノデアルト、深ク私ハ當局ノ苦心モ察シマスノデアリマス、ソレデ右ノ如ク私ハ、第一鐵道資金ヲ必要ナリトシ、公債ヲ募リ得ズ、減債基金ハ之ヲ減ズルガ却ツテ信用ヲ増ス、又運用上機宜ヲ得タルコトデアルト私ハ深ク信ズルノデアリマス、ソレカラモウツノ残シテ居リマスガ、午前ニ鐵道資金二千万圓ハ廣軌鐵道ノコト云々ト仙石總裁ガ(聽取シ難シ)又是非是ハ廣軌鐵道ニセネバナラナイト、斯ウ云フ御論ガアリマシタガ、是ハ唯御論ジニナルノナレバ何ノ差支モアリマセヌガ、ソレガ爲ニ此二千万圓ト云フモノヲ要シナイト云フコトニナレバ、一言申シテ置カネバナリマセヌガ、固ヨリ廣軌鐵道ト云フコトノ利害得失ハ一定ノ論ガアリマシテ、然ルニ一定ノ論ガアッテ廣軌是ナリトスルモ、實行シ得ラルト云フ點ニ付キマシテハ、是ハ金トノ相談デアル、縱シ政府委員ガ今年一杯ニ調べルトカ何トカ言ツタ所ガナカヽサウ云フ譯ニハ行キマセヌノデアリマス、是ヨリ何年ニシテ實行シ得ラルカ、前途尙ホ遠イコトデアルノデ、ソレト云フコトニナリマスレバ、金ハドウデアルカト云ヘバ、唯今ノ狹軌ヲ改良シテ行クヨリハ、少ナクナルカ多クナルカト云ヘバ、實ニ是ハ幾倍ノ増シヲ要スル、巨大ノ費用ヲ以テ當ラネバ出來ナイト考ヘマス、ソレデ詰リ若シ之ヲ今年ノ暮ニ、廣軌ト云フモノガ萬一二モ運ブト云フコトニナリマスレバ、此廣軌論者ハドウデアルカト云ヘバ基金ノ五千万圓ハ……二千万圓ハ愚カ五千万圓ヲ總テ持ツテ行カナクチヤナラヌト云フコトニナツテ來知レマセヌガ、兎モ角此二千万圓デハ追付カナイ、殆ド基金ノ五千万圓全部持ツテ行ツテモドウカト存シマス、之ヲ以テ長ク三十年四十年モ掛ツテスルト

云フコトヲスレバ、ソレハドウカ知レマセヌガ、今日交通ノ急要ヲ要スル際ニ於キマシテ、短イ年月ノ間ニソレヲヤラウト云フニハ、ナカク少々ノ金デハ出來マスマイト考ヘマス、ソレデ其事ハ此案ニ對シテ關係ノナイ論外ノモノデアルト考ヘテ居リマス、ソレデ大概反對論者ノ御論ノ要點ニ對シテハ一應愚見ヲ申述マシタト考ヘマス、終リニ臨ンデ又一言イタシマスガ、此案ハドウデアルカト云ヘバ唯一ノ基金問題ノ案デアリマス、併シ反對論者ノ論ガ成立スルト致シマスレバ、其結果ヤ誠ニ重大ナ關係ヲ及ボシマセウト存ジマス、サウシテ此案ガ總テ一院ノミデ自由ニナルモノナラバ宜シウゴザイマスガ、苟クモニ院制度ヲ執ル以上ハ、一院ガ既ニ決議ヲシテ參リマシタモノハ、他ノ一院デハ其決議ハ十分重ンジナケレバナラヌモノト思ヒマス、ソレデ何カ是ガ重大ノ國防トカ、又ハ多數ノ力ヲ恃シ横暴ナ分子ヲ含ンデ居ルトカ言ヒマスレバ、假令一院デ決議シタモノト雖モ、十分ニ決議ヲ重ネナケレバナラナイガ、私ハ此案ハ決シテ左様ナコトハアルマイト思ヒマス、即チ政府ニ於キマシテモ與黨少數ノ時代ニ立テタル所ノ綱領ニ依ツテ出來タ此案デアリマスカラ、斯様ナコトモアリマスマイト思ヒマス、本院ガ事ノ大小輕重ヲ擇バシシテ屢々衆議院ニ反對スルト云フコトハ、深ク是ハ慎マナケレバナラヌト思ヒマス、私ハ此邊ニ對シテモ本案ハ十分贊成シナケレバナリマスマイト考ヘマスカラ、其事ヲ述ベテ置キマス

○議長（公爵徳川家達君）澤柳政太郎君

〔澤柳政太郎君演壇ニ登ル〕

○澤柳政太郎君 私ハ遺憾ナガラ本案ニ對シテ反對ヲ表スルモノノデアルノデアリマス、先刻仲小路君ヨリシテ、本案反對ノ理由ニ於テハ、舉ゲテ盡サザル所ナキ程度ニ御話ガアッタノデアリマス、然ルニ之ニ加フルニ、少クトモ私ニ取りマシテハ甚ダ耳新クトモ、而カモ亦有力ナル反對ノ理由ヲ高橋男爵ヨリシテ承ルコトヲ得タノデアリマス、私ハ更ニ之ニ加フル必要モナイカト思ヒマスルシ、又兩君ノ御述ベニナリマシタコトニ付キマシテハ、一言モ繰返スコトヲ致サヌノデアリマス、私ハ全ク新タル本案反對ノ理由ヲ述ベテ諸君子アル、然ルニ何故ニ國債整理基金特別會計法ナルモノヲ設ケテ、サウシテ之ヲ返スト云フコトヲ内外ニ向テ宣言スルノデアリマセウ、如何ナル公債ト

雖モ、或ハ短キハ三年、五年ノ据置期間ヲ經過イタシマスレバ、大體五十年以内ニ於テ……長期ノ公債ト雖モ五十年以内ニ於テ之ヲ償還スルト云フコトハ、其規定ニ明カニ示サレテ居ルコトデアル、應募者ハ即チ之ヲ信ジテ而シテ募集ニ應ジタ次第デアルノデアル、ソレ故ニソレガアルノニ拘ラズ、尙ホ斯ノ如キ特別ニ國債整理基金、通俗ニ減債整理基金ト云フモノヲ置キマスルノハ、先刻段々御話ノアリマシタ特別ノ事情モアリマスルガ、兎ニ角一般ノ約束ヨリモット政府ハ勉強ヲシテ早ク返ス積リデアルト云フコトヲ宣言シタル所ノモノガ、即チ此國債基金特別會計法ノ趣旨、デアルト思フノデアリマス、此會計法ガナカッタ所デ、相當ニ政府ハ國債整理ノ經畫ヲ年々立テ行カナケレバナラヌト云フコトハ申スマデモナイコトデアル、日本ハ現在約二十六億ノ公債ヲ負ッテ居ルノデアリマスルカラシテ、マダ期限ガ來ヌ、或ハ延バセルダケハ延バシテ、アトハドウナツテモ構ハヌト云フヤウナコトハ、如何ナル無責任ナル政府ト雖モ、又兩院ガ其責任ヲ感ゼズト致シマシテモ、斯ノ如キ財政經畫、斯ノ如キ國債政策ニ贊同ヲスルモノハナカラウト思フノデアル、此基金令ガナイニ致シマシタ所デ、政府ハ必ズヤ相當ノ減債ノ方法ヲ立てナケレバナラヌノデアル、況ヤ其額ハ二十六億ノ多キニ上ツテ居ルノデアリマスカラシテ、此基金令ガナイニ致シマシタ所デ、少クトモ年ニハ三千万ヤ四千万ハ償還シテ行カナケレバナラヌコトハ是ハ言フマデモナイコトデアル、ソレ故ニ抑、此國債整理基金特別會計法ノ出來ル際ニ當ツテ、學者ハ多クハ之ニ向テ反對ヲシタノデアル、國ガ國債ヲ負ウテ之ヲ償還スルト云フコトハ、即チ年々ノ財政經畫ニ於テ、歲入歲出ノ上ニ於テ出來ルダケ剩餘ヲ多クシテ、以テ其償還ニ充テルト云フコトハ、是ハ特別ニ法律ヲ制定スル必要ハナイノデアル、唯時ノ事情ニ依リマシテ或時ハ即チ非常ナ事變ガ起ルトカ、或ハ全國ヲ通ジテ非常ノ凶災ガ起シタト云フヤウナトキニハ、其減債ニ充テルシテ、相應シテ、相當ノ整理ノ經畫ヲ立テナケレバナラヌノデアル、故ニ斯ノ如キ自繩自縛ノ法律ト云フモノハ、寧ロ之ヲ制定セヌ方ガ宜シイト云フ議論ガアッタ位デアルノデアル、學者ノ議論ハ殆ド其點ニ於テ一致シテ居ルト申シテ

宜カラウト思フノデアル、此法律ヲ設クルニ及バナイト云フノ論ハ、決シテ國債ハ整理セナイデ宜シイ、減債ヲ計ラナクテ宜シイト云フノデハナイノデアル、減債、國債ノ整理ト云フコトハ、國庫ノ財政ノ如何ニ依ツテ自ラ其途ヲ發見スルコトガ出來ルト云フ意味ニ於テ、今申スヤウナ議論ガ成立ツノデアラウト思フノデアル、然ルニ特ニ斯ノ如キ法律ヲ設ケタト云フノハ、政府ハ或特別ノ事情ニ依ツテ大ニ奮勵ラシテ、他ノ事ハ何ヲ措イテモ此國債ハ整理シヤウ、大ニ奮發ヲシテ整理ラシヤウト云フコトノ意味ヲ數字ニ、金額ニ現ハシ、條文ニ現ハシタル所ノモノガ、即チ此特別會計ノ基金デアルノデアル、然ルニ今回政府ガ之ヲ改メテ三千万圓トスル、而シテ其割合ハ万分ノ百十六ト云フコトデアルノデアル、斯ノ如キコトニ改正ヲシタナラバ、此法律ト云フモノハ無意味ニナル、無イヨリモ寧ロ惡ルイト申シテ私ハ宜カラウト思フノデアル、其點ニ於テ私ハ新タル理由トシテ茲ニ一言申シタ次第デアルノデアル、万分ノ百十六ヅツ返ス、ソレ以上ト云フコトガアリマスルガ、法律ニ既ニ万分ノ百十六ト申シタ以上ハ、ソレダケヅツ返シテ行キマスレバ、兎ニ角法律制定ノ趣旨ニ適ツタモノト申シテ宜シイノデアリマス、然ラバ何年掛ツテ是ガ整理ガ出來ルノデアル、八十六箇年掛ルノデアル、斯ノ如キ國債ノ政策ヲ立テル所ノモノガ、世界廣シト雖モ何處ニアリマセウ、獨逸ノ如キハ、是ハ私ノ調査シタノデハナイ、大藏次官ガ衆議院ノ者ニ衆議院ニ於テ答ヘラレタ所ニ依ルト云フト、獨逸ニ於テハ生産的ノ公債ハ百分ノ一、四ヅツ償還スル割合ニナツテ居ル、不生産的ノ公債ハ万分ノ三百、即チ今度ノ率ニ直シテ見マスルト、獨逸ニ於テハ不生産ノ公債ハ万分ノ三百ヅツ償還スル、即チ十三年ニシテ軍事公債ト云フヤウナモノハ償還スル割合ニナルノデアリマス、生産的即チ事業公債ノ如キモノハ万分ノ百四十ヅツデアル、是ハ必シモ……利息ダケヲ拂ツテ參リマスレバ、生産的ノ公債デアッタナラバ、或ハ永遠ニ償還シナイ方ガ、此公債ヲ持ツテ居ル者ハ喜ブカモ知レナイノデアル、併ナガラ兎ニ角借リタモノデアルカラ返サナケレバナラナイ、而シテ其返ス割合ハ万分ノ百四十デアリマスカラ、可ナリ長クナリマスルガ、七十二年ニシテ償還スルト云フコトデアルノデアリマス、恐ラクハ獨逸ニ於テハ此生産的不生產的ノ公債ヲ合セテ計算イタシマシタナラバ、四十年位ニシテ兎ニ角現在アル所ノ公債、之ヲ償還スルト云フ經畫ニナツテ居ルノデアラウト思フノデアリマス、兎ニ角公債ノ償還期限ト云フモノハ五十箇年……長期ナルモノ

ニ於テモ五十箇年ト極メテアルノデアル、而シテ此法律ハ八十六年ヲ經過スル其間ニ、ボチノ一償還スルノデアルト云フコトヲ、中外ニ向ツテ聲明スルノデアリマスカラ、如何ナル意味ヲ持ツテ居ルノデアルカ、少シモ國債ヲ整理スルト云フ整理ノ意味ハ寸分モ含ンデ居ラヌト申シテ宜カラウト思フノデアル、寧ロ日本政府ハ借金ヲシタ、借金ハシタガ早ク返スノヲ努メルノデハナク、成ルタケ返サヌヤウニ、返サヌヤウニト努メテ居ルノデアル、サウ言ッテモ信ジナイカラ、万分ノ百十六ヅツ返スノデアル、ソレニ間違ヒナイト云フコトヲ中外ニ向ツテ聲明スルノト同ジコトデアル、是ハ此條文ト云フモノヲ見レバ直グニ何人モ、此万分ノ百十六ト云フコトハ如何ナル根據ニ依ツテ出タモノデアルカト云フコトハ、直グニ分ルコトデアリマスガ、此基金令ト云フ派問題ニナツテ居ル、或ハ本院ニ於テハ黨派問題ト云フコトハアリマセヌガ、稍何ダカソレニ類似シタヤウナ色彩ガ著イテ居ル、ソレ故ニ政府ガ改正セムモノハ、或ハ是ガ衆議院解散ノ一ノ理由ニナツタ、隨ツテ衆議院ニ於テハ是ガ黨派問題ニナツテ居ル、或ハ本院ニ於テハ黨派問題ト云フコトハアリマセヌガ、モノデアルカト云フコトハ、直グニ分ルコトデアリマスガ、此基金令ト云フコトスル所ノ條文其物ニハ、贊成スル方ニ於テモ反對スル方ニ於テモ、十分ニ注意サレルコトナクシテ、私ノ如キ財政ノコトニ付テハ至ツテ素人ノ者ガ、斯ノ如キ疑ヲ起スコトニナツタラウト思フノデアリマス、兎ニ角斯ノ如キモノデアッタナラバ、此公債整理基金令ト云フモノハ無キガ優ルモノデアル、無キガ優ルコト萬々ナルモノデアル、之ヲ大藏省ノ當局者ニ聽イテモ必ズサウ言ハレルダラウト思フノデアリマス、若シ大藏省ノ人ガ、今此基金令ガナカッタナラバ、三千万圓ヲ返サナイノデアルト云フコトヲ言ハレルナラバ實ニ驚キ入ル、責任ノ何タルヲ少シモ知ラナイ人デアルト云フコトヲ斷言シテ憚ラナイノデノル、特別ナル時機、非常ナル事變戰爭ガ起ツタト云フコトデアルナラバ、今年ハ先ヅ辛抱シテ貰ハナケレバナラヌト云フコトナラバ聞エテ居ルカモ知レマセヌガ、格別ノ事變モ起ラヌノニ、此法律ガアレバ三千万圓ハ仕方ガナイカラ返スガ、若シ無カツタナラバ二十六億ノ公債ヲ持ツテ居ルガ、是ガ減債……是ガ整理ニ付テハ一向考ヘテ居ラナイ、サウシテ年々六億ノ歲計ヲ立テヤウト云フコトハ決シテナカラウト思フノデアリマス、故ニ此基金令ノ如キハ、斯ノ如ク改正スルナラバ、無キガ優ルモノデアルト私ハ固ク信ズルノデアル、他ニ如何ナル理由ガアルトシテモ、此點ニ於テ斯ノ如ク無意味ナノデアリマス、併ナガラ此基金令ハ……此無意味ナル基金令ノ生ジタノハ、馬鹿ラシイ滑稽ナル案ヲ、我ミハ同意スルコトハ出來ヌト考ヘル次第デアル

即チ國債ヲ整理スルト云フ整理ノ方法如何ト云フ點カラシテ割出サレタ所ノモノデハナイノデ、度々御説明ノアリマシタ如ク、國有鐵道ノ經營ノ上カラシテ、ドウシテモ或資金ヲ得ナケレバナラヌト云フコトカラシテ此案ガ出タノデアリマスルガ、之ニ付テハ或ハ仲小路君ノ御話、又誠ニ事實ニ付テノ高橋男爵ノ御話モアリマシタカラシテ、之ガ爲ニ此永遠ニ瓦ル特別ナ事情カラ起ツテ來タ所ノ減債基金令ヲ改正スル、而カモ無意味ニ滑稽的ニ改正スル理由ニナラヌコトハ申スマデモナイコトト思フノデアリマス、私ハ或點ニ於テハ……高橋男爵ハ鐵道ノ建設改良ノ爲ニハ三千八百万ドコロデハナク、少クモ五千万圓モ使ハヌナラヌト云フコトノ御話デアリマシタガ、使ヒ得ルナラバ誠ニ結構ナコトデアル、併ナガラ國ガ國家トシテ當然經營シテ居ル所ノ國務ハ澤山アルノデアル、内治ノ上ニ軍事ノ上ニ……而シテ如何ナル事業ガ年々二千万近クノ新ナル經費ト云フモノヲ投ジテ行クデアリマセウ、斯ノ如キ國務ハ國家トシテ當然經營ム所ノ國務ニモ一ツモナイノデアル、併ナガラソレハ費用ヲ多ク要セヌノデアルカト云フト、決シテサウデハナイノデアル、國ノ發展ト共ニ幾多ノ事業ヲ經營シテ行カナケレバナラヌノデアリマス、殖產興業ニ關係スルコトニ致シマシテモ、或ハ教育ニ關スルコトニ致シマシテモ、實ニ幾ラアツテモ足ラナイ位ノ今日ノ財政ノ有様デアルノデアル、鐵道ハ勿論必要デアリマス、故ニ特別會計ニ依ツテ、他ニ何等ノ累ヲ及ボサズシテ、三千万ナリ五千万ナリノ公債ヲ募集シテ、ソレニ依ツテ經營シテ行クト云フコトデアツタナラバ、而カモ是ガデス、尙ホ國家ノ手ニ於テ現在國有鐵道トシテ經營スルト言ウタナラバ、如何ニ他ニ累ヲ及ボサヌカラト言ウテモ、權衡ヲ失スルト云フ論モ出テ來マスガ、ソレハ兎ニ角トシテ、出來ルナラバヤツテモ宜シイノデアリマスガ、殖產興業ノ上ニ於テ、又今回ノ戰爭ガ起ツテ來マスレバ、忽チ或ハ原料ニ差支ヘ、或ハ工業ノ生産物ニ差支ヲ生ズルト云フヤウナコトデ、他ニ非常ニ必要ナルモノガアルニ拘ラズ、政府ハ民間カラシテ、或ハ議院カラシテ、或ハ諸方カラシテ督促スルニモ拘ラズ、之ニ向ツテ何等ノ經費ヲモ計上シテ居ラヌヤウナ次第デアル、勿論是ハ今日ニ始ツタコトデハナイ、何レノ時ニ於テモ殖產興業ノ上ニ、教育上ニ、或ハ又電信電話ノ如キモノニ致シマシテモ、幾多新ニ爲サナケレバナラヌ所ノ仕事ハ澤山ニ有ルノデアリマス、鐵道ホド多クノ金ヲ、經營ニナリ建設ニナリ使フテ居ル所ノ仕事ト云フモノハ他ニ一ツモナイノデアリマス、若シ今日ノ經濟ノ狀態ニ於テ、ドウシ

テモ益金以外ニ市場ニ公債ヲ募集スルコトガ出來ヌト言ツタナラバ、茲一年ナリ一年半ナリ我慢スルト云フコトハ少シモ差支ノナイコトデアルト思フノデアリマス、況ヤ先刻御話ノアリマシタ如ク、必シモ其方法ナキニ非ズト云フコトデゴザイマスカラ、斯ル理由ニ依ツテ此國債整理基金令ヲ無意味ニ馬鹿ラシク、眞ニ中外ニ向ツテ自分カラ自分ノ不信用ヲ廣告スルガ如キ改正ト云フモノハ、是非ナイヤウニ致シタイ思フノデアリマス。

○議長(公爵德川家達君) 此際時間ノ延長ヲ宣告イタシマス

〔木村誓太郎君演壇ニ登ル〕

○木村誓太郎君 先刻來反對及贊成ノ御演說ヲ大分拜聽ヲ致シマシテゴザイマス、何レモ此鐵道ノ改良ト云フコトノ必要ナコトハ御認メニナツテ居ルヤウデ、之ニ反對ナサル御方ハナイヤウニ見受ケマスルガ、唯少シク初メニ私ノ耳ニ達シマシタノハ、仲小路君ガ三千八百万圓ト云フヤウナ金ハ、縱シヤ止メテモ此國債整理基金令ハ變ヘテハナラヌト云フ御説ガアツタヤウデアリマス、其他ニハ一向見受ケヌヤウデアリマシテ、此改良ノ必要ト云フコトハ申ス迄モナイコトニ私ハ信ジテ居ルノデアリマス、サテ此鐵道ヲ改良スルニ付テハ其資金ガ不足ヲスル、其不足スル資金ハ何レニ求ムルカ、公債ヲ募集スルカ、又ハ政府ノ財政上ノ遣緑ヲ以テ之ヲ融通スルカト云フ此ニアルノデアリマス、ソレデ先刻來或論者カラ承リマスルニハ、此鐵道ノ如キ生產的ノ事業ハ決シテ租稅ヲ徵收シタ一般ノ財政カラ之ヲ繰入ルベキモノデハナイ、是ハ別段ニドウシテモ公債ヲ募テ遂行スペキ事業デアルト云フ御論ハ大部分承ッタヤウデアリマスルガ、私ハサウハ信ジナインデアリマス、何シロ特別會計ニシロ、一般會計ニシロ、謂ハバ一軒ノ家ニ例ヘテ見レバ、唯奥ノ經濟ト店ノ經濟ト違フダケノ話デアリマス、店ノ資本金ガ足ラヌトキニハ與ニ金ガ餘ツテ居ツテモソレヲ使フコトハナラヌ、是非借入金ヲセニヤナラヌト云フコトハナイ筈デアル、素ヨリ鐵道ト云フモノモ利益ヲ目的トシタ事業デハナイノデアリマス、申ス迄モナク社會ノ交通ノ便利、生産的ノ發達ヲ助クル爲ニ、運輸ノ交通ヲ統一スル爲ニ國家ガ之ヲ所有スルコトニナツタノデアリマス、ソレカラ推シテ見マスルト彼ノ製鐵所ノ如キモ矢張リ同様デアリマス、是ニハドナタモ是非公債ヲ募テセニヤナラヌモノダト云フ御論ハ承ラヌノデアリマス、此製鐵所ノ性質ト何モ別ニ變ツタコトハナイノデアリマス、私ハ此鐵道ノ事業ニ使フ金ハ、一般會計カラ繰入レテハ不道理デアルト云フ御説

ハ、甚ダ私ハ感服イタサヌノニアリマス、又此國債整理基金カラ之ヲ繰入レルコトニシタト云フモノハ、先刻申シマシタル通り、公債ヲ募ルカ、一般會計カラ之ヲ入レルカ、一般會計カラ入レルニハ他ニ財源ガナイカラシテ、已ムヲ得ズ國債整理基金ヲ二千万圓減ジテ之ニ振向ケルト云フコトニナッタノデアリマス、サテ其國債整理基金ヲ三千万圓ニ減ジタナラバ如何ニ國家ノ信用ニ害ガアルカ、其國家ノ信用如何ト云フコトハ定メテ内國ノコトデアルマイ、外國ノコトヲ諸君モ仰セラレルコトデアラウト思ヒマスルシ、私モ此信用如何ト云フコトハ、外國ニ對スル言葉デアリマス、サテ其外國ヘ返ス此國債整理基金カラ返ス金ハ、ドレダケデアルカト申シマスルト、一年ニ一千萬圓ヅシカ是マデ返シテナイノデアル、ソレ以上ハ正貨ノ關係カラシテドウシテモ國庫ニ金ハ餘ツテ居ッテモ返スコトハ出來ナイ、紙デハ返スコトハ出來ナイト云フ困難ガアルノデアル、即チ元金ヲ返スニモ利子ヲ拂フニモ皆正金デナクテハナラヌ、ソコデ我國ハ幸ヒ近頃ハ歐洲ノ戰亂ノ結果モ手傳ウテハ居リマセウガ、幾分カ貿易ノ關係ト云フモノガ昨今幾分カ回復ヲシテ、逆調ヲ順調ニ幾分カ導イテ居ルヤウニ見エマス、是ハ日本ノ國民トシテ一番憂是ハ謂ハユル一軒ノ家ノ内々ノ借貸、兄弟同士ノ貸借デアリマス、私ハ是ハ決シテ眼中ニ置カナイノデアリマス、唯憂フル所ハ外國債ノ十五億圓ト云フモノヲ成ルタケ早ク之ヲ償却セヌコトニハ……若シモ是マデノ如ク貿易ガ逆調デ年々決済金ハ正金デ出サナケレバナラヌ、此國債利子、是モ正金デ拂ハネバナラヌト云フ場合ニ於テ、輸入超過トナッテ此決済金ヲ又其上正金デ出サヌナコトハ是マデノ一千万圓ヲ減ラシタナラバ、サテ大變不信任ニナリマセウ、又今日ノ形勢ヲ見マスレバ、假令三千万圓ニ此減債基金ノ高ヲ減ジマシテモ、外國ヘ返ス金ハ一千万圓以上、成ルベクハ二千万圓、成ルベクハサウ云フコトニシテ貰ヒタイト私ハ希望スルノデアル、ソレニハ成ルベク産業ヲ獎勵シ、輸入品ヲ節シ輸出品ヲ居ルノデアリマス、ソレニハ成ルベク産業ヲ獎勵シ、輸入品ヲ節シ輸出品ヲ精々獎勵ヲシテ此貿易デ取テ來ルヨリ外ニハ仕方ガナイノデアル、我國ノ產出ノ金ト云フモノハ僅ニ一年ニ一千六百万圓位ノモノデアリマシテ、之ヲ以テ此輸出入ノ不平均ヲ決済スルニ足リマセヌ、又外國債利子ニモ足ラヌ

ノデアリマス、是非共此貿易上カラシテ此正金ヲ我國ニ取戻シテ、ソレヲ以テ外國債ヲ償却シテ行カウト云フヨリ外ニナイノデアリマス、ソコデ決シテ此信用不信用ノ上ニ於テハ三千万圓ニ減ジタカラト云フテ、矢張リ一千万以上ニテ居ル、縱シヤ之ヲ是マデノ如ク五千万圓ト致シタ所ガ、五千万圓ガコトハ措イテ三千万圓モ返スコトハ覺束ナイ、精々一千万圓、二二千万圓モ返ス位ノコトコソ出來ヌノデアル、ソレ故ニ此三千万圓ニシテ……是マデノ如ク五千萬圓ト云フ名ハ高イモノノ、其實五千万圓債却ガ出來得ナイノデアル、一方デ廉イ利子ノモノヲ返シ一方デハ高イ利子ノモノヲ借りリテ返スノデアル、其實決シテ五千万圓ヅシ債却ハ出來テ居ナイ、ソレハ即チ公債ノ總額ヲ御調ベニナッタラ能ク分ルコトト信ジマス、ソレデ私ハ諸君ガ五千万圓ニ是非セヌケレバナラヌト御述ベニナルノハ内國債ヲ返セト云フ議論ニ歸著スルコトト私ハ思ヒマスガ、サウ努メテ兄弟同士借合ヒヲシテ居リマスル内國債ヲ苦心シテ返スヨリハ、基金ガアッタナラバ私ハ成ルタケ産業獎勵費ニ使フテモラヒタイ、産業ヲ獎勵シテ此輸出入ノ不平均ヲ直シテ、成ルタケ輸出ヲ殖ヤシテ金ヲ外國カラ取ルヤウニスルノガ一番今日ノ急務、焦眉ノ急デアルト私ハ信ジテ居ルノデアリマス、先刻來澤柳君モ御述ベニナリマシタガ、此唯今議ニ上ッテ居ル議案ハ豫算ニ關係ノナイモノデアルト御述ベニナリマシタガ、既ニ豫算總会ニ於キマシテ、若シ此議案ガ此所デ否決ニナッタラバ、此二千万圓ト云フモノガ大藏省所管ニアルモノヲ削ル、即チ消滅スルモノト看做スト云フコトノ條件附豫算總會モ決議ニナッテ居ル、サスレバ此豫算ノ上ニ於テ關係ガナイスルト議論ガアッタヤウデアリマスガ、此問題ハ即チ前議會ノ解散ノ一つノ理由トナッテ居ル問題デアリマシテ、輕々ニ本院ニ於キマシテモ筆記、速記錄ヲ見マスルモノデアリマス、又段々衆議院ノ方ニ於キマシテモ筆記、速記錄ヲ見マスルト議論ガアッタヤウデアリマスガ、此問題ハ即チ前議會ノ解散ノ一つノ理由トナッテ居ルノデアリマス、必ズヤ又衆議院ト衝突スルコトニナラウカト云フ懸念ヲ私ニ於キマシテハ、必ズヤ又衆議院ト衝突スルコトニナラウカト云フ懸念ヲ私ハ持ツテ居ルノデアリマス、相成ルベクハドウカ本案ハ兩案共可決アラムコトヲ私ハ希望シテ止マヌノデアリマス

〔男爵目賀田種太郎君演壇ニ登ル〕

○男爵目賀田種太郎君 本員ハ至フテ簡單デゴザイマス、十年前ニハ此事ニ付

タニ由ル、今ハ荏苒推移シテ唯々現在ヲ彌縫シテ將來ヲ顧ミヌ、語ヲ換ヘテ言ヘバ責ヲ重ンゼザルト云フコトニナツタノデス、頃日來政府ノ言フ所ヲ見ルニ唯獨リ此無責任ノ間ニ於テ、私ノ考デハ鐵道院總裁ナルモノハ稍、責任ヲ知ラルルト思ヒマス、無論政府委員トシテノ答辯ハ宜シカラヌ、總裁トシテハ一理アル、總裁ニ聽ケバ鐵道ノ當局ハ此資金ノ性質如何ヲ問ハズト云フコトニナツテ居ル、年限乃至償却ノコトハ本官ノ考フル所ニ非ズ、大藏省ノ知ル所ナリト言フ、成程政府委員ノ答辯トシテハ當ヲ得マセヌガ、鐵道院ノ方カラ見レバ唯資金ヲ得タイ、寧ロ其口氣ヨリ反面ヲ察シマスレバ、評判ノ惡イ租稅ノ貸附ナドヨリモ公債ニ依リタイト云フコトヲ言明セラレタモノト私ハ推測シテ可ナリト思フ、故ニ鐵道院總裁ハ飾ラヌ、實ヲ言フ、之ニ對シテ大藏大臣ハ元來鐵道ト債務者ト未ダ契約ノ存セザルモノヲ偶、本員ノ問ニ對シテ五年ト言ハルルガ、後ニ行ッテハソレハ普通ノ例ダ、或ハ鐵道院ハ能ク知ラヌカモ知レヌ、斯ウ言ハレル、又更ニ總理大臣ニ問ヘバサウ云フ細ヤカナコトハト言ハルル、何ヲ以テ細ヤカト言フ、是ハ根本ノ經營ノ基礎ダ、決シテ細ヤカトハ言ヘヌ、サウ云フ譯デ鐵道院總裁ハ飾ラズ、大藏大臣及總理大臣ハ言ヲ飾ル、之ヲ十年前ノ藏相遞相ノ争デ、責ヲ重ンゼラルニ比スレバ其差如何ゾヤ、是ガ第一ノ一ツノ理由、今一ツハ此現行法ノ國債整理基金ト云フモノハ抑、何ノ爲ニ設ケラレタト云フ古ヘヲ見タラバ能ク明カデアラウト思フ、抑、明治三十七年二月七日ニ於テ未ダ開戦ノ詔勅ナキニ當ッテ政府ハ直チニ財務官ヲ派シ公債募集ノコトヲ圖ツタノデアリマス、其時ニ成ルベクハ無擔保デ公債ヲ募リタイ、併ナガラ日本モ非常ナル場合ニ於テアルノデアル、若シヤ必要ナラバ擔保ハ已ムヲ得ヌ、擔保ハ誠ニ遺憾ナコトデアルガ已ムヲ得ヌ、先ヅ其時ニ關稅ノ擔保トシタ所デ、ソレニ付テ遂ニ關稅ノ擔保ヲ要スルコトニナツテ、引續イテ三十八年、更ニ尙ホ募債スルニ當リ又專賣收入ノ擔保ヲ要スルコトニナツタ故ニ、現行法ハ遠ク三十七年二月七日ノ日ニ胚胎シテ居ル、是即チ償却ヲ急グノ法律ナリ、償還ヲ急グハ國民國家ノ精神ナリ、何トナレバ今ノ帝國ハ擔保附ノ公債ヲ有スルト云フコトハ失態デアリマス、故ニ政府ノ當然ナル權利トシテ、又國民ノ希望トシテ一日モ早く是ガ解除ヲ求ムルノハ當然、是現行法ノ命ズル所以デアル、成程將來借換ノ困難ト云フコトハ應聞クヲ得ルガ、借換ノ出來ルヤウニシテ置カズニ、剩サヘ將來國民ノ負擔重キヲ加フルニ於テ、財政ノ基礎鞏固ナラザルノ時ニシテ、借換ヲ容易

ニスルト云フコトハ是ハ困難、然ラバ大正四年ニ起ル此五億五千万ニ對スル抵當解除ト云フコトハ當ノ當局者其他ハ之ニ對シテ借換ノコトノミヲ言ハルガ、本員ノ見ル所ハ三十七年以來國家ノ以テ憂トスル此抵當解除ハドウスナイト思ヒマス、是ハ鐵道ノ病氣デアル、國債整理基金ハ態々其病ヲ頑タムトスルモノデアル、其病ヲ頑タムトスルノ理由ハ、本員ノ見ル所ヲ以テスレバ此倉卒ノ際ニ於テ將來起ル減稅ノ門ヲ塞ガムノ意ニ出タリト認メマス、委員トスルモノデアル、其病ヲ頑タムトスルノ理由ハ、本員ノ見ル所ヲ以テスレバ會ニ於テ成ルベク早ク之ヲ元ニ復ヘスト云フノ希望ヲ以テシタ、一應宜シウゴザイマス、去リナガラ既往ニ於ケル增師ニ對スル希望、若クハ又廣軌ノ經畫ニ對スル希望、一モ政府ガ之ヲ遵奉セシヤ否ヤ、何時デモ因循姑息、常ニ現狀ヲ濫リニシテ之ヲ遷延スル、從來ニ於テ然リ、此希望ハ殆ド私ハ役ニ立タヌモノデアル、顧ミルニ帝國ノ財政ハ遠ク松方、井上二侯、近クハ曾根子、桂公、建設ニ、用意ニ、擴張ニ各、動業ヲ舉ゲラレタ、今之ヲ危殆ニ陥レムトスルハ國トシテ無責任ナリト考ヘマス

○男爵小澤武雄君 本員ハ討論終結ノ動議ヲ提出シマス

○男爵有地品之允君 討論終結ニ贊成デス

〔「其他」贊成ト呼フ者多シ〕

○議長(公爵德川家達君) 討論終局ノ動議ニハ二十人ノ賛成ヲ要シマス

ト認メマス、採決ヲ致シマス、討論終局ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 過半數ト認メマス、兩案ノ採決ノ方法ニ付キマシテ無記名投票並ニ記名投票兩様ノ要求ガ出デマシタ、之ニ付テ採決ヲ致シマス、先づ記名投票ヲ問題ニ供シマス、記名投票ヲ可トセラル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 過半數ト認メマス、念ノ爲ニ諸君ニ申上ゲマス、本院規則第百八條ニ依リマシテ、問題ヲ可トセラル諸君、即チ本案ノ第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ハ白色票、二讀會ヲ開クベカラズトセラル諸君ハ青色票ヲ投票函ニ御投入ニ相成ルコトヲ望ミマス、先刻申上ゲマシタカラ

諸君ハ御承知ト存ジマスガ、兩案トモ問題ニナツテ居リマス、本日ハ御登壇ヲ願ヒマシテ此場所デ御投票ヲ願ヒマス、是ヨリ氏名點呼ヲ行ヒマス

〔記名投票執行〕

○議長(公爵徳川家達君) 投票漏レハゴザイマセヌカ、投票漏レハナイト認メマスカラ開票イタシマス

○議長（公爵徳川家達君）記名投票ノ結果ヲ御報告イタシマス、投票總數ニ百三十八、白色票ヲ投ジタルモノ百九十一、青色票ヲ投ジタルモノ四十七、故ニ兩案トモ第二讀會ヲ開クベキモノト決シマシタ

〔參照〕

贊成者氏名

侯爵二條基弘君	伯爵大原重朝君	親家君	侯爵花山院	伯爵松浦厚君	伯爵大原重朝君	親家君	侯爵細川慶久君	公爵德川
子爵加藤山脇泰秋君	子爵仙石政定穀君	子爵野宮定穀君	子爵山口弘達君	子爵牧野貞寧君	子爵久留島通簡君	子爵實吉安純君	子爵土御門晴榮君	子爵稻垣太祥君
子爵柳原義光君	子爵尾崎三良君	子爵裏松良光君	子爵藤井行德君	子爵一柳末徳君	子爵大田原一清君	子爵京極高徳君	子爵黒田和志君	子爵大宮以季君
子爵伏原宣足君	子爵加納久宜君	子爵岡部長職君	子爵唐橋在正君	子爵鍋島直虎君	子爵松平康民君	子爵大宮以季君	子爵唐橋在正君	子爵黑田和志君
子爵正親町實正君	伯爵清棲家教君	子爵岡部長職君	子爵唐橋在正君	子爵鍋島直虎君	子爵松平康民君	子爵大宮以季君	子爵唐橋在正君	子爵正親町實正君
子爵清閑寺經房君	侯爵立君	子爵岡部長職君	子爵唐橋在正君	子爵鍋島直虎君	子爵松平康民君	子爵大宮以季君	子爵唐橋在正君	子爵正親町實正君
子爵伏原宣足君	子爵加納久宜君	子爵岡部長職君	子爵唐橋在正君	子爵鍋島直虎君	子爵松平康民君	子爵大宮以季君	子爵唐橋在正君	子爵正親町實正君
子爵正親町實正君	侯爵立君	子爵岡部長職君	子爵唐橋在正君	子爵鍋島直虎君	子爵松平康民君	子爵大宮以季君	子爵唐橋在正君	子爵正親町實正君
子爵正親町實正君	侯爵立君	子爵岡部長職君	子爵唐橋在正君	子爵鍋島直虎君	子爵松平康民君	子爵大宮以季君	子爵唐橋在正君	子爵正親町實正君

子爵吉田	清風君	子爵本多忠鋒君	子爵豊岡圭資君
子爵片桐	篤磨君	子爵秋月種英君	子爵伊東祐弘君
子爵池田	政時君	子爵松平乘長君	子爵野村益三君
子爵立花	種忠君	子爵丹羽長徳君	子爵清岡長言君
男爵堤	正誼君	男爵小澤武雄君	淺田徳則君
平山	成信君	男爵有地品之允君	小野田元熙君
男爵高木	兼寛君	男爵石黒忠惠君	小松原英太郎君
男爵杉溪	義臣君	男爵中村雄次郎君	男爵中川興長君
男爵關	義長君	男爵沖原光孚君	男爵山名義路君
男爵原口	兼濟君	男爵村木雅美君	小松謙次郎君
男爵北島	齊孝君	男爵内田正敏君	男爵肝付兼行君
古市	公威君	男爵坂井重季君	男爵太秦忠純君
男爵阪井	重季君	男爵藤井包總君	男爵山内長人君
男爵藤井	四方藏君	男爵勝田斌君	男爵南岩倉具威君
男爵勝	田四郎君	男爵中溝德太郎君	男爵平野長祥君
男爵真鍋	義五郎君	男爵伊東義五郎君	男爵梨羽時起君
男爵勝	田四郎君	男爵小早川四郎君	男爵吉川重吉君
男爵青山	元君	男爵毛利五郎君	男爵神田乃武君
男爵若王子	文健君	男爵德川厚君	男爵藤大路親春君
男爵北大路	實信君	男爵眞田幸世君	男爵千秋季隆君
男爵神山	郡昭君	男爵長松篤棐君	男爵安場末喜君
男爵清水	資治君	男爵本多政以君	男爵本田親濟君
男爵島津	久賢君	男爵岩倉道俱君	男爵黑田長和君
男爵二條	正麿君	男爵鄉誠之助君	男爵安藤直雄君
男爵東郷	安君	石井省一郎君	男爵藤堂高成君
谷森	真元君	湯地定基君	西村亮吉君
中島		原保太郎君	何禮之君

藤田 四郎君	岡田 良平君	山田 春三君
仁尾 惟茂君	木内 重四郎君	加太 邦憲君
阪本 彰之助君	木場 貞長君	馬屋原 二郎君
下條 正雄君	安立 綱之君	細谷 峰太郎君
細谷 峰太郎君	瀧川 辨三君	瀧川 辨三君
石橋 謹二君	石橋 謹二君	石橋 謹二君
佐々田 慢君	佐々田 慢君	佐々田 慢君
竹村與右衛門君	竹村與右衛門君	竹村與右衛門君
尼崎 伊三郎君	田中 源太郎君	小野 光景君
日高 榮三郎君	植竹三右衛門君	木場 貞長君
伊藤 由太郎君	廣瀨 满正君	木村 誓太郎君
堀 正一君	松尾 廣吉君	武石 橋次君
侯爵德川 賴倫君	土居 通博君	伊澤 修二君
伯爵奥平 昌恭君	安田 善三郎君	木村 誓太郎君
伯爵島津 忠麿君	木本 源吉君	武石 橋次君
宮本 小一君	高崎 三重郎君	伊澤 修二君
深野 一三君	木本 源吉君	木村 誓太郎君
仲小路 康君	高崎 三重郎君	木村 誓太郎君
渡森 正元君	木本 源吉君	木村 誓太郎君
福永 吉之助君	高崎 三重郎君	木村 誓太郎君
勝田 主計君	木本 源吉君	木村 誓太郎君
安樂兼道君	高崎 三重郎君	木村 誓太郎君
徳富猪一郎君	高崎 三重郎君	木村 誓太郎君
江原素六君	高崎 三重郎君	木村 誓太郎君
中村治兵衛君	高崎 三重郎君	木村 誓太郎君
森田庄兵衛君	高崎 三重郎君	木村 誓太郎君
反對者氏名		

- 公爵德川慶久君豫備金支出外數件ニ關スル特別委員會ヲ開キタウゴザイ
マスカラ退席ノ要求ヲ致シマス
- 議長(公爵德川家達君) 德川特別委員長ノ要求ハ許可イタシテ御異存ゴザ
イマセヌカ
- 「異議ナシ」ト呼フ者アリ
- 議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス
- 子爵前田利定君 直チニ第二讀會ヲ開クト云フ動議ヲ提出イタシマス
- 伯爵大原重朝君 贊成
- 〔其他「賛成」ト呼フ者アリ〕
- 議長(公爵德川家達君) 兩案トモデアリマスカ
- 子爵前田利定君 左様デアリマス
- 子爵堀河護麿君 贊成
- 議長(公爵德川家達君) 兩案ノ第二讀會ヲ直チニ開クト云フ前田子爵ノ動
議ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス
- 子爵堀河護麿君 起立者 多數
- 議長(公爵德川家達君) 過半數ト認メマス
- 議長(公爵德川家達君) 是ヨリ兩案ノ第二讀會ヲ開キマス、全部ヲ問題ニ
供シマス、全部原案ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス
- 議長(公爵德川家達君) 過半數ト認メマス
- 子爵前田利定君 直チニ第三讀會ヲ開クト云フ動議ヲ提出シマス
- 伯爵大原重朝君 贊成
- 〔其他「賛成」ト呼フ者アリ〕
- 議長(公爵德川家達君) 直チニ兩案ノ三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセ
ヌカ
- 議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス
- 議長(公爵德川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開キマス、兩案トモ第二讀會決
議ノ通リ御異存ゴザイマセヌカ
- 議長(公爵德川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開キマス、兩案トモ第二讀會決
議ノ通リ御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」と呼フ者アリ」

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第四、第五、第六ノ第一讀會ノ續、委員長報告……委員長寺島伯爵

作業會計法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正四年六月六日

右特別委員長
伯爵寺島誠一郎

貴族院議長公爵徳川家達殿

造幣局特別會計法案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正四年六月六日

右特別委員長
伯爵寺島誠一郎

貴族院議長公爵徳川家達殿

貨幣整理資金特別會計法廢止法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正四年六月六日

右特別委員長

伯爵寺島誠一郎

貴族院議長公爵徳川家達殿
〔伯爵寺島誠一郎君演壇ニ登ル〕

○伯爵寺島誠一郎君 日程ニ上リマシタ作業會計法中改正法律案、並ニ貨幣整理資金特別會計法廢止法律案、造幣局特別會計法案、此三案ノ特別委員會ニ於キマスル結果ヲ御報告イタシマス、二案ハ密接ノ關係ヲ有ッテ居リマスル故ニ東ネテ御報告シタイト存ジマス、作業會計法中改正法律案提出ノ理由ヲ承リマスルノニニツアルノデアリマス、其ニツノ理由ノ第一ヲ申述ベルニ際

シマシテ、自然ト貨幣整理資金特別會計法廢止法律案、並ニ造幣局特別會計法案此兩案提出ノ理由ガ含マレテ居ルコトニナリマスコトヲ申上ゲテ置キマス、第一ノ理由ト致シマスノハ特別會計整理ノ關係カラ此案ヲ提出シタト云フコトデアリマス、第二ノ理由ハ專賣局ノ運轉資本ヲ増加スル其關係カラ提出シタサウデアリマス、第一ノ特別會計ノ整理ヲシナケレバナラヌコトノ説明ヲスルニ際シマシテハ、又之ヲニツニ分ケマシテ第一條中ニ改正ニナッテ居リマス第一ノ削除、第四ノ削除ト、順ヲ追ウテ分ルコトトナリマスカラ其段ヲ豫メ御注意ヲ願ヒマス、特別會計ノ數ハ中ミ澤山アリマシテ、豫算全部ノ組織ノ上ニ甚ダ複雜ノ關係ヲ有ツテ來ルノデアリマス、隨ツテイツノ時期力ニ於テ之ヲ整理シタイト云フコトハ政府ニ於テ常ニ考ヘテ居ラレタコトデアリマス、其故ヲ以チマシテ六ツノ特別會計ヲ廢止スルコトガ適當デアルト云フコトニ歸著シタノデアリマス、此兩案ハ其整理ノ一端ヲ示シテ居ルモノデアルノデアリマス、先程申シマシタ通り、第一條中第一ノ削除ハ何ヲ含ンデ居ルカト申シマスト造幣局ノコトデアリマス、是ハ貨幣整理資金特別會計ハ造幣局ノ一ノ資金トスルコトニ變ヘマシタノデ、即チ別ニ案ヲ出シテアル所以デアルノデアリマシテ、單ニ削除シタノデアリマス、此方ハ爲ニ其方ノ規定ヲ存續シテ置ク必要ガナイノデ遂ニ削ルコトニナツタノデアリマス、第四ノ方ノ削除ハ何デアルカト申シマスト、是ハ電信燈臺用品製造所ノ特別會計ヲ全然廢止スルト云フコトデアリマス、何故ニ廢止スルヤウニナルカト申シマスト、民間ノ供給デ十分デアル、滿足デアル、故ニ之ヲ廢止シテモ差支ナイト斯ウ云フコトナノデアリマス、デ是ガ第四ノ削除ノ方ノコトデアリマス、次ニ專賣局運轉資本增加ニ關係ヲ致シマスノハ何デアルカト申シマスト、從來ノ此作業法ニ依リマシテ八百万圓ト云フモノヲ規定シテアルノデアリマス、併シ實際ハ政府ヨリ承ル所ニ依リマス、七百万圓、デアッタサウデアリマス、此七百万圓ノ据置運轉資本ヲ專賣局ノ事業發展ノ爲ニ増加シナケレバナラヌノデアリマス、即チ法文ノ上ハ二百万圓、實際ノ運轉資本ノ上カラハ三百万圓増加スルノ必要ガアルノカラ起ツタノデアリマス、此金ハドウシテ得ルカト申シマスト、是ハ專賣ノ益金カラ補助スルノデ、追加豫算ノ方ニ計上シテ出テ居ルノデアリマス、ソレニ關聯イタシマシテ法律其モノヲ改正シナケレバナラヌノデ、即チ之ヲ千万圓即チ八百万圓ニ對シテ二百万圓ヲ足シマシテ、千万圓トシテ置カネバナラヌコトニナルノデアリマス、大要右ノ通り政

府ヨリ承リマシテ、委員會ニ於キマシテモ、其理由トスル所ヲ承認イタシテ、別ニ質問モナク委員會デハ之ヲ可決確定イタシマシタ次第アリマス、議場ニ於キマシテモ何卒御賛成下サイマシテ可決アラムコトヲ希ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ガゴザイマセヌケレバ三案トモ束ネテ問題ニ供シマス

○伯爵大原重朝君 唯今ノ委員長ノ報告ハ極ク明瞭ニシテ簡単ナモノデゴザイマスカラ、三案一モ讀會ヲ省略シテ可決アラムコトヲ希望イタシマス

○伯爵寺島誠一郎君 賛成

○江木千之君 賛成

○子爵山口弘達君 賛成

○子爵前田利定君 賛成

○男爵高木兼寛君 賛成

○男爵内田正敏君 賛成

○谷森真男君 賛成

○男爵原口兼濟君 賛成

○田中源太郎君 賛成

○男爵眞鍋斌君 賛成

○平山成信君 賛成

○石井省一郎君 賛成

○男爵武井守正君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 大原伯爵ノ讀會省略ノ動議ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 三分ノ二以上ト認メマス、三案トモ委員長ノ報告通リデ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○伯爵寺島誠一郎君 私ハ此際治水費ノ特別會計外二件ノ特別委員會ヲ開キ

シタイト思ヒマス、之ヲ議場ニ御諮ヲ願ヒマス

○伯爵林博太郎君 此際議事日程ヲ變更シテ無盡法案竝ニ外一件ノ報告ヲ致

ヲ希望イタシマス
○議長(公爵徳川家達君) 寺島伯爵ノ特別委員會へ退席ノ要求ハ許可イタシテ御異存ハゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 林伯爵ノ動議ニ賛成イタシマス

○議長(公爵徳川家達君) 林伯爵ノ議事日程變更ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 少シ御待チ下サイマシ、是ヨリ無盡業法案ノ第一

讀會ノ續ヲ開キマス、委員長報告……議長ガ申落シマシタ、無盡業法案外二件ノ第一讀會ノ續ヲ開クト御承知ヲ請ヒマス
無盡業法案

右別冊ノ通修正セリ依テ及報告候也

大正四年六月八日

右特別委員長

伯爵林 博太郎

〔特別委員ノ修正ニ係ル條ノミヲ印刷シ其ノ他ハ之ヲ略ス——ハ削除ノ符號ナリ〕

無盡業法案

第六條 無盡業ノ營業區域ハ道府縣ノ區域内ニ於テ之ヲ定メ會社ニ在リテ

ハ定款中ニ其ノ他ノ者ニ在リテハ事業方法書中ニ之ヲ記載スヘシ

無盡業者ハ其ノ營業區域ヲ超エテ營業所若ハ代理店ヲ設置シ又ハ勸誘員

若ハ募集員ヲ派スルコトヲ得ス但シ營業區域外ノ者ヨリ申込アル場合ニ於テ之ト取引ヲ爲スコトヲ妨ケス

第十條 無盡業ヲ營ム株式會社カ會社財產ヲ以テ其ノ債務ヲ完済スルコト能ハサルニ至リタルトキハ無盡契約ニ基ク會社ノ債務ニ付各取締役ハ連帶シテ其ノ辨償ノ責ニ任ス但シ取締役カ任務ヲ怠ラサリシコトヲ證明シ

タル場合ハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ責任ハ取締役カ退任ノ登記ヲ爲シタル後二年間仍存續ス

貯蓄銀行條例中改正法律案
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正四年六月八日

右特別委員長

伯爵林 博太郎

貴族院議長公爵德川家達殿
〔伯爵林博太郎君演壇ニ登ル〕

○伯爵林博太郎君 私ハ簡単ニ無盡業法案竝ニ外二件ノ委員長ト致シマシテ
委員會ノ經過ヲ御報告ニ及ビマス、始メニ一言御注意イタシテ置キマスガ、
本案ハ頗ル複雜イタシテ居リマスノデ、十分慎重審議ヲ經ラレタケレドモ、色
色修正スル點モ起リマシタノデ、從ツテ唯今ノ無盡業法案竝ニ貯蓄銀行條例中
改正法律案ノ二ツヲ修正又ハ可決イタシマシタガ、殘リノ營業稅法中改正法
律案ノ方面ハ尙ホ委員會ニ於テ審理中デゴザイマスカラ、左様御承知ノ上御
聽取リヲ願ヒマス、差當リ報告ノ都合上カラシマシテ、貯蓄銀行條例中改正
法律案ノ方ヨリ御話ヲ致シマス、貯蓄銀行法中改正法律案ノ此度改正ヲ必要
ト致シマス重モナル理由ハ凡ソ二ツアリマスガ、ソレハ近時普通ノ銀行業者
ガ此貯蓄銀行ノヤッテ居ル 貯蓄ノ方法デ勸誘ヲシマシテ、色ムノ手段ヲ講ジ
テ、サウシテ貯蓄銀行ト極メテ分別ノ出來難イコトヲヤッテ居ルノデ、此際
ソレヲ判然分別スル必要ヲ感ジタト云フコトガ一ツデ、尙ホ一ツハ今マデハ
大藏大臣ノ權限ガ此邊ノ所マデ及ンデ居ラヌ、從ツテ例ヲ舉ゲテ申シマスレ
バ、二十年乃至三十年ト云フ長年月ニ涉テノ預金ヲ勸誘シマシテ、サウシテ
ソレガ二十年三十年ノ先キニナツテ、果シテ是ガ還ヘセルカドウデアルカト云
フコトハ誠ニ是ハ實ニ疑フ挿ムベキモノデアルノニ、而カモサウ云フコトヲ
シテ恬トシテ顧ミナイデヤッテ居ル者ガアツテモ、大藏大臣ハ之ニ對シテ定款
ヲ改正シ、若クハ規則ヲ改正シテ是ガ改善ヲ圖ルトカ、之ヲ變更セシムルト
云フヤウナ權限ヲ有ツテ居ラナイノデアルカラ、之ヲ修正シテ此度ノ法律案ヲ
出シタ次第デアル、之ヲ審議シマシタ所ガ誠ニ此點ノ所ヲ明カニシタモノデ
アリマスカラ、之ニ對シテ何等疑點ヲ挿ムベキコトハナイモノト認メマシ

テ、委員會ハ之ヲ可決イタシマシテゴザイマス、次ニ無盡業法案ニ移ツテ御話
ヲ致シマスレバ、此法律ハ大分複雜イタシテ居リマス、元來無盡業母子講ト
云フモノハ藤原時代ヨリアッタモノデアツテ、大變久シイ歴史ヲ有ツテ居ツテ、
大ニ經濟上ノ問題ニナツテ居ル、然ルニ拘ラズ今日マデ無盡業法ト云フモノガ
出テ居ラナイト云フコトデアリマシテハ、御承知ノ通リ弊害ノ頗ル多イ所ノ
無盡業母子講ニ對シテハ制裁ヲ加ヘルコトガ出來ナイ、善男善女ヲ誘ッテ大
ニ害ヲ被ルコトヲ見スル見逃ガシテ居ラナケレバナラヌト云フ場合デアリ
マスカラ、此法律ヲ作リタイト云フノハ誠ニ大切ナコトデ、時宜ニ適シタル
モノト考ヘタノデ提出サレタノデアリマスガ、尙ホ詳細此案ノ出マシタ動機
ニ付キマシテ述べテ見マスレバ、掛金ノ定メ方ガ今マデ一向統一シテ居ラヌ
カラ、此際統一サセタイト云フコトデ、此無盡業母子講等ノ弊害ハ無盡業者
ニ大變アルコトデアリマスカラ、無盡業者ノ弊ヲ矯メルト云フコトハ此時機
ニ肝要ナ點デアリマス、ソレカラスウ云フ業務ヲ執ル所ノ者ハ色ム兼營ノ仕
事ヲシテ居ツテ、今日曖昧ニ法網ヲ潛ツテ頗ル惡イコトヲ働イテ居ルノヲ矯メ
ムガ爲ニ兼營ヲ禁止スルト云フコトハ、更ニ掛金ヲ集メタモノヲ色ムノ不正
ナル方面ニ融通スル者ガアルノデ、ソレ故ニ此際掛金ハ有價證券カ其他確實
ナコトニ運用サセルト云フコトデ、今マデハ積立金ニハ何等制限ガナカッタ
モノヲ此際其積立金ヲ高ク取ツテ、サウシテ確實ナル會社若クハ無盡業者タ
ラシムルコト、會社ガ自分ノ經營シテ居ル所ノ無盡ニ自ラ這入ルコトヲ禁ジ
タコト、掛金ガ兎角集マラナイ仕事デアリマス、其集マラナイト云フコトヲ
口實ニシテ其外ノ掛金ヲ爲シタ者ニ對シテ拂ツテヤラナイト云フ弊害ガ是
デ澤山アツタノヲ、之ヲ正シマシタコト、更ニ第六條ニアリマス必要ナ條件デ
アリマスケレドモ、營業區域ヲ制限シテ、サウシテ信用アル人間ト信用ノナ
イ人間ヲ地方長官ガ考查、審査スルコトガ出來ルト云フ便宜ヲ圖ツタ點、是等
ノ點ヲ參酌シマシテ此法律ヲ出シタト云フコトデアリマスノデ、ソレニ付キ
マシテ慎重審議ヲ重ネマシタノデアリマス、此法律ニ付キマシテ今日信託業
其他ノ業務ニ從事スル者ハ、此度ノ法律ノ制裁ヲ受ケル者ガ多少ゴザイマ
ス、ソレハ俄ニ業務ノ變更ヲサセルト云フコトハ今日ノ經濟狀態ニ於テ大變
反動ヲ來タスコトデゴザイマスカラ、之ヲ救濟スル爲ニ五箇年間ノ猶豫ヲ與
ヘテ、五箇年間ニ於テ漸次自分ノ事業ヲ罷メ、若クハ無盡業者ニ推移スルト

云フ猶豫ヲ與ヘタ次第デアリマシテ、本案提出ノ理由ニ付キマシテ政府委員ノ間ニモ多少矛盾シタ所ノ議論モナイノデハナイケレドモ、頗ル時局ニ適合シテ、此際、至急ヲ要スル法案デアリマスカラ、少シク委シク述べテ見マスレバ、此四月デアッタサウデアリマス、地方長官ガ幸ニ東京ニ集ツタ時機ヲ利用シテ、大藏省ヨリ本案ヲ示シテ地方ノ狀況ニ適スルヤ否ヤヲ諮問サレタ所ガ、是ハ頗ル時宜ニ適シタ法案デアルト云フコトニ滿場一決シタノダサウデアリマス、尙ホ實業者其他日本銀行ナドニ於テモ之ヲ調ベマシタサウデアリマスガ、此法案ニ對シテハ頗ル一日モ早ク之ヲ實行スルト云フコトニ付テ異議ガナ、從ツテ之ヲ全然贊成スルト云フヤウナ意見デアッタサウデアリマス、依ツテ委員會ニ於キマシテモ、時日ハ少イノデアリマスガ、慎重審議ヲ重ネマシテ衆議院送付ノ案ニ付テ其二ツダケラ修正シマシテ可決イタシマシテゴザイマス、今簡單ニ其修正シマシタ要點ヲ御話イタシマス、御手許ニ唯今廻シマシタ本案中ノ第六條、第十條、第六條ノ第二項ニ於テ「無盡業者ハ其ノ營業區域ヲ超エテ營業所若クハ代理店ヲ設置シ又ハ勸誘員若クハ募集員ヲ派スルコトヲ得ス但シ營業區域外ノ者ヨリ申込アル場合ニ於テ之ト取引ヲ爲スコトヲ妨ケス」トスウアリマス、之ヲ本文ト御對照ニナリマスト直チニ分リマスガ、此衆議院ニ於テ附加ヘマシタ所ノ第二項ハ寧ロ法文ヲ複雜ナラシムルニ止ツテ、何等ノ明瞭ナル解釋ヲ與ヘルコトハ出來ナイノミナラズ誤解ヲ招キ易イ條文デアル、即チ道府縣内ニ於テ營業ヲ當局ニ届ケ、願ヒヲ出シテ、サウシテ許サレテ居ル其無盡業者ガ、自分ノ營業區域外ニ於テ勸誘員ヲ派シタリ店ヲ造ルコトハ出來ナイ、ケレドモ先方カラサウ言ツテ來タトキハ之ヲ受ケテモ差支ナイト云フコトニナレバ、此本條ノ規定ト矛盾シ頗ル是ガ骨抜ノ條ニナッテ仕舞ヒマシテ、頗ル其意義ガ徹底シナイ、此故ニ此委員會ニ於キマシテ此案……此條項ハ無用デアリマスカラ之ヲ除クト云フコトニ一決イタシマシタ、次ニ第十條ノ但書ノ所ニ「但シ取締役カ任務ヲ怠ラサリシコトヲ證明シタル場合ハ此ノ限ニ在ラス」、無盡業者ニ於テ何等カ不都合ナコトヲシタトキ、其責ニ任ズルハ適當デアルガ、取締役ガ任務ヲ怠ラザルコトヲ證明シタラバ責任ガ無クナツテ仕舞フト云フコトデゴザイマス、會社員ガ我ミハ頗ル勤勉シテ業務ニ從事シテ居ツタ、少シモ懈怠シテ居ラナカッタノデアルニモ拘ラズ、計算ニハ不足ラ生ジテ來タカラ已ムヲ得マセヌト云フコトヲ述ベタ場合ニハ、其責任ヲ問フコトハ出來ナイ、此故ニ斯ノ如キ但書ハ無用ノ長物デアルノミ

ナラズ、アレバ却ツテ犯罪者ヲ増加スル虞ニアリト委員會ハ認メマシテ、全會一致ヲ以テ此但書ヲ削リマシタノデゴザイマス、其外ノ點ニ付キマシテハ衆議院ヨリ提出シマシタ通り可決イタシマシテゴザイマス、唯今ノ此二ツノ案ガ問題ニナリマシテゴザイマス、何卒慎重審議ノ上、委員會ノ報告通り御可決アラムコトヲ希望イタシマス、是ニテ簡單ニ委員長報告ヲ了リマス

〔政府委員森俊六郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(森俊六郎君) 簡單ニ政府ノ考ヘマス所ヲ申上ゲテ置キタイト考ヘマス、第六條ノ二項ノ入リマシタノハ、此營業者ハ積極的ニ進ンデ勸誘ヲ致シマストカ、或ハ募集員ヲ派遣イタシマストカ云フコトヲ絕對ニ嚴格ニ禁止イタシマス積リデアリマス、併ナガラ前日大藏大臣ガ此席ニ於テ申述ペマシタ通り鄰縣相接シテ居リマス場合ニ、外ノ縣ノ無盡業者ガ非常ニ健全ナル經營ヲシテ居リ、自分ノ縣ノ無盡業者ハ比較的健全デナイ、又ハ直グ路ヲ一ツ距テテ、向側ニ他縣ノ無盡業者ノ代理支店等ガアリマシテ健全ニヤツテ居ル、自分ノ方ノ縣ノ無盡業者ハ或ハ一二三里距ツテ居ルト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、加入者ノ側カラ希望イタシマシテ申込ヲ致シマシタ場合ハ、ソコハサウ營業區域ヲ其點ニ於テヤカマシク言ハヌデモ、進ンデ勸誘イタシマスコトハ絶對ニ出來マセヌケレドモ、加入者ノ便利デアリマス場合ハ、ソレヲ許シテ宜カラウト云フ趣意デ修正ニナリマシタノデ、第六條ノ根本ノ精神ヲ全然崩スト云フコトニハナラナイト考ヘルノデアリマス、殆ド六條ニ書イテアルコトノ註釋ヲ加ヘマシテ、明カリ之ヲシタト云フコトニナラウト思ヒマスノデ、若シ此六條ノ一項ダケヲ殘シテ置キマシテ、二項ガアリマセヌケレバ營業區域内ニ住所ヲ有スル者デナケレバ或ハ加入ガ出來ナイト云フヤウナ解釋ニナリマシテ、非常ニ窮屈ナ……窮屈ナノハ宜イノデアリマスガ、解釋上疑義ヲ起スヤウナコトガアリハシナイカト云フコトデ、二項ニ於キマシテ其趣意ヲ明文ヲ以テ表ハシマシタニ過ギナイト云フヤウナ次第ニナツテ居リマス、相成ルベクハ衆議院修正ノ通り御同意、御協賛ヲ願上ゲタイト考ヘルノデアリマス、ソレカラ第十條ノ但書ヲ削ルト云フ委員會ノ決議デゴザイマスガ、是ハ貯蓄銀行條例等ノ權衡カラ御議論デアッタヤウニ拜承イタシマスノス、相成ルベクハ衆議院修正ノ通り御同意、御協賛ヲ願上ゲタイト考ヘルノデアリマス、貯蓄銀行ニ於キマシテハ取締役ガ在任中ニ生ジタル義務ニ付テハ連帶無限ノ責任ヲ負フトナツテ居リマス、是ハ貯蓄預金デアリマスレバ、其時ニ預金ヲ致シマスタビニ、一ツノ口ガ分レテ居リマスカラ、在任中デ

アルトカ或ハ在任中デナイトカ云フコトハ明カニ區別ガ付カウト思ヒマス、無盡ノ契約ニナリマスト契約ノ性質ガ一團トシタル契約デアルト云フヤウニ解釋ガナルサウデアリマス、初メ無盡契約ヲ致シマシテ、契約ガ成立テ債權債務ガ成立ツヤウニ考ヘマス、サウ致シマスト其無盡ヲ數年間ヤリマシタ會社ニ新ニ取締役ニ這入テ來タト云フ場合ニハ在任中ニ生ジタルト云フコトハ何時ノコトヲ言フノカ分ラヌコトニナリマス、最初無盡契約ノ成立シタ場合ニ其取締役ガ居ラナケレバ責任ハナイ、其後ニ至テ掛金ヲ取タニシテモ責任ガアルカナイカ、其邊ガドウモ判明イタシマセヌノデ、種々詮議ヲ致シマシタ結果、在任中ト云フ文字ノ入レヤウガナイ、又之ヲ入レルコトハ疑ヲ起スト云フ爲ニ在任中ト云フ字ヲ取リマシタノデアリマス、サウスルト絶對ニ其關係シタ會社ニ付テハ其責ヲ負ハナケレバナリマセヌ、ソレヲ緩和イタシマス爲ニ其人ガ全然其時ニ關係シナカッタ、例ヘバ就任中ニ起シタ債權債務ノ關係デアリマストカ、或ハ自分が海外ニ旅行デモシテ居リマシテ、全然關係ガナカッタトカ云フ明カナル證明ガ出來マシタ場合ニハ除外シナケレバナリマセヌ、在任中ト云フ文字ヲ取リマシタノト、權衡カラ申シマスト餘リ酷ニ過ギマスカラ本文ノ通り在勤中ニ生ジタルト云フ文字ヲ餘儀ナク取リマシタ、其結果但書ヲ以テ緩和イタシマシタ次第デアリマス、是モ成ルベク原案通リ御協賛ヲ仰ギタイノデゴザイマス

○阪本鉄之助君 本案ニ付キマシテ意見ヲ述べタイト思ヒマスカラ、相當ノ時機ニ於テ御許シヲ願ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 唯今ガ最モ適當ナル時機ト思ヒマス

○阪本鉄之助君 本案ニ付キマシテハ第一讀會ノ節ニ政府委員ニ大體ノ質問ヲ致シマシタ次第デアリマスガ、本員ノ見マスル所デハ我國ノ無盡トカ、賴母子講トカ、薩摩アタリデハ「モアイ」ナドト申シテ居リマスガ、是ハ種々少數ノ人ガ申合テ金ノ融通ヲ圖リ若クハ親戚故舊相集テ友人ノ急ヲ救フトカ、親戚ガ寄テ改革ヲ助ケルト云ヤウナ意味合ニ使テ居ルヤウニ思ヒマス、所ガ近頃デハ無盡ト云フコトガ非常ニ蔓延シテ、是ガ一ツノ營業ノ如クナツタヤウニ見エマスガ、元來此無盡トカ、賴母子講トカ云フモノハ營業ニスルモノデナイト云フコトヲ私ハ深ク信ズルノデアリマス、今日斯ノ如ク蔓延イタシタノハ是ハ一ツノ變態デアツテ、誠ニ宜シカラザル變態デアルノデ、此

弊ヲ防ガム爲ニ斯ノ如キ法律ヲ出シテ、其結果終ニ無盡ト云フモノハ國家ノ認メタ營業トシ、營業稅マデモ取ツテ、ノ小サナ銀行ノ營業デアルカノ如ク認メルノハ方角ノ違ツタコトデハナイカト思フノデアリマス、故ニ本員ハ絕對起シタコトト思ヒマスガ、法律ガ之ヲ認メテ一ノ營業トスル以上ハ、此箇條ニ依ツテ取締ヲ爲サムトシテモ、元來斯ノ如キ營業ヲ致ス人々ハ玉石混淆、中ニハ結構ナ人モアリマセウガ、多クハ思ハシキ營業モナク、斯ノ如キコトヲシテ細民ノ間ヲ奔走シテ、其金ヲ集メテ自己ヲ利スルト云フ所カラ起シテ居ルノガ多ウゴザイマスカラ、嚴格ナル法律ヲ作レバ又其穴ヲ潛ツテ巧ニヤルニ相違ナイ、是モ國家ガ認メテ以テ一ノ公ノ業トシタ以上ハ仕方ガナイデアリマセウ、畢竟無盡ノ目的ハ細民ノ射倖心ヲ利用シテ零細ノ資金ヲ集メテ、利用シヤウト云フコトデアリマスガ、斯ノ如キモノノ營業トシテ認メラル位ナラバ、寧ロ百尺竿頭一步ヲ進メテ富籤ノ方法ヲ許スガ宜カラウト思ヒマス、本員ハ此無盡ヲ富籤ノ一部ト見テ居ルノデアリマス、富籤類似ノコトヲ無盡ト云フ名ニ依ツテ、巧ナル方法ヲ以テヤッテ居ルノデアリマス、之ニ加入スル者ハ何レモ一種ノ射倖心デ這入ルノデアリマス、其結果タル先キニモ申シマシタ如ク、汗ヲ垂ラシテ蓄メタ金ヲ此無盡ニ加入シテ置ケバ早ク澤山ナ金ガ取レルトカ、或ハ預金シテ置クヤウナモノデ取ラウト思ヘバ何時デモ取レルト云フヤウナ意味カラ加入スルノデアリマス、其結果細民ガ思ハザル困難ヲ招クコトガ往々ニシテアルノデゴザイマス、是ヨリモ細民ノ貯蓄ニハ既ニ十分郵便貯蓄ヲ勸誘セラレテ居ルノデアリマス、然ルニ此度法律ニ出來マシタ通リ、貯蓄銀行ハ如何ナル名義ヲ以テ致シマシテモ五圓未満ノ金額ハ貯蓄銀行條例ニ依ツテヤルコトニナリマシタ、ソレ等ノモノガ全國ニ澤山出テ來テ居リマスカラ、貯蓄ノ方法監督宜シキヲ得テ出來マスレバ、細民ノ零細ナ貯金ガ出來ルノミナラズ、既ニ產業組合ガアツテ細民ノ融通ニハ信用組合ヲ組織イタシマシテ、確實ニ細民ノ融通ノ途ガ出來テ居ルノデアリマス、旁、兎ニ角自分ノ見ル所デハ無盡ノ如キモノヲ法律上公ケニ認メルノハ甚ダ後日ニ後悔ヲ残ス基デハアリマスマイカ、此案ガ出マシタニ付キマシテ、現在此事ヲ營ンデ居ル人々ハ此法律ハ餘リ嚴格デアルカラ、モット寛ニ改メテ貰ヒタイト云フコトヲ申シテ居リマス、本員ハ全然廢案ヲ主張スルモノデ、寛宥スルドコ

ロノ意味デハナイ、寧ロスウ云フ法律ヲ作ルコトヲ止メテ貰ヒタイト云フ意見デアリマシテ、少クモモウ少シ攻撃スベキ案デアラウト思ヒマス、既ニ政府ハ相當ノ取締ヲシテ居ルノデアリマセウガ、尙ホ一層警察的ニ嚴格ナル取締ヲ致サレテ、苟モ犯則ノ行爲ヲ致シマスレバ、現在ノ刑法ニ依ツテ處分スベキモノデアラウト思ヒマス、ソレ等ノ點ニ遺算ナク注意シテ、半年カ一年モヤツテ見テ、ドウシテモ斯ウ云フ法律ノ成立ガ避ケラレヌナラバ、次ノ議會ニデモ相當ノ修正ヲ加ヘルコトニシテ宜カラウト思ヒマスガ、兎ニ角モット能ク攻究スベキ問題デハナイカト思ヒマス、此法律ガ出ル以上ハ無盡業ガ公ケニナルト云フ點ヲ恐レテ、飽クマデモ反對スルノデアリマス、ソレ故ニ私ハ本案否決ヲ主張イタシマス。

○議長(公爵德川家達君) 此際ニ議長ガ念ノ爲ニ申上ゲタイコトガゴザイマス、先刻議事日程變更ノ場合ニ、無盡法案外二件ト宣告イタシマシタノハ、外一件ノ誤リデゴザイマスカラ、左様御承知ヲ願ヒマス。

〔政府委員濱口雄幸君演壇ニ登ル〕

○政府委員(濱口雄幸君) 唯今阪本君ヨリ致シマシテ、本案否決ノ御意見ガ出マシタ、阪本君ハ無盡ノ弊害ヲ列舉セラレマシテ、斯ノ如キ弊害ノ有ルモノデアルカラシテ、是ハ公然法律ヲ以テ營業ト見做スト云フコトハ如何ナモノデアラウカ、宜シク慎重ノ調査ヲ遂ゲテ更ニ此事ヲ研究スルガ爲ニ、兎ニ角此際ニ於テハ之ヲ否決シタイト云フ御意見ノヤウニ拜承イタシマシタ、併ナガラ政府ノ考ヘル所ニ於キマシテハ、成ルホド無盡業ニ付キマシテハ種々ノ弊害ガアルコトハ是ハ認ムル所デアリマス、併ナガラ其弊害ノ反対ニ、一種ノ金融機關トシテ功績ノアルコトモ同時ニ認メナケレバナラヌコトト思ヒマス、ソレ故ニ種々ノ機會ニ於キマシテ、或ハ地方官會議ノ席上ニ於キマシテ、或ハ銀行家ノ大會ノ席上ニ於キマシテ、是等ニ付テ當業者並ニ地方官憲ノ意見ノ存スル所ヲ聞合ハシテ見マスルニ、何レモ相當ノ取締ヲ要スルト云フコトハ一致シテ居リマスガ、此無盡業ト云フモノヲ根本カラ撲滅スルト云テ、或ハ銀行家ノ大會ノ席上ニ於キマシテ、是等ニ付テ當業者並ニ地方官憲ノ意見ノ存スル所ヲ聞合ハシテ見マスルニ、何レモ相當ノ取締ヲ要スルト云フコトハ一致シテ居リマス、即チ其長所ヲ認メテ之ヲ助長シ短所ヲ矯正シテ、此無盡業ト云フモノヲ益發達サセテ行ツテ、下層ノ金融機關トシテ功績ヲ擧ゲシムルガ宜カラウト云フコトニハ皆一致シテ居ルノデアリマス、兎ニ角無盡業母子講ト云フモノハ、我國古來ノ習俗ト致シマシテ、下層ノ金融機關トシテ行ハレ來ツテ居ルノデアリマスカラ、其弊害ハ

アルニ致シテモ、其反面ニハ地方下層民ノ貯蓄機關、金融機關トシテ相當ノ功績ヲ擧ゲテ居ルト云フコトハ認メナケレバナラヌト思ヒマス、ソレデアリマスカラ其短所ハ之ヲ矯メ長所ハ之ヲ助長シテ、目下缺乏ヲ感ジテ居ル所ノ下層金融機關トシテ相當ノ効キヲ爲サシメムガ爲ニ此案ヲ出シタ次第デアリマス、唯今御話ノゴザイマシタ通り、下層ノ貯蓄機關トシテハ郵便局ガアリマスガ、三等郵便局ニ致シマシテモ、必シモ全國ニ普及シテ居ルトハ限リマセスカラ……ソレカラ郵便局ハ貯蓄ダケデ融通ノ途ガナイ、又貯蓄銀行モアリマスガ無盡トハ關係ヲ異ニ致シマシテ、無盡契約ト預金契約トハ違ヒマスカラ、今日ヤツテ居リマスル無盡業ノヤウナコトハ、貯蓄銀行ニハ望ムベカラザルコトデゴザイマス、願ハクハ此案ノ成立ニ至ラムコトヲ希望イタシマス。

○議長(公爵德川家達君) 兩案トモ束ネテ問題ニ供シマシタガ、阪本君ヨリ無盡業法案ノ第二讀會ヲ開クベカラズトスル御意見ガ出マシタ以上ハ、採決ハ別々ニ致シマス、此際採決ヲ致シマスノハ、無盡業法案ノミト御承知ヲ請ヒマス、本案第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 過半數ト認メマス

○男爵尾崎三良君 最早會期モ切迫シテ居ルコトデゴザイマスカラ、直チニ二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵山口弘達君 贊成

○議長(公爵德川家達君) 尾崎男爵ノ直チニ第二讀會ヲ開クト云フ說ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 直チニ第二讀會ヲ開キマス

○阪本鈴之助君 モウ私ノ說ガ倒レマシタ以上ハ、修正說ニ付テ贊否ノ意ヲ

表シタイト思ヒマス

○議長(公爵德川家達君) 少々御待チ下サイ、阪本君ニ伺ヒマスガ、ドノ箇

條ニ付テ御意見ガアルノデゴザイマスカ

○阪本鈴之助君 私ハ少クトモ此委員會ノ說ハ飽クマデモ贊成ヲ致ス者デゴザイマスカラ、本員ノ廢案說ガ倒レマシタ以上ハ、ドウカ特別委員ノ修正ガ

幾ラカ縊リガ付クヤウデアリマスカラ、此修正案ヲ賛成シタイト思ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 全部ヲ問題ニ供シマス、阪本君御意見ガアルナラ
バドウゾ御述ベヲ願ヒマス

○阪本彰之助君 モウ別ニ詳シク申上グル程ノコトデモゴザイマセヌ、唯今
政府委員カラ御説明モゴザイマシタガ、ドウモ此第六條ノ第二項ヲ衆議院ニ
於テ加ヘラレマシタノデアリマスガ、假令コチラカラ勸誘員ヲ出サナクテモ、

他ノ區域カラ加入ガ出來ルト云フコトニナリマスト、勸誘ノ手段ハ如何様ニ
モ出來ルモノデアリマス、シテ見レバ斯様ナコトガ書イテアッテモ格別ノ用ヲ

爲サヌモノデアリマスカラ、區域ハ成ルベク狹ク致シタイ、一體本員ノ考デ
ハ、モウ少シ狹クシテ一郡或ハ二村位ニ限リタイノデアリマスガ、最早大勢
動カスベカラズ、阪本一人デ如何様ニ申シテモ致シ方ハゴザイマセヌカラ、
已ムヲ得ズ止メマスルガ、成ルベク區域ハ狹クシテ置キマセヌト、ドウシテ
モ弊ガ多イノデアリマス、故ニ少クトモ第二項ヲ削ルト云フコトハ、幾分カ

本員ノ説ニ近イモノデアリマスカラ之ヲ削リ又第十條ノ但書ヲ削ルト云フ、
此特別委員ノ修正ニ全然賛成ヲ致ス者デゴザイマス
○議長(公爵徳川家達君) 採決ヲ致シマス、特別委員長ノ報告ニ同意ノ諸君
ノ起立ヲ請ヒマス

起立者

多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半數ト認メマス

○伯爵大原重朝君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵山口弘達君 贊成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開クト云フ大原伯爵ノ動議ニ御
異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開キマス……第二讀會ノ決議通
リテ御異存ゴザイマセヌカ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 次ハ貯蓄銀行條例中改正法律案、此採決ヲ致シマ
ス、本案第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半數ト認メマス
○男爵尾崎三良君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス
○伯爵大原重朝君 賛成
○議長(公爵徳川家達君) 本案ノ第二讀會ヲ直チニ開イテ御異存ゴザイマセ
ヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○伯爵大原重朝君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ望ミマス

○子爵山口弘達君 贊成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開クト云フ大原伯爵ノ動議ニ御
異存ゴザイマセヌカ

○伯爵大原重朝君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ望ミマス

○子爵山口弘達君 贊成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開クト云フ大原伯爵ノ動議ニ御
異存ゴザイマセヌカ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開キマス……第二讀會ノ決議通
リテ御異存ゴザイマセヌカ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開キマス……第二讀會ノ決議通
リテ御異存ゴザイマセヌカ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開キマス……第二讀會ノ決議通
リテ御異存ゴザイマセヌカ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

報告

○帝國學士院學術獎勵金特別會計法廢止法律案
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正四年六月七日

右特別委員長
子爵稻垣 太祥

貴族院議長公爵德川家達殿

貴族院學術研究獎勵金委任經理ニ關スル法律案

帝國學士院學術研究獎勵金委任經理ニ關スル法律案及是
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正四年六月七日

右特別委員長
子爵稻垣 太祥

貴族院議長公爵德川家達殿

〔子爵稻垣太祥君演壇ニ登ル〕

○子爵稻垣太祥君 帝國學士院學術研究獎勵金委任經理ニ關スル法律案及是
カ特別會計法廢止案、束ネテ報告イタシマス、是ハ明治四十三年ヨリ皇室カラ向ウ十箇年間二千圓ヅツ學術獎勵ノ爲ニ御下賜金ガゴザイマシテ、ソレガ十箇年即チ大正八年デ二万圓ト云フコトニナリマス、ソレカラ民間デハ三井岩崎兩家ヨリ四十四年度ヨリ向ウ十箇年間千圓ヅツ、住友家ヨリ大正元年度カラ向ウ十箇年千圓ヅツ、マダ外ニモゴザイマスガ、斯ノ如キ寄附金ガゴザ

イマス、之ヲ今日マデ特別會計トシテ參ッタノデゴザイマスガ、此帝國學士院ニハ委任經理ノ途ガ付イテ居ラナカツタノデアリマス、ソレヲ今度行政整理ノ一トシテ特別會計法ヲ廢シマスニ付キマシテ此委任經理、單ニ委任經理ノ法律トナリマシタノデアリマス、ソレデ此金ヲ支拂ヒマシテ、其殘リガ一万五千二百

圓九十八錢八厘ト云フモノデゴザイマス、是ハ即チ學士院ノ方ヘ拂切リニナリマシテ、此經理ニ屬スルコトニナリマス、モウ極クスノ如キ明瞭ノ案デゴザイマスカラ、異議ナク兩案トモ通過シタ譯デゴザイマス、此段御報告イタシマス、何卒兩案トモ讀會省略ヲ以テ、ソレヲ速ニ御可決アラムコトヲ望ミマス

○子爵山口弘達君 讀會省略ニ賛成

○石井省一郎君 賛成

○伯爵大原重朝君 賛成

○三宅秀君 賛成

○田島竹之助君 賛成

○伊澤修二君 賛成

○男爵高木兼寛君 賛成

○子爵青木信光君 賛成

○谷森眞男君 賛成

○小野田元熙君 賛成

○室田義文君 賛成

○議長(公爵德川家達君) 稲垣子爵ノ讀會省略ノ動議ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 三分ノ二以上ト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 兩案トモ原案ニ對シテ御異存ゴザイマセヌカ
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第九、第一讀會ノ續、委員長報告、副委員長實吉子爵

染料醫藥品製造獎勵法案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正四年六月六日

右特別委員長

侯爵德川 義親

貴族院議長公爵德川家達殿

○子爵實吉安純君 演壇ニ登ル

○子爵實吉安純君 委員長德川侯爵ハ御差支ガアリマスカラ、私ガ代ツテ委員會ノ經過ヲ御報告イタシマスガ、此染料醫藥品製造獎勵法案、是ハ提出ノトキニ農商務大臣ガ詳細ニ尙ホ明瞭ニ説明ニナリマシタカラシテ、モウソレ以

上申上ゲルコトモナカラウト考ヘマス、ト申スノハ此時局ノ爲ニ外國カラ是
マデ輸入シタ即チ外國、殊ニ獨逸國カラ輸入シ來タ染料其物ガ來ナクナッテ、
ソレデ大ニ内地ノ染色業者ガ困難ヲシテ居ル、ソレカラ之ヲ他ノ外國、英國、
米國、佛蘭西ニ、何トカシテ輸入スル方法ハナカラウカト云フコトデ、段々
穿鑿ヲシタケレドモ、他ノ國デモ獨逸國カラ輸入シテ居タノデ、既ニ困ッテ
居ル、ソレヲ日本ニ譲ルト云フコトハ何所モ出來ナイト云フコトカラシテ、
何デモ是ハ内地デ製造スル外仕方ガナイ、即チ時局ガ何時了ルト云フ見込ガ
付カヌ以上ハ、イツマデモ是ガナクテハ困ル、又現ニ在ル……我國ニ今マデ
輸入シテアル所ノ物ハ非常ニ直段ガ高イ、或物ハ數倍、或ハ十倍二十倍ト云
フヤウナ直段ニモナッテ居ル、ソレガ爲ニ染色業者ハ皆困難ヲスルト云フ有様
デアル、所デ此染料ト云フモノハ内地デ出來ナイカト申スノニ、ソレハ既ニ
大學又ハ工業試驗所等十分ニ研究シテ、悉クト云フ譯ニハイカヌガ、兎ニ
角簡易ノ物、即チ主ナル物ト云フヤウナ物ハ學術上、技術上デ十分出來ルコ
トニナッテ居ル、スレバ出來ル、即チ既ニ試驗的ニ拵ヘタモノガ幾ラモアル、併
ナガラ價格ハドウモ從來ノ輸入品ニ比シテ高イ爲ニ今マデ起ラヌ、ソレカラ
薬品ノ方モ略、ソレト同様デゴザイマス、ソレカラ此染料ヲ製造スル原料ト云
トニナッテ居ル、スレバ出來ル、即チ既ニ試驗的ニ拵ヘタモノガ幾ラモアル、併
ナガラ價格ハドウモ從來ノ輸入品ニ比シテ高イ爲ニ今マデ起ラヌ、ソレカラ
トニナッテ居ル、スレバ出來ル、即チ既ニ試驗的ニ拵ヘタモノガ幾ラモアル、併
ナガラ價格ハドウモ從來ノ輸入品ニ比シテ高イ爲ニ今マデ起ラヌ、ソレカラ
トニナッテ居ル、スレバ出來ル、即チ既ニ試驗的ニ拵ヘタモノガ幾ラモアル、併
ナガラ價格ハドウモ從來ノ輸入品ニ比シテ高イ爲ニ今マデ起ラヌ、ソレカラ

云フ習慣ヲ付ケテ、段々技術ガ巧ニナル、スレバ相應ニ廉イ物ガ世間ニ澤山
ニ出來、サウシテ一方ニハ今度數百万圓ノ輸入ヲ防グ、又言ヒ換ヘレバ染料
又ハ薬品等ノ獨立ガ出來ルト云フ意味ニナルノデ、ソレカラ薬品ノ方ニ於テ
ハ悉ク其石炭滓ヤ今ノ「ベンゾール」若クハ「コールタール」ニ委カシテ居ル、
ソレデ原料ニスルモノハ多數アル、其外ノ原料、例ヘバ阿片ハ重モニ土耳其カラ
ノハ、ソレド内地デ農作場ニ……即チ阿片ノ耕作ハ是マデモ少シハアルノ
デアリマス、ソレヲ獎勵シテ、サウシテ是マデハ阿片ハ重モニ土耳其カラ
輸入シタモノデ、ソレカラ内地製ノ物ト合セテ、ソレデ阿片カラハ色ミノ物
ヲ拵ヘル、「モルヒネ」トカ、其他ノ物ヲ拵ヘテ居タノデアリマス、サウ云フ
コトモ同時ニヤル、ソレカラ前ノ「ベンゾール」ヤ「コールタール」カラ拵
ヘルヤウナ即チ薬品ダケデハナイ、酒ノ腐敗ヲ止メル爲ニ使フ「サルチルサ
ン」サウ云フ種類ノモノ、若クハ他ノ石炭酸ト云フヤウナモノハ、矢張リ今
ノ染料製造ノ方ト共通デ出來ルヤウナ譯ニアリマス、ソレデ是モ矢張リ十箇
年間年八朱ノ補給利子ガアッタナラバ、其後ハ獨立シテ行ケルダラウト云フコ
トデ、此薬品ノ方ナゾハ尙ホ唯今貯藏品デ、薬品モ、染料モ當分ハ差支ナイ、
世ノ中デ云フヤウニサウ拂底シテ居ル譯デモナイノデアリマスガ、今マデハ
現品ヲ有ツテ居ル者ガ賣惜シダ爲ニ、世間デハ非常ニ缺乏シテ居ルヤウニ見エ
ルノデアリマス、併シ事實ハ幾分カソレヲ使ヒ果スマデニ此製造所ガ出來レ
バ、ソレデ間ニ合フコトニナラウ、先キニモ申上ゲタヤウニ先ヅ主ナモノ、
ヤウナコトデ、其原料モカツ、内地デ間ニ合フ、其原料ト申スノハ主ニ「コ
ーラタール」又ハ石炭滓カラ出來ルノデ、是ハ一番九州ノ三井ノ炭礦デ「ベ
ンゾール」ト云フモノガ何百噸カ出來ル、ソレカラ若松ノ製鐵所、是デモ二千
噸出來ルト云フコトデ、此「ベンゾール」ト云フモノハ何デ出來ルカト云フ
ト、是マデ「コータクス」カラ出ルノデ、ソレデ唯煙トシテ出シテ居タノデ、
之ヲ集メルト二千噸トカ三千噸トカ出來ル、其二ツデアリマス。ソレデ「コ
ーラタール」ノ方ニナリマスト、原料ハ十分デアラウ、ソレカラソレヲ製造
スルト唯今ノ所デハ直段ガ高イカラ、内地デ拵ヘル方ガ宜イヤウナモノデア
ル、併ナガラ平和克復ノ後ハ又廉イ物ガ外國カラ這入ルト云フヤウナコトニ
ナルト云フト、今製造者ガ折角拵ヘテモ永續ガ出來ナイ、即チ輸入品ノ廉イ
モノニ壓倒サレテ仕舞フ、ソレガ爲ニ今度其資本ニ對シテ一箇年八朱ダケ補
給利子ヲヤツテ、サウシテ十箇年ノ間内地デ此業ヲ保存スル、ソレガ爲ニサウ
○男爵石黒忠惠君 政府委員ニチヨツト伺ツテ置キタイト思ヒマスガ、此補助
ガ百分ノ八ト云フノハ、ドウ云フ所カラ出タノデアリマスカ、ソレカラモウ

一ツ承ッテ見タイノハ是ハ此補助ヲ受ケテ本員ナゾノ考デハ今製造イタシマスル物デ供給ハ出來マスガ、平和克復後ニ至リマシタナラバ、歐羅巴ノ方カラ安イ物ガ來ル爲ニ、其時ニハ餘程用心ヲシテ置カヌト、此工業ヲ始メル者ハ大打撃ヲ受ケルコトガアラウカト思ヒマス、サウ云フトキニハ外國品ニ輸入税ヲ課スル御見込ガアルノデアリマスカ、ドウデアリマスカ、併セテ伺ッテ置キマス

〔政府委員岡實君演壇ニ登ル〕

○政府委員(岡實君) 唯今ノ石黒男爵ノ御尋ニ御答イタシマス、百分ノ八ニ致シマシタノハ、此事業ノ性質上成ルベク急ニ多クノ資本ヲ此事業ニ集中イタサセタイト云フ考ヲ有ツテ居リマス、然ルニ他ノ銀行業或ハ鐵道業ト云フガ如キ事業ト異ナリマシテ、唯今第二問ニ於テ御尋ニナリマシタガ如ク、多少將來ニ付キマシテ、各自ニ懸念ヲ懷クガ如キ性質ノ事業デゴザイマスカラ、此際時局ノ急ヲ救ヒマスルノト、又從來曾テ日本ニ於テハ試驗的經畫ノ外未ダ起ツテ居ラナイ、比較的ムヅカシイ事業デゴザイマス、旁、八分ト云フコトニ決メマシテ、成ルベク速ニ本事業ニ對シテ資本家ガ資本ヲ投下スルヤウニ誘致イタシマシタ譯デゴザイマス、第二問ニ付キマシテハ時局平定後若クハ補給制度ノ止ンダ後ハ、政府ハ如何ニシテ此事業ヲ持続セシムルカト云フ御質問ノヤウデアリマス、時局中ニ於キマシテハ唯今委員長ノ御報告ニナリマシタ通り、染料ノ價ハ大層騰ツテ居ルノデアリマス、殆ド何等ノ補給ヲスルコトナクトモ染料製造家ハ相當ノ利益ヲ收メテ行クコトガ出來ルト確信イタシテ居リマス、而シテ時局平定後モ暫クノ間ハ歐洲諸國ニ於ケル一般物價ノ騰貴、ソレニ伴ウタル一般的染料ノ缺乏ニ依リマシテ、染料ノ價ガ時局以前ニ復スルマデハ一二年ヲ要スルコト考ヘテ居リマス、此間モ政府ノ補給ハ或ハ必要ノナイ場合モゴザイマセウシ、或ハ之ヲ假ニ致シマシテモ八分ノ全額ハ愚カ、或ハ五六分或ハ三四分位ノ補給デ十分目的ヲ達シ得ルコトガアラウト思ヒマス、而シテ此處三四年經過イタシマスト、今回ハ獨逸ハ製造業モ平常ニ復シ、其物價モ平常ニ復シマスル結果、染料ノ價モ亦廉クナリマスシ、時局以前ノ相場ニ復リマストキニ初メテ之ヲ製造イタシマス會社ハ、此補給利子ノ恩澤ニ浴スル譯デアリマス、而シテ此補給制度ハ十箇年ノ間繼續イタシマス、十箇年ノ間繼續イタシマス中ニハ、先程御報告中ニモゴザイマシタ通リ、從來相當ノ損失ヲ掛ケナケレバ出來ナカツタムヅカシイ仕事モ、大體手

ニ入ルヤウニナルコトト存ジマス、又日本ニ於キマシテ最モ廣ク使用サルル所ノ染料、若クハ鄰國支那、南洋等ニ於キマシテ從來歐洲殊ニ獨逸カラ輸入イタシマシタ染料ノ如キ是亦内地ニ普及シテ居ル染料ト同ジク、各染料業者ガ之ヲ造リマシテ、相當ノ利益ヲ舉ゲ得ルコトト存ジマス、是等ノ事實比較的ムヅカシカラズ、又其需用モ比較的廣イト云フヤウナ仕事ニ付テハ、十分補給ガナクトモ内地ニ於テ十年間ニハ十分發達ヲナシ得ルコトト思ヒマス、而シテ特ニ技術ヲ要スル、又極メテ新シイ染料ヲ、獨逸ヨリ先ンジテ日本ヨリ出スト云フコトハ或ハムヅカシカラウト存ジマス、併ナガラ前申シマス染料ニ付キマシテハ、之ヲ我國ノ國產ト致シマシテモ、此法律ノ結果我國ニ獎勵シ、又之ヲ我國ニ土著セシメ得ルコトト信ジテ居リマス

○男爵田健治郎君 私モ少シク政府委員ニ御尋シヤウト思ヒマス、此第三條ニ八分ノ補給ヲ載セテ居リマスガ、此補給ハドウ云フ工合ニナリマスカ、例ヘテ見ルト百万圓ノ會社ガ五万圓ヨリ儲カラヌト云フトキニハ三万圓……配當ガ五万圓ヨリナイ、三万圓支給スレバ宜イ譯デアリマスガ、若シ損ヲシタ其時ニハドウ云フコトニナリマスカ、其補給ノ計算ノ仕方ハ勅令デ決メルトアリマスガ、其勅令デ御決メニナルノハ損ガ行ツタ場合ニハドウ云フ工合ニナリマスカ

〔政府委員岡實君演壇ニ登ル〕

○政府委員(岡實君) 田男爵ノ御質問ニ御答申上グマス、政府ノ精神ト致シマシテハ、會社ガ必ズ八分ノ配當ヲ爲シ得ル如キ方法ニ於テ補給スル意味デゴザイマス、而シテ會社ガ配當イタシマスルニハ、必ズ先ツ其損失ヲ填補ヲ致シマシタ上ニ配當ヲ爲シ得ルコトハ勿論ノ次第デアリマス、故ニ會社ガ利益ヲ舉ゲルコトガ出來ズ、損失ヲ致シマシタ場合ト雖モ、政府ハ其損失ヲ補填イタシマシテ、尙ホ其上ニ八分ヲ補給スル積リデゴザイマス、是等ノコトハ勅令ニ於キマシテ其關係ヲ明カニ致ス積リデゴザリマス、斯ノ如ク致シマシタ理由ハ、此事業タル甚ダ困難ナル事業デゴザイマス爲ニ、若シ損失ニ對シテハ補給セヌト云フ制度ヲ取リマスト、當業者ハ思切ツタ經畫ヲ立テテ、安シジテ此事業ヲ經營スルコトガ出來ナイノデ、之ヲ避ケル傾キヲ生ズルコトヲ恐レタノデゴザイマス

○男爵高木兼寛君 政府委員ニ質問イタシマス、植物性ノ染料ヲ以テ染メタル絹及綿布類ノ持久力ト、化學的染料ヲ以テ染色シタル絹及綿布類ノ持久力

ト、相違ガアルカノ如ク承^トテ居リマスガ、政府ハ如何ニ之ヲ御認メニナッテ居リマスカ伺ヒマス

〔政府委員岡實君演壇ニ登ル〕

○政府委員(岡實君) 高木男爵ノ御尋ニ御答イタシマス、我國ノ鑛物性染料、我國ノ鑛物性染料、此染料殊ニ此「コールタール」染料ノ渡來イタシマシタ初メニ於キマシテ、此染料ヲ以テ織物ヲ染付ケル方法ガ分ラナカッタノデゴザイマス、又分^トテ居リマシテモ甚ダ未熟ナル方法デヤツテ居リマシタ、ソレガ爲ニ植物性染料デ染メタ織物ハ、「コールタール」蒸溜ニ依^ツテ生ジタル染料ニ依^ツテ染メタモノヨリモ、遙ニ強イト云フガ如キ感シ^ト一般ニ起サセタノデゴザイマス、然ルニ之ヲ專門學者ノ説ニ徴シマスルト、植物性ノ染料ト雖モ亦鑛物性染料ト雖モ、其性質ニ於テ擇^ブ所ハナイモノガ多イ、唯其染法宜シキヲ得ルニ於テハ、耐久力ニ於テモ必シモ徑庭スル所ナイト云フコトヲ承^トテ居リマシテ、而シテ此説明ハ最近ニ於キマシテ、各高等工業學校其他府縣ノ工業學校等ニ於キマシテ、染色術ノ講習又染色學科ノ著シキ發展ニ依リマシテ、西洋輸入ノ新染料ヲ以テ巧ニ之ヲ染色シ、其耐久力ニ於テモ從來ノ植物性染料ヲ以テ染メタモノト^ヤ、セラレテ居^タコトガ事實ナルコトヲ證明シタ譯デ、鑛物性ノ染料モ染法ニ於テ適當デアル以上ハ、植物性染料ト擇^ブ所ナイト云フコトニ歸著イタシマシタ

〔政府委員岡實君演壇ニ登ル〕

○男爵田健治郎君 先刻御尋シタコトヲ今一應確メテ置キマスガ、例ヘテ申スト百万圓ノ會社ガ五十万圓損ガ行^ツタ場合、其時ニハ此案ニ依リマスト、其五十万圓ノ減資金ヲ、政府カラ補充シテヤ^ツタ上ニ、尙ホ八万圓ノ配當ヲヤル、斯ウ云フ意味デアリマスカ

アリマス、隨^ツテ今男爵ノ御舉^ゲニナリマシタガ如キ、莫大ノ損失ヲ來スベキ經畫等ニ付テハ、十分其認可ニ依^ツテ之ヲ節制シ得ルコトト信ジテ居リマス、又右申スガ如キ大ナル損失ハ、多クノ場合ニ於キマシテハ必ズヤ火災若クハ氣罐ノ破裂等ニ依^ツテ生ズルノガ多イノデゴザイマス、斯ノ如キ思ハザル危險ニ對シマシテハ、總テ之ヲ保険ニ付セシムルコトト致シマシテ、假ニ斯ノ如キ原因ニ依^ツテ損失ガ生ズルトモ、保険會社ヨリ補償セシメ、會社ノ損失トナラザル方法ヲ、豫メ會社ヲシテ立テシムル積リデアリマス
○阪本彰之助君 少シ御尋ネシテ置キタウゴザイマスガ、第二條ニ依リマスルト、帝國ノ法律ニ依^ツテ設立シタル株式會社云々トアリマスカラ、苟モ法律ニ依^ツテ立テマシタ會社ナラバ、如何ナル小資本ノ會社デモ、染料藥品ヲ製造スルト云フモノデアリマスレバ、矢張リ政府ハ輔助ヲ與ヘラレルコトデアリマスカ、ソレカラモウ一ツハ、藥品染料ニハ限ラヌ、今外國ノ輸入ヲ防遏スル爲ニ矢張リ是ト同等ノ必要ヲ感ズルモノガアリハセヌカト思ヒマスガ、ソレ等ハ政府ニ於テハ如何ニ御考ニナッテ居リマスカ、此ニツラ……ソレカラ第五條ヲ衆議院デ削リマシタ、此削^タ精神ハ特別委員長カラ御報告ガアッタカ知レマセヌガ能ク聞取リマセヌデシタガ、何故ニ削^タノデアリマスカ、又政府ハ御同意ニナッタノデアリマスカ承リタイ

〔政府委員岡實君演壇ニ登ル〕

○政府委員(岡實君) 阪本君ノ御質問ニ御答イタシマス、此法律ニ依^ツテ補助ヲ致シマスル會社ハ、命令ノ定ムル所ニ依^ツテ染料藥品ノ製造業ヲ營ムト云フコトガ一ツノ要件デゴザイマス、而シテ其命令ニ於キマシテハ、今御尋ノ如キ小ナル會社ニ對シテハ、條件ヲ具備セザルモノトシテ補助ヲ與ヘナイ積リデアリマス、御承知ノ如ク染料ニ付キマシテハ餘程大ナル設備ヲ要スル、而シテ又時トシテ外國ノ「バテント」等ヲ購入スル資力ノアルコトモ必要デゴザイマス、時ト致シマシテハ又彼地ヨリ技師ヲ傭聘イタシマスル資力ノアリマスルコトモ必要デゴザイマス、其他各種ノ關係ニ於キマシテ調査研究ヲ必要ト致シマスル事業デゴザイマス、政府ノ考ト致シマシテハ、成ルベク資本ヲ餘計ニ持^ツテ居^タ、大仕掛ニ於テ營業ヲ爲スモノニ限^ツテ補助ヲ與ヘルト云フ積デアリマス、ソレカラ第二ノ御質問デゴザイマス、是ハ染料以外ニ付テモ尙ホ政府ガ斯ノ如キ制度ヲ設ケテ是ガ發達ヲ獎勵スベキモノガアルデアラウガ、ソレニ對シテ如何ナル考ヲ持^ツテ居ルカト云フ御質問ノ如ク了解イ

タシマシタ、此問題ニ付キマシテハ時局以來農商務省ニ於キマシテ化學工業調査會ナルモノヲ組織イタシマシタ、各種ノ問題ヲ研究イタシテ此染料工業ヲ我國ニ起スベキ必要ヲ議決イタシマシタノモ、又此經畫ノ遂行ニ付テ各種ノ意見ヲ發表イタシマシタノモ此化學工業調査會デゴザイマス、政府ハ尙ホ此化學工業調査會ヲ繼續イタシマシテ、今御尋ノ如キ必要ナル各種ノ工業品ニ付テハ何等カノ方法ニ依リテ是ガ發達ヲ助長イタス考デ居リマス、ソレカラ第三ノ御質問デゴザイマス、兼業トシテ染料藥品ヲ製造スルモノハ補助ヲヤルト云フ條文ヲ削除シタノハ其理由何レニアリヤ、兼業ト致シマシテ此事業ヲ營ムト云フコトニナリマスト、本業ト兼業トノ間ニ收支關係ヲ別ニ立テシムル必要ガ起ルノデゴザイマス、而シテ偶々本業ニ於テ不利益ナ場合ガアッタトキニ、之ヲ兼業ノ方ノ側ノ不利益ニ計上スル如キ虞ナキニシモ非ズデアリマスルカラ、是等ノ點ニ付テハ特ニ十分ノ監督ヲ要スル譯デゴザイマス、其他何分ニモ一方ハ補給ヲ要スル事業デ一方ハ補給ヲ要シナイ事業デ、事業ノ性質ハ全ク別事デアリマスカラ、切離シテ別ニ補給ヲ要スル仕事ダケ營マシムル方ガ監督上カラ申シテモ便宜デアラウ、補給制度ノ金額ヲ維持スルニ於テ宜シクハナイカト云フ衆議院ノ意見デゴザリマス、政府ハソレニ對シテ同意ヲ表シタ譯デゴザイマス

○男爵田健治郎君 唯今政府委員ノ御答ハドウモ私ノ御尋ニ嵌ラヌヤウデアリマスカラ尙ホ御尋イタシマス、私ハ此第三條ノ補助ノ性質ハ、勿論事實ニ於テハ第二條及第五條ナドノ關係ガアリマスケレドモ、サウ云フコトハ無論ナイ御積リデアリマセウ、ケレドモ法律ヲ立テタ以上ハ、有ツタラソレヲドウスルト云フコトノ意味ヲ明カニセネバナラヌ、ソレ故ニ私ハ資本ガ大缺損ガ起ツタトキニ其資本ヲ償ヒ、其資本ヲ償ウタ上十年間ハ八朱ノ配當ヲ付ケルト云フコトヲヤルト云フ法律ノ精神デアルヤ否ヤト云フコトヲ御尋スルノデアリマス、事實ニ於テハ監査ナリ、又創立以前ノ御注意ナリ、愈々斯ウ云フコトノ起ラヌヤウニハ御注意ハアルデアリマセウ、併ナガラ商業、工業ナドハナカ（サウ必ズ損ガ行カヌト云フコトヲ保證スルコトハ出來ヌト思ヒマス、況ヤ十年間ノ間ニ如何ナル經濟上ノ變化ナドデ損失ヲ來タシテ、資本ノ缺損ヲ來タスト云フヤウナコトモ絶対ニナイト云フコトモ理窟上カラ決メルコトハ出來ナイノデアリマスカラ、サウ云フ場合ガアリマシタトキニハ、此三條ノ精神ハ資本ニ幾ラ缺損ガ行カウトモ、一部デアラウト全部デアラウトモ、尙

ホ而シテ其缺損ニ拘ラズ、尙ホ八朱ノ配當ノ出來ルダケノモノヲ年々補給シテ行クト云フコトニシカ三條ノ書方ハ見エマセヌ、ケレドモ免ニ角第二項ニノ意見ヲ發表イタシマシタノモ此化學工業調査會デゴザイマス、政府ハ尙ホ此化學工業調査會ヲ繼續イタシマシテ、今御尋ノ如キ必要ナル各種ノ工業品ニ付テハ何等カノ方法ニ依リテ是ガ發達ヲ助長イタス考デ居リマス、ソレカラ第三ノ御質問デゴザイマス、兼業トシテ染料藥品ヲ製造スルモノハ補助ヲヤルト云フ條文ヲ削除シタノハ其理由何レニアリヤ、兼業ト致シマシテ此事業ヲ營ムト云フコトニナリマスト、本業ト兼業トノ間ニ收支關係ヲ別ニ立テシムル必要ガ起ルノデゴザイマス、而シテ偶々本業ニ於テ不利益ナ場合ガアッタトキニ、之ヲ兼業ノ方ノ側ノ不利益ニ計上スル如キ虞ナキニシモ非ズデアリマスルカラ、是等ノ點ニ付テハ特ニ十分ノ監督ヲ要スル譯デゴザイマス、其他何分ニモ一方ハ補給ヲ要スル事業デ一方ハ補給ヲ要シナイ事業デ、事業ノ性質ハ全ク別事デアリマスカラ、切離シテ別ニ補給ヲ要スル仕事ダケ營マシムル方ガ監督上カラ申シテモ便宜デアラウ、補給制度ノ金額ヲ維持スルニ於テ宜シクハナイカト云フ衆議院ノ意見デゴザリマス、政府ハソレニ對シテ同意ヲ表シタ譯デゴザイマス

○男爵田健治郎君 唯今政府委員ノ御答ハドウモ私ノ御尋ニ嵌ラヌヤウデアリマスカラ尙ホ御尋イタシマス、私ハ此第三條ノ補助ノ性質ハ、勿論事實ニ於テハ第二條及第五條ナドノ關係ガアリマスケレドモ、サウ云フコトハ無論ナイ御積リデアリマセウ、ケレドモ法律ヲ立テタ以上ハ、有ツタラソレヲドウスルト云フコトノ意味ヲ明カニセネバナラヌ、ソレ故ニ私ハ資本ガ大缺損ガ起ツタトキニ其資本ヲ償ヒ、其資本ヲ償ウタ上十年間ハ八朱ノ配當ヲ付ケルト云フコトヲヤルト云フ法律ノ精神デアルヤ否ヤト云フコトヲ保證スルコトハ出來ヌト思ヒマス、況ヤ十年間ノ間ニ如何ナル經濟上ノ變化ナドデ損失ヲ來タシテ、資本ノ缺損ヲ來タスト云フヤウナコトモ絶対ニナイト云フコトモ理窟上カラ決メルコトハ出來ナイノデアリマスカラ、サウ云フ場合ガアリマシタトキニハ、此三條ノ精神ハ資本ニ幾ラ缺損ガ行カウトモ、一部デアラウト全部デアラウトモ、尙

○議長（公爵德川家達君） 唯今ノ御尋ニ御答イタシマス、先程申上ゲマシタノハ政府ノ補給ノ精神ハ八分ノ配當ヲナサシムルコトヲ目的トスルノデアル、故ニ缺損ノアツタ場合ニハ先づ其缺損ヲ填補スルニ非ザレバ配當スルコトガ出来ナイノデアルカラシテ、勿論政府ハ其缺損ヲ填補シ、且ツ其上ニ八分ノ配當ヲ爲サシムルノデアルト云フコトヲ申上ゲマシタ積リデアリマス

○議長（公爵德川家達君） 採決ヲ致シマス、本案ノ第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者

多數

○議長（公爵德川家達君） 過半數ト認メマス

○子爵實吉安純君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ……

○男爵高木兼寛君 贊成

○藤田四郎君 贊成

〔其他「贊成」ト呼フ者アリ〕

○議長（公爵德川家達君） 直チニ第二讀會ヲ開キベシトスル實吉子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（公爵德川家達君） 御異議ナイト思ヒマス

○議長（公爵德川家達君） 直チニ第二讀會ヲ開キマス、全部ヲ問題ニ供シマス……全部副委員長ノ報告通リデ御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵實吉安純君 直チニ第三讀會ヲ御開キニナラムコトヲ希望イタシマス

○藤田四郎君 贊成

「其他「贊成」ト呼フ者アリ」

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザリマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開キマス、第一讀會ノ決議通り
御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第十、軍人恩給法中改正法律案、衆議院
提出第一讀會、通牒文ノ朗讀ハ省略イタシテ御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

軍人恩給法中改正法律案
右本院提出案及送付候也

大正四年六月七日

衆議院議長島田三郎

貴族院議長公爵徳川家達殿

軍人恩給法中改正法律案

軍人恩給法中左ノ通改正ス

第六條但書中「高等官八等ノ額」ノ下ニ「又現役ヲ退クトキ特ニ官等ヲ進
メラレタル者ニハ海軍兵曹長同相當官ヨリ海軍中尉同相當官ニ進メラレタ
ル者ヲ除クノ外新官等ニ對スル額」ヲ加フ

第十條第一項中「前條ニ該當スル傷痍ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リタルトキノ現
ヲ「現役ヲ離レタルトキノ」ニ改ム

第十八條第七號中「及北海道移住ノ際定規ノ給助ヲ受ケタル屯田兵下士卒」

ヲ削ル

同條ニ左ノ一號ヲ加フ

八 北海道ニ移住ノ際定規ノ給助ヲ受ケタル屯田兵下士兵卒ニシテ從軍

シ若クハ屯田兵村監視又ハ屯田兵部隊附トナリ軍隊ノ常務ニ服シタ
ルトキハ其日數

明治四十四年法律第五十九號附則第二項、第三項及第五項乃至第八項ヲ削
リ左ノ二項ヲ加フ

明治四十四年四月一日以前現役ヲ離レ現ニ退職恩給、免除恩給、增加恩給
又ハ扶助料ヲ受ケ又ハ受クヘキ權利ヲ有スル者ニ給スヘキ恩給金額ハ總テ
本法ノ規定ニ依ル
陸軍武官傷痍扶助及死亡ノ者祭粢並其ノ家族扶助概則、海軍退隱令又ハ陸
軍武官恩給令ニ依リ扶助料、退隱料又ハ恩給ヲ受クル者ニ對シテハ命令ノ
定ムル所ニ依リ本法規定ノ金額ヲ給ス

附 則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第六條但書第十條第一項及第十八條第八號ノ改正規定ハ本法施行前ニ現役
ヲ離レタル者ニモ之ヲ適用シ本法施行ノ日ヨリ本法規定ノ恩給ヲ給ス

〔政府委員濱口雄幸君演壇ニ登ル〕

○政府委員(濱口雄幸君) 此案ハ衆議院ノ提出ニ係ル案デアリマスルガ、之
ニ對シテ政府ノ考ヲ申上ゲタイト思ヒマス、凡ソ議會ニ於キマシテ豫算ヲ修
正イタシマスルトキニ當ツテ歲出豫算ヲ増加スル如キ修正ヲ致シマセヌト云
フコトハ、議院ノ德義ト致シマシテ長ク議會ノ慣例トナツテ居ルヤウニ考ヘ
マス、本案ハ固ヨリ法律案デアリマスルカラ、其性質ハ豫算トハ違ヒマスケ
レドモ、此案ガ法律トシテ制定セラレマスル結果トシテ、歲出ノ増加ヲ生ジ
マスル點ニ於キマシテ歲出豫算ノ増加修正ト少シモ異ッタコトハナイト考ヘ
マス、本案施行ノ結果ト致シマシテモ約三百万圓ノ歲出ヲ増
加スルト云フコトニナリマスガ、財政ノ狀況今日ノ如キ場合ニ於キマシテ、
斯ノ如キ歲出ノ増加ヲ要シマスル法律案ヲ衆議院ヨリ提出ニナリマシタコト
ハ、政府ニ於テ最モ遺憾トスル所デアリマス、其理由ヲ申シマスト、衆議院
ニ於テハ財政上ノ理由ヨリ絶對ニ反對ヲ表明イタシマシタ、然ルニソ
レニ拘ラズ衆議院ニ於キマシテハ、多少ノ修正ヲ加ヘマシテ通過シテ、唯今

本院ニ提出ニナツテ居ルノデアリマスガ、衆議院ノ委員會ノ修正ニ依リマスレバ元ノ案ハ施行期日ガ大正五年四月一日デアリマシタノヲ、ソレヲ改メマシテ本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ムトナツタノデアリマス、是ハ財政上ノ事情ヲ多少斟酌サレテ斯ノ如ク修正ニナツタモノト存ジマスガ、併ナガラ假令施行期日ヲ勅令ニ讓ルト云フコトニシテモ、苟クモ法律ヲ制定シタ以上ハ早晚政府ハ之ヲ決行スル決心ヲ有ツテ居ナケレバナリマセヌ、然ルニ今日ノ場合ニ於キマシテ、斯ノ如キ法案ヲ早晚設定スルト云フ決心ヲ執リマスコトハ、今日ノ財政状態ト致シマシテハ政府トシテ決シテ同意ノ出來ナイ所デアリマス、依ツテ此案ニハ反対ヲ表明イタシマス

○男爵眞鍋斌君 本員ハ大藏政府當局者ト、又陸軍政府當局者ニ質問イタシ
タイト思ヒマス、先ヅ最初ニ大藏次官ニ質問イタシマス、唯今ノ御説明ニ依
リマスト、財政ノ許サヌ爲ニ政府ハ此案ニハ御同意ニナラヌ、斯ウ云フコト
デアリマス、御承知ノ通リ此貴族院ニ於キマシテハ、此法律案ノ中ニアル明
治四十四年ノ法律第五十九號ノコトニ關シマシテハ、議會ノ度毎ニ數十件ノ

請願ガ出マンシタ、此件數ハ數十件デゴザイマスガ、其人員ニ至リマシテハ、其請願ト云フモノハ法律ノ改正ニナツタ其年ヨリ出テ居ルノデアリマス、所ガ最初ノ中ハ此法律ガ改正ニナリマシテ、サウシテマダ其法律ガ實際ニ行ハレテ居ラヌト云フ間ニ於テ、之ヲ輕々ニ此請願ヲ採擇スルト云フコトハ貴族院トシテ慎ムベキコトデアル、今少シ年數ヲ待フテ然ル後、實際ヲ見テカラノコトト云フコトデ、最初ニハ委員會ニ於テモ無論請願ニ對シテ一向採擇ヲシテ居リマセス、其後段々實際ノ狀況ヲ見、又此請願ノ趣旨ヲ段々審査シマシタ結果、私モ其請願委員ノ一人デアリマシテ、是ガ調査ヲシタコトガアリマスガ、是困難ヲシテ居ル、詰リ四十四年四月以後ニ於テ退職ヲ致シタ者ニ付テハ、即ハ第一ニハ即チ權衡ヲ得ナイト云フコトデアル、又第二ニハ下級軍人トシテハ……即チ今日軍人ノ體面ヲ保ツ上ニ付テモ唯今ハ舊恩給法ノ金額デハ甚ダノ意見ヲ承ツタコトモアリマスガ、是ハ全體ヲ殘ラズ改正ヲシテ皆一樣ニシタイト云フ希望デアル、併ナガラ今ノ所財政ノ……謂ハユル許サヌ所カラシテ、チ改正ノ恩給法ノ恩給ガ給與シテアル次第デアリマス、其當時幾分カ當局者ノ意見ヲ承ツタコトモアリマスガ、是ハ全體ヲ殘ラズ改正ヲシテ皆一樣ニシタトイト云フ希望デアル、併ナガラ今ノ所財政ノ……謂ハユル許サヌ所カラシテ、チ改正ノ一部分ノモノダケヲ改正シテ置キ、將來ニ向ツテハ之ヲ殘ラズ改正スルト云フ意思ガアル、斯ウ云フコトヲ承ツテ居ルノデアリマス、ソレデサウ云フ

卷之三

次第テアリマシテ、年々歳々請願ノ數ハ今ノ通リニ上リ、其請願イタス所ノ事情ニ於キマシテハ實ニ尤モ至極ニ考ヘラレマス、ソレデ其初メニハ請願ハ一二回ハ今申シタ通リ不採擇ニ終リマシタガ、其後ハ請願委員會ニ於キマシテハ、イツデモ此請願ニ於テハ採擇ヲサレマス、既ニ本年モ此請願ニ對シテ委員會ニ於テモ採擇シ、又此議場ニ於テモ採擇ニナリ、決議ニナフテ居ルヤウナ次第テアリマス、其決議ニナリマシタ所ノ趣旨ハ既ニ御承知デゴザイマセウガ、詰リ前ハ今申シマシタ二ツノ理由ニ依ツテ決議ニナフタノデ、貴族院ハ既ニ改正ニ付テハ斯ノ如キ意見ノアルコトハ、是ハ今日ニ始マラヌ、ソレデサウ云フコトデ退職軍人ノ上ニ於テソレダケ明瞭ナル困難ナ事實ガアル、又一面カラ言ヘバ、不平均ナル事實ガアル、之ニ對シテ政府ハ唯財源ガナイカラ之ヲヤラヌト仰セラレマスガ、之ニ付テ何カ財源ヲ求メテモ是ハーツ行ハナケレバナラヌト云フ御意思ガ有ルカ無イカ、或ハ財源ガナイカラシテ、イツマデモ之ヲ抛ツテ置クト云フ御意思デアルカ、ソコヲ大藏次官ノ御答辯ヲ願ヒマス

〔政府委員濱口雄幸君演壇ニ登ル〕

○政府委員（濱口雄幸君）唯今ノ御質問ニ御答ヲ申上グマスガ、唯今御述べニナリマシタ貴族院ニ於ケル此問題ニ對スル沿革ニ付キマシテハ能ク政府ニテ之ニ反対ヲスルト云フコトハアリマセヌ、唯御承知ノ通リ近來ノ此財政ノ情況ハ餘程困難デアリマシテ、即チ時局ノ發生ニ依リマシテ歲入ノ見込ガ最初ノ経畫トハ餘程減少ヲシヤウト云フ見込デアリマス、其最初ノ見込ト申シマスノハ即チ時局發生前ニ於ケル見込ヨリモ、今日ノ事情ニ於テハ餘程減少セナケレバナラヌト思ツテ居リマス、而シテ此影響ハ果シテ何時マデ續キマスモノデアリマスカ、開戦前、時局前ノ情況ニ復舊スルト云フコトハ、今日ニ於テハ殆ド認メガ付イテ居リマセヌ、從ツテ諸般ノ経畫ニ於キマシテモ總テ齟齬ヲ來タシテ居リマス、段々政費モ緊縮イタシマス、其他新事業モ出來ル限リ見合セテ居ルト云フ次第デ、詰リ此問題ノミヲ考慮シテ後ニ之ヲ決行シヤウト云フ譯ニハ參ラヌト思フノデアリマス、一般財政経畫ト相待ツテ考慮ヲ要スベキモノト思ヒマスカラ、今日ニ於テ何時カラ之ヲ實行スル、何時ニナレバ財源ヲ求メテヤルト云フコトヲ明カニ申上ゲルコトハ甚ダ困難デアリマ

○男爵眞鍋斌君 大藏次官ノ御答辯ニ依ツテ大藏省ノ御趣意ノアル所ハ能ク了承イタシマシタ、ソレニ付テ尙ホモウ一ツ伺ツテ置キタイ、今ノ仰セニ依レバ一般ノ財政ガ困難デアル、諸般ノ整理モシナケレバナラヌ、ソレデアルカラ是バカリ一ツヤル譯ニ行カストスウ仰セラレマスガ、併ナガラ此問題ヲ大藏省ニ於テハ唯輕易ノ問題ト御承知ニナツテ居リマスカ、或ハ又軍人ノ今日ノ情態ヲ省ミラレ且ツ貴族院ニ於テ院議ヲ以テ之ヲ認メテ決定シテ居ルコトニ對シテ左程ニ之ヲ重要視ナサツテ御居デニナラヌノデゴザイマスカ、其所ヲ伺ヒタイ

〔政府委員濱口雄幸君演壇ニ登ル〕

○政府委員(濱口雄幸君) 御答シマスガ、政府ニ於キマシテハ決シテ此問題ヲ以テ輕微ナル問題ト考ヘテ居リマセヌ、併ナガラ此外ニモマダ輕微ナラザル問題ガ澤山アル譯ニアリマスカラ、是ハ一般財政經畫ニ涉リマシテ能ク其緩急ヲ比較研究シマシテ、其上デナケレバ決スルコトハ出來ナカラウト考ヘマス、依ツテ此席ニ於キマシテハ此問題ダケ離シテ御答申シマスルト云フコトハ困難デアリマス

○男爵眞鍋斌君 大藏大臣ニモウ一ツソレヂヤ御尋イタシマス、サウ致シマスルト此恩給法ノ改正ト云フコトニ付テハ、特別ニ決シテ御考慮ヲ爲サツテ御居デニナラヌノデアリマセウカ、其點ハ何カ財源ヲ求メテモ之ヲヤラナケレバナラヌト云フ御考慮ハナイノデゴザイマスカ

〔政府委員濱口雄幸君演壇ニ登ル〕

○政府委員(濱口雄幸君) 唯今御答申シマシタコトニ依ツテ御了解下サッタコトト存シマスガ、特ニ政府ニ於キマシテハ此問題ノミヲ先キニ引抜イテ優先權ヲ與ヘル譯ニ行カヌト思ヒマス、種々ノ問題ガアリマスカラ、其大小輕重ハ是ハ皆比較モノデアリマスカラ、勿論當院ノ御希望ニ對シテ又御意見ニ對ドモ、何分財政上ノ經畫ト致シマシテハ外ノモノハ免ニ角トシテ、此問題ノミヲ先キニ決行スルト云フ譯ニ參リ兼ネマス

○男爵原口兼濟君 本員モ一言政府委員ニ今ノ事ニ付テ御尋イタシタウゴザイマスガ、此法律ノ決マリマス時分ハ、政府ノ方ハ全ク財源ガナイト云フ所デ以テ、現行ノ法律ニナツテ、四十四年ノ四月一日以前ニ職務ヲ退イタ者ニハ

律ヲ議スルトキニ、當時ノ特別委員長タル小澤男爵ガ委員長トシテ此席ニ御報告ニナツタノニ、此事ハ……此法律ハ不完全ナル嫌ヒガアルケレドモ、今日ハ忍ンデ之ヲ贊成スルガ、後日、此法律ノ改正ヲ望ムト云フコトヲ委員カラノ趣意ヲ附加ヘテ特ニ報告スルト云フコトヲ報告ニナツテ、サウシテソレガ可決ニナツテ居リマス、又其當時財源ガナイト云フコトデ、左様ナ法律ニナツテ居リマスルガ、其後、山本内閣ノ時分ニ、行政整理ノ結果、多數ノ剩餘金ガ出来マシタ、其時ニ矢張リ財源ハ出來テモ、政府ハ此事ニ付テ御構ヒガナイ、今日タリトモ、本員ノ考ヘマスルノニハ、恐ラク此恩給ニ充テル金ハ別ニ印シノ付イタ金ガ出ル譯ハアリマセヌ、併シ求メレバ是ハアルモノ、私ハ出來ルモノト考ヘテ居ルノデアル、求メズシテ置イテ財源ガナイト言ヘバ何時マデモナイ、何時マデモ、五年經ツテモ十年經ツテモ此財源ト云フモノガ別ニ出テ來ルト云フコトハ本員恐ラクナカラウト思フ、サウ致シマスト先刻眞鍋男爵ノ述べラレマシタノハ數百人ノ多キト云フコトデアリマシタガ、今日ハ數千人デゴザイマス、數百人デゴザイマセヌ、ソレダケノ者ガ請願ヲ出シテ居リマス、請願通數ガ七十九バカリアル、確ニ覺エマセヌガ、七十九カ八十八カリアルト思ヒマス、請願人ノ數ガ二千何百人ト云フモノデアリマス、サウ云フ工合デアツテ隨分財源ガナイト言ヘバ一口ニ言ハレマスケレドモ、其邊ノコトハ政府ニ於テモ御考慮ニナリタイ、サウ申シマスレバ、考慮シタ上デ矢張リ財源ガナイト仰セラレル、早イ所、財源ガアルトキデモ御構ヒナイト云フコトハ論ヨリ證據、山本内閣デ以テ行政整理ヲ爲サレテ隨分剩餘金ガ出來タトキモ知ラヌ顔デアリマス、私ハ其御趣意ガナインデハナイカト思ヒマス○男爵有地品之允君 質問ガゴザイマス、唯今問題トナツテ居リマスルモノハ衆議院ノ提出案デアツテ、總額ガ何程ニナルカ存ジマセヌケレドモ、兎ニ角支出ヲ要スル所ノ法律案デアル、是マデ兩院ヨリ政府ノ同意ナクシテ財源ヲ要スル所ノ法律ヲ決定シタ例ガアリマスカ否ヤ、若シ又例ガナイトシテモ兩院ヲ通過シマシタ場合ニハ如何ニナリマスカ、其御意見ヲ承リタイ……モウ一言申シ漏シマシタガ、果シテ今日是ガ新例トシマスルト、金額ノ多少ニ依リマセヌ、幾ラ大キナコトデモ議決スルコトカ起ルカモ知レヌト考ヘマス、ドウヅ委シク御答辯ヲ願ヒマス

〔政府委員濱口雄幸君演壇ニ登ル〕

○政府委員(濱口雄幸君) 有地男爵ニ御答申上ゲマスガ、歲出ノ増加ニ伴フ

法律案ヲ政府ノ同意ナクシテ決議シマシタ例ガ有ルカ無イカト云フコトデア
リマスガ、是ハ甚タ恐縮デアリマスケレドモ、此席デハツキリト申上ゲラレマ
セヌ、全然例ノ無イコトモナカラウカト考ヘマス、唯ハツキリ記憶イタシマセ
スカラ此席デハ申上ゲラレマセヌ、ソレカラ若シ政府ノ反対アルニ拘リマセ
ズ、兩院ヲ通過シタトキノ處置ニ付キマシテハ是ハ私ヨリ何トモ申兼ネマス
○男爵原口兼濟君 私ハ滿場ニ向テヨット一言申述ベテ置キタイコトガア
リマス、御許シニナリマスカ……

○議長(公爵德川家達君) 何デスカ

○男爵原口兼濟君 此案ト云フモノハ恩給……

○議長(公爵德川家達君) 原口男爵ニ伺ヒマスガ御意見ヲ御述ベニナルノデ
アリマスカ

○男爵原口兼濟君 イエ、意見……意見ヲ述ベルノデハアリマセヌガ、此議
場ハ之ニ反対スルコトハナイト云フコトヲ、今其道理ヲ申述ベテ置ク積リデ
アリマス、反対ハ出來ナイノデ、反対スル資格ハナイ、何トナレバ請願ノト
キニ滿場一致デ……

○議長(公爵德川家達君) 矢張リソレハ御意見ニナリハシナイカト議長ハ認
メマス
○男爵原口兼濟君 マア、ソレダケデゴザイマス
○男爵小澤武雄君 是ハ唯今段々御質問デアリマスガ、茲デ即決スベキモノ
デナクシテ委員付託ニナルベキモノデハアリマスマイカト思ヒマス
○議長(公爵德川家達君) 無論委員付託ニナルベキモノデゴザイマス

○男爵小澤武雄君 ソレデハ政府委員ノ説明ヲ願ヒタイト存ジマス
○男爵石黒忠惠君 陸軍當局者ノ意見ヲ更ニ伺テ見タイ
〔政府委員大島健一君演壇ニ登ル〕
○政府委員(大島健一君) 恩給法ノ改正案ニ付キマシテハ陸軍ノ當局トシマ
シテハ成ルベク實施ノ出來ルコトヲ希望イタシテ居リマス、是ハ御承知ノ通
リ、唯今原口男爵カラモ御話ガアリマシタガ、修正案ヲ四十四年ニ提出イタ
シタ時分カラ陸軍ハ遡^ツテ支給スルト云フ考ヲ持^ツテ居リマシタノデゴザイマ
ス、唯財政上ノ都合デ或一部ヲ遡^ツタダケデ非常ナ不平均ヲ起シテ居リマス、
然ルニ軍人ハ唯今三色バカリノ恩給ヲ受ケテ居リマスルガ、戰時ニハ再び隊ニ戻
級ノモノガ……三色ノ恩給ヲ受ケテ居リマスモノガ、戰時ニハ同ジ階

テ同等ノ仕事ヲ致スモノデアリマスカラ、ドウカ四十四年改正當時ノ考ノ
如ク遡^ツテ支給スルコトヲ希望ハ致シテ居リマス、從^ツテ此財源ヲ見出スコト
ニ付キマシテモ、部内モ考慮イタシマス、大藏省トモ交渉ヲ重ネマシタ
ガ、目下ノ財政之ニ分ツ所ノ財源ガナイト云フコトデアリマス、陸軍部内ニ於
キマシテモ緊急重要ナモノニシテ尙ホ不足ナ仕事ガ多クゴザイマスル爲ニ、
部内ヨリ財源ヲ提供スルト云フコトモ出來マセヌシ、已ムラ得ズ大藏省……
國庫ニ於テ之ヲ支辨スルコトガ出來スケレバ、我ニハ矢張リ四十四年以來ノ
如ク、暫ク自ラ抑制シテ忍バナケレバナラヌカト考ヘテ居リマス
○男爵内田正敏君 本員ハ唯今陸軍次官ヨリ陸軍側ノ意見ヲ伺ヒマシタ、併
ナガラドウモ十分其意ヲ領シマセヌカラ、更ニ海軍當局者ノ御意見ヲ求メタ
ウゴザイマス

〔政府委員鈴木貫太郎君演壇ニ登ル〕
○政府委員(鈴木貫太郎君) 御答イタシマス、海軍ニ於キマシテモ唯今陸軍
次官ノ御說ノ通り、矢張リ成ルベク速ニ改正ノ通リニ恩給ノ増加サレムコト
ヲ希望スル次第アリマスケレドモ、矢張リ財政ノ狀態カラ之ヲ急速ニ行フ
コトノ出來ナイ事情ノアルノハ、甚ダ遺憾ニ存ジテ居ル次第アリマス、又
海軍ノ經費ヲ節シテ出シ得ルカト云フコトニナリマスト云フト、矢張リ緊急
ノ事業ガ澤山ゴザイマス爲ニ、ソレヲ措イテ此恩給増加ニ差向ケルト云フコ
トハ、甚ダ困難ナ事情ガゴザイマス、ドウゾ御承知ヲ……
○議長(公爵德川家達君) 特別委員ノ氏名ヲ書記官ヲシテ朗讀イタサセマス
〔河井書記官朗讀〕

軍人恩給法中改正法律案特別委員

侯爵德川 賴倫君 伯爵柳原 義光君 山脇 玄君
子爵五辻 治仲君 子爵榎本 武憲君 小松原英太郎君
男爵原口 兼濟君 男爵中溝德太郎君 佐々田 憲君

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第十一、歐洲列國ノ財政經濟及社會上ノ
現狀調查ニ關スル建議案、伯爵柳澤保惠君外一名發議、會議

〔河井書記官朗讀〕
歐洲列國ノ財政、經濟及社會上ノ現狀調查ニ關スル建議案
右貴族院規則第六十四條ニ依リ提出候也

大正四年六月七日

發議者

伯爵柳澤保惠

馬屋原彰

贊成者

公爵徳川慶久

外三十三名

貴族院議長公爵徳川家達殿

歐洲列國ノ財政、經濟及社會上ノ現狀調査ニ關スル建議
現時歐洲ノ大動亂ニ際シ殊ニ列國ノ財政上經濟上及社會上ノ狀態ヲ研究調
査スルノ必要アルヲ認ム政府ハ此ノ際速ニ相當ノ措置ヲ取ラレムコトヲ望

ム

右建議ス

理由書

理由ハ本文ニ明ナルヲ以テ之ヲ略ス

○伯爵柳澤保惠君 本員ハ本案提出者ノ一人ト致シマシテ一言申上グマス、
此案ハ唯今書記官ノ朗讀セラレタル如ク、極メテ明瞭デアリマス、別ニ殊ニ
説明ヲ要セヌカト考ヘマス、私ハ特別委員九名ニ付託セラレテ御審議アラム
コトヲ希望イタシマス、御賛成ヲ請ヒマス

○伯爵大原重朝君 賛成

〔其他「贊成」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 此建議案ヲ特別委員九名ニ付託スベシト云フ柳澤
伯爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ」と呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、特別委員ノ氏名ヲ書記官
シテ朗讀イタサセマス

〔河井書記官朗讀〕

歐洲列國ノ財政經濟及社會上ノ現狀調査ニ關スル建議案特別委員

侯爵細川護立君 伯爵柳澤保惠君 子爵大河内正敏君
男爵南岩倉具威君 男爵神田乃武君 三宅秀君
加藤恆忠君 馬屋原二郎君 依田仙右衛門君

○議長(公爵徳川家達君) 明日ノ議事日程ハ本院彙報ヲ以テ御通知ニ及ビマ
ス、本日ハ是デ散會イタシマス
午後六時三十八分散會

大正四年六月八日